滿洲日報
九月二十九日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

蘇聯、更生的態度にて北鐵交涉復活に決す
廣田外相の斡旋により

【東京二十九日發國通】廣田外相は目下停頓狀態にある北鐵交涉の政治的解決を下すべく積極的斡旋を取るため愈々表面へ乘出すに至つた、卽ち二十八日午前十一時より約一時間に亙り大橋滿洲國外交部次長を外務省大臣室に招致、交涉に對する滿洲國今後の方針を聽取せるところ、大橋次長は

一、北鐵交涉は是非共今後續行し圓滿解決したき事

一、右のため買收價格五千萬圓(一留二十五錢)を提出してゐる滿洲國としては交涉の實際的解決を圖る

一、北鐵に對する第三國の債權は蘇側において負擔すべきこと

の三項を反省的に考慮する用意を有する旨廣田外相に明示した、よつて廣田外相は同日午後五時駐日大使ユレニエフ氏を外務省に招致し二時間餘に亙り隔意なき懇談を遂げた、卽ち廣田外相より

一、北鐵に對する滿洲國司法當局の手入れ問題の如きは要するに枝葉末節の問題にして北鐵讓渡交涉そのものが纏まりさへすれば全部的に解決するものである、よつて蘇側としては北鐵交涉を續開し、この際蘇側の北鐵讓渡提案の二億ルーブルさせる基礎並にそのルーブル對圓の換算率に關する明確なる提案をなすべきであらう

一、若し蘇側が右の如き誠意を示すにおいては自分も當初の言明に基き此際積極的斡旋に乘出すであらう

と熱心に說得に努めたところ、ユ大使も外相の意を諒承し 蘇側も從來の態度を改めてこの際政治的見地から北鐵交涉を一擧に解決するため二十九日直ちに蘇滿交涉を復活し更生の意氣を以て協議を行ふべきことを承諾した、斯くて六月二十六日開始以來約四ケ月に亙り繼續せる北鐵交涉も廣田外相の斡旋乘出しで滿洲國の五千萬圓案と蘇側の二億ルーブルの間に歩み寄つて解決する情勢となつた

けふ私的會商を開始
政治的解決を申し合せん

【東京二十九日發國通】北鐵交涉は去る九月二十二日第五次會商開會以來蘇側はルーブル對圓の換算率に對する提案を出し暫く停頓中だつたが、二十八日廣田外相の滿洲國大橋次長、蘇側ユレニエフ大使に對する個別的勸說により二十九日大橋、カズロフスキー兩氏の私的會商を再開する事となつた、而して二十九日の初會商では北鐵交涉のこれまでの停頓せる原因を探求し技術問題を一掃して政治的折衝を開始すべき旨申し合せ、今後の會商繼續方針につき打合せる筈であるが、滿洲國側に對し一應ルーブル對圓の換算率提案を求める意向であるから蘇側のこれに對する出やうは極めて注目される

于軍の不戰區進入
協定違反として警告
柴山武官より何應欽に對し

【新京特電】支那側は最近永平東方地區に蟠居してゐる老耗子匪賊團を討伐するといふ口實で不侵入地區に于學忠軍の第百十八師六百五十二及び六百五十三團を保安第二總隊と改稱し進入せしめつゝあり、斯くの如く正規軍を單に名稱のみを改めて不侵入地區內に入れることは明瞭に停戰協定違反なるのみならず豫かじめ關東軍の諒解なく支那側の自由意思によりかゝる處置に出るのは支那側の不信行爲であるので關東軍では二十九日北平公使館附武官柴山中佐を通じ何應欽に對し嚴重なる警告を與へ二十九日より一週間以內に撤退を開始しない場合には關東軍は斷乎自由行動に出づべきことを通告した

改編保安隊 唐山方面に輸送

【天津二十八日發國通】非武裝區內の治安に當るため曩に于學忠から發令された一部軍隊の保安隊改編は愈々實現し、今曉來天津東停車場通過、續々と唐山方面に輸送されつゝあるが、改編された部隊は何れも楊村駐屯中であつた百十八師六百五十三團である、輸送部隊は左の如し

一、二十八日保安隊第二總隊第一大隊
一、同第二大隊
一、同第三大隊

黄郛近く歸平

【北平特電二十八日發】黄郛は各方面より速かに歸平して時局收拾に當るべく督促されたので豫定を早め十月七八日頃歸平する事に決定した模樣である

方軍と守備軍衝突

【新京電話】方振武軍約八百は二十六日午後高麗營に向つて攻擊し來り二十七日拂曉まで高麗營を守備せる第百二十九師の第六百四十八團と近く相對峙してゐたが、二十七日の天明と共に東北方に退去した、双方共死傷者は出なかつた模樣である

逆襲の方軍敗退

【北平特電二十八日發】高麗營附近の戰鬪において中央軍のため擊退された方振武軍は二十八日再び高麗營に逆襲したが午後三時敗走した

方吉軍行動監視

【北平二十八日發國通】第〇〇團佐枝部隊は二十七日朝牛欄山懷柔に進出、方吉聯合軍の行動監視中であるが今後の情況變化なければ直に〇〇に歸還の豫定

對日方針 重要會談
蔣公使、黄宋と

【上海二十九日發國通】蔣作賓公使は二十八日朝黄郛を訪問し中日問題に關し二時間餘會談し次いで宋子文を訪問中日問題につき一時間餘會談し辭去した、なほ蔣の談によれば黄郛は近い內に北上する筈である

方吉聯合軍遁走
長城を越えて延慶へ

【北平特電二十九日發】何應欽は方吉聯合軍の逃げ路として平綏線北部から察哈爾への出口を開けたので昨日中聯合軍は湯山から西し長城を越えて延慶方面へ逃れつゝあり、今や聯合軍は停戰協定地區から影を沒し北支の事態は日本の公正なる態度により一段落を告げるにいたつた

【北平二十八日發國通】佐枝部隊將校斥候及び飛行機の偵察によれば、方、吉兩軍主力は漸次西北方に退却、その一部は北部の山中に、一部は延慶赤城方面に退却中であると

【北平二十八日發國通】方振武軍は佐枝部隊飛行隊の活動により何等爲す所なく全く戰意を失ひ目下西北方に退却中であるから事態は逐次平靜に歸す模樣である

黑龍江上流を觀る(上)
スンガリーよりアムールへ
駐滿海軍部司令部 海軍一等水兵 板津芳一手記

八月一日午前八時四十分私達は第三種軍裝に武裝をして小林駐滿海軍部司令官並びに幕僚一行に隨行して北滿鐵道に乘り込み新京驛を出發した、北滿洲の茫漠たる大平原を橫切り午後二時十五分滿洲第一の國際都市であるハルビンに着いた。

ハルビンは新京とは全く異り建物も道路も皆ロシア式である、市內電車、乘合自動車內、何處へ行つてもロシア人がウヨ〳〵多く一見ロシアの國の町の樣な氣がする

ハルビン驛より日本海軍防備隊の迎への自動車に乘り車窓より市中を眺めつゝ海軍宿舍に着いた。

今年春吳軍港を後にして同時に滿洲に出征した懷しい戰友に久し振りで會ひ、母港の話や或は其の後各自の生活の情況、勤務の物語の中に夕食を了へ私達は全員に送られて薄暗い道を急いで松花江岸に在る臨時海軍防備隊本部に着いた、直ぐ前に碇泊して居る砲艦廣瀨に乘艦した。

先づ驚いたのは艦の型である、橫腹に大きな水車が二つ有つて其の廻轉によつて、パチヤパチヤと音を立て前進し又後退する、砲艦などは船尾に水車が附いて居る他では一寸見られぬ珍しい型である

……◇……

二日午前五時檣頭高く揭げられたる少將旗、燃ゆる樣に勇ましい艦尾の軍艦旗を翻へして、僚艦廣瀨の登舷禮式を受けて濁流滔々たる松花江航行の途に就いた。

航行中は廣瀨戰友から寄港地の珍しい話や匪賊討伐の武功談を聞いたり艦橋に登つて一望千里の大平野を眺めながら一路江を下つた

夕方近くに通河と云ふ町に着いた、旣に通知で知つて居たのか、波止場附近一帶は陸軍部隊で警戒して居た、其の中を纜兒をしつかり退つて司令官一行に隨從警戒に當りつゝ日本軍警備本部に行つた

此の通河一帶は昨年の馬占山討伐の際、反滿軍及土匪の兵火にかゝつて燒けた所で、今も尙家屋や道路側の電柱等が半燒の儘立つて居て當時の慘狀の面影が殘つて居る

此の邊りは未だ匪賊が相當居り私達の行つた時なども衞兵所に怪しい男が二名捕へられて居た、松花江を通航する艦船には皆防備隊から派遣した警戒兵が〇〇名乘つて居る。

……◇……

其の次の日着いた三姓と云ふ所は餘り大きな町ではないが、此の邊では可成の町である、此處には護路軍總司令于琛澂中將が居られる同司令部に前日の如く隨行した于中將は大なる親日派であるが今度の訪問にも至れりつくせりの大歡迎を受けた。

小林司令官一行は于中將自用の內火艇で松花江支流牡丹江を見物された、滿洲國の軍人は陸海軍を問はず外國の軍人であると云ふ樣な隔たりのある感じは少しも起らない、友達の樣な親み深い軍人である、若し自分が煙草を吸ふ時には必ず私達へ先に奬め其後自分が吸うて居た、自分獨り喫する樣な事は決してやらない。

私達は同司令部で晝食に支那料理を御馳走になつた、內地の食堂や料理屋で食べる支那料理の味とは全く異つて居る、ニンニク等の滿洲人の嗜好物が混合して居るから私達には少し食べ難い。

御馳走の上に蠅が眞黑になる程澤山とまつて居る、見ただけで私達は不快な感じがするが、滿洲人は平氣で美味さうに食べて居る。

陸軍整備緊急の理由
新狀勢と蘇聯の軍備充實が最大
わが陸軍當局發表

【東京二十九日發國通】陸軍當局は陸軍整備の急を要する所以につき左の如く發表した

現在陸軍で緊急を要するのは滿洲國の治安確定と、その外敵に對する共同防禦、施設充實及び作戰資材の完備にある、之は滿洲國の獨立承認及び極東に於ける國際關係の變化、列强陸軍裝備の進步、就中蘇聯邦の軍備充實が その最大の原因を成して居る、元來日本と蘇國との軍備關係は從來幾多の變遷を重ねて居るが蘇國は產業五ケ年計畫にも第一目標を赤軍の充實に置き專制政治の移轉に基き國民の柔順性を利用してその日常生活を犧牲に供し軍備充實に努めた、從つて蘇國軍の裝備は步兵師團數七十五、騎兵師團數十三、平時總兵數百二十九萬、飛行機二千二百臺、戰車千五百輛その他多數の裝甲自動車及び科學戰部隊を有し、之を助成する重工業の發達と相俟つて質においても量においても帝政時代に比し遙に優越せる大陸軍を建設した、この情勢は我國をして從來の如き大陸方面の國防に關し晏如たる能はざるに至つた、殊に最近極東に重爆擊機數十臺を配置し我國の帝都の上空を空襲し得るの偉力を完備した事等は陸軍として滿洲國及び皇國防禦の遺憾無き處置を講ずるの已むを得ざるに至らしめたものである

經濟會議全權 十月五日神戶着

【東京二十九日發國通】世界經濟會議帝國全權石井菊次郎、深井英五兩氏は會議終了とともに歐洲各國を旅行し九月上旬マルセイユより箱根丸で出發したが來る十月五日神戶着の豫定なる旨外務省に入電があつた

ほんこん丸船客

【門司特電二十九日發】一日大連入港の香港丸主なる船客諸氏

ハイラル領事內山康一、東亞印刷取締役山田浩通、著述業頭本元貞、三菱顧問牧野豐助、大連五品取引所理事長櫻內辰郎、海軍々人安藤榮城、セルプラザース工業會社重役橋詰克衞、三井物產鈴木勝次郎、松尾大尉、小工學校生徒視察團一行百二名

たこま丸 三十日午前十時二十分大連港外着の豫定

▲八田嘉明氏(滿鐵副總裁)二十九日朝八時大連着列車で歸任
▲根橋禎二氏(滿鐵計畫部長)同
▲田邊利男氏(滿鐵建設局次長)同上
▲野村正雄氏(滿鐵秘書係員)同
▲太田久作氏(鐵路總局次長)同
▲石村長七氏(滿鐵ハルビン建設事務所長)同上
▲酒井清兵衞氏(吉長吉敦鐵路局代表)同上
▲田所耕耘氏(滿鐵經調副委員長)同上
▲奧村愼次氏(滿鐵計畫部業務課長)同上
▲兒玉常雄氏(滿洲航空會社專務)同上
▲上野耕一氏(大朝專務)二十九日入港はるびん丸にて來連
▲辰井梅吉氏(同營業局長)同上
▲忠田兵造氏(同販賣部長)同上
▲內田眞吾氏(同通信部長)同上
▲高良淳氏(黑崎窯業會社重役)同上
▲渡左近氏(陸軍步兵少佐)同上
▲稻葉逸好氏(滿洲醫大學長)同上

離滿
▲鹿子木員信氏(文學博士)二十九日出帆うらる丸にて內地へ
▲佐伯文郎氏(陸軍步兵中佐)同
▲原田光次郎氏(實業家)同上
▲栃木縣軍隊慰問團一行十七名同
▲東京府立園藝學校視察團一行五十一名同上
▲福岡縣筑紫中學一行百七十一名同上
▲兒玉國雄氏(滿洲航空會社副社長)二十九日午後八時着列車にて新京より歸連
▲萬澤正敏氏(滿洲國交通部庶務課長)同上
▲松岡三雄氏(同交通部事務官)同

その後の熱河(7)
山口特派員撮影 島田特派員記

喇嘛普陀羅廟

◇…ラマ教の盛時を傳へ語るラマの寺院普陀羅廟の偉觀を見よ!承德北方獅子溝に建立された八大伽藍、當時は一廟に四百餘名の僧がゐてその威盛天下を壓したと云はれる。

◇…今や廟の威容のみを止めて僧侶は減少し、財物の不如意に寺院の寶物を賣立て、法燈の光り全く失ふといふ悲慘な狀態にある、五座のラマ塔に風蕭々として淋し……

物價高い北滿
地方的開發が必要
八田副總裁の視察談

十日間に亙つて新京を振出しに吉林、敦化、鏡泊湖、ハルビン、富錦、呼海、海克、齊克各線および海拉爾の各地を飛行機で視察した滿鐵八田副總裁、根橋計畫部長、田邊建設局次長の一行は二十九日朝大連着急行で歸連したが、八田副總裁は語る

今度の目的は北滿狀況視察を兼れて滿鐵のやつてゐる工事の實際を見、現業員諸君の勞苦を慰問するのにあつた、今度自分が始めて北滿方面を廻つて感じたことは黑龍江省の

治安維持 が完全に保たれてゐることで、軍隊の御苦勞には感謝のほかはない、滿鐵の派遣員諸君も不自由をしのんで、しかし達者に良く職責を完うしてゐてくれることは何よりだつた富錦など飛行機で降りられない處は機上から通信筒で挨拶文を投下したが、下の方では旗を振つたり非常に喜んでくれた、何分飛行機上からのことで詳しいことは解らないが、北滿の鐵道沿線にはまだ〳〵未開墾地が多くこれが開墾の曉には北滿の開發は實に素晴らしいものとならう、なほ各土地では居留日本人の人々から色々なことを聞いたが奧地に行けば行く程

物資の高 いのに閉口してゐる、これは物資の輸送距離が長くなる關係上或程度まで仕方ないとしても滿鐵でも滿鐵に關係のある限りでは充分に考慮して出來るだけ物資を安く供給するやうに考へねばならぬ、然し自分はこの問題にはもつと根本的な解決方法を考へてゐる、日常物資を遠い處から運ぶのは不利なのが道理でこれはなんとしても先づ地方的開發を圖ることが第一だ、卽ちそれ〴〵の地方的開發によつてこれ等の物資を供給するやうにすれば物資は完全に安價に供給出來るのだしその餘地も充分にあるのだ、大きく滿洲全體の開發といふことも肝要であるが、それに伴つて部分的な地方的開發も目下の急務で滿鐵がこれをしても好いものならこれに相當の努力を拂つて好いと思つてゐる、もう奧地は

大分寒い 興安嶺を越えると一面の雪だつた、とに角北滿の今後は相當急激な變化を來さうから自分は一年に一度とか言はず今後も出來るだけ機會を見出して視察を遂げたいと思つてゐる、大淵理事は換算會議、增資拂込問題や、シンヂケート銀行團の來滿に伴つて本社に來たので理事の擔當變更などは何も考へてゐない、歸れば早速換算會議だ

蛇角

◇ 秋風に吹かれて舞ひ歩いた蝴蝶二羽、高野山でポトリと落つ。

◇ 曝らした生恥、天國ならぬ地獄で結ぶ戀の結末、いと哀れ。

◇ 彩られた血潮の謎、發見された鍵はこれをどう解いて行く。

◇ こちらは小平島の蝴蝶一羽、と思ひきやこれまた二羽。

◇ 淫祠猥褻群舞の圖、どこまで續く戀の繪卷物。

東天紅(213)
田中純 林一三書

貞操の危機(一)

相良俊司は、その頃、虎ノ門の丹平アパートに住んでゐた。彼は箱根で靜養した後、鎌倉に歸つて來て、三日ばかり神田家の厄介になつてゐたが、そのうちに急に撮影が始まることになつたので、文子たちとも相談の結果、東京にアパート住ひを始めることになつたのである。

東京に來てからの彼の生活は、相當に忙がしかつた。彼は、會社の撮影團と一緒に、あちこちと旅行しなければならなかつたし、たまに東京に歸つて來ると、その日から鮎子に呼出されて、活動見物だの、郊外へのドライブだの、銀座の散歩だのと、戀人らしい生活に沒頭しなければならなかつた。

彼は、そのために、もうしばらく神田家さへ訪れないで居ることを、心苦しく思つてゐた。

すると或る日の午近く、相良が近頃勉强し始めた西洋の映畫の專門雜誌を讀んで居ると、コツ〳〵と、扉を叩く音がした。相良はすぐに鮎子が來たのだと思つたので

「どうぞ」と大きくいつて、扉を開けて見ると、珍しくも、そこに大貫晶子が立つてゐた。

「ヤア、ゐらつしやい」

相良が迎へると、彼女もにこ〳〵して入つて來て、

「珍しいわれ、あんたが、こんな時間に一人で家にゐるなんて……」

「どうしてです」

「どうしてつて、この頃、大變だつて言ふぢやないの。毎日毎日、お二人づれか何かで……」

鮎子のことを冷かして居るのだと思つたので、

「いや、大したことはないです。お孃さんの案內で、東京見物をさせて貰つてるだけです」

「結構な案內ぢやありませんか。まア、せい〴〵、樂しんで置くんだわね」

晶子はさう言つて、意味ありげに笑つたが、ふと氣附いたやうに

「時に、あんた、この頃、鎌倉に行つたことがある?」

「鎌倉つて、神田さんのお宅ですか?」と相良は訊き返した。

「ええ、さう」

「いや、あれからまだ一度も伺はないので、實は少し心苦しく思つてるところなんですが……」

「何だか、大變困つてゐらつしやるらしいわれ」

晶子は、何氣なささうに言つた

「困つてゐらつしやるとは?」と相良が問ひ返した。

「ぢやアあんた、何んにも聞いてゐないの?神田さんの會社がつぶれかかつて居ると言ふ話し……」

「ああ、その話しならば、僕も多少知つてますけども、しかし、そんなに困つて居られるんですか?會社の方は大丈夫だつて噂を、僕聞いてたんですが……」

「ところが、ちつとも大丈夫でないらしいのよ。わたし、實は二、三日前に文子さんにちよつと會つたのだけど、あの人つたらまるで病人のやうな顏をしてるんだもの」

「へえ、奧さんがですか?それはまた、どうしたつて言ふんです?」

「どうしたつて、要するに、心配のためよ。文子さんでも少し奔走しなければ、あの會社はもう、この暮が越せないと言ふ狀態になつてるんださうだから」

大貫晶子　相良俊司

秋冷の僧房で服毒し
不倫の戀高野の結願
情死を圖つた兩名留置

【大阪特電二十九日發至急報】燃れ切つた情痴の世界に描き出された兒玉博士邸における怪殺人事件は遂に來るべきところに到達し事件は急轉直下、高野山の情死場面に展開した――博士夫人勝美が慘劇後夫博士を竟の邸宅に殘し情人中薗秀雄と內地へ逃亡してから十六日間、二人は伸びる追手と世間の眼を脫れて戰慄と憔悴におのゝきつゝ各地を轉々、迷路を彷徨したが獵奇の眼と耳とは二人の身邊に注がれて心安らかな日とて一日もなく奔命に疲れ切つた二人の前には「戀慾」と「死」の運命が待つばかりだつた、かくて紀州高野山北室院に落ち延びた二人は二十九日拂曉服毒情死を企てたが、中薗は少量で生命に別條なく高野警察署に留置され、夫人は今なほ昏睡狀態を續けてゐる、巻き起した死體詰トランク事件はこれを轉機として果してどんな獵奇と怪奇に富む新事實を白日の下に曝け出すか？……全國的に大センセイションを

アダリンを多量嚥下

【大阪特電二十九日發】和歌山高野署に連行された勝美夫人と中薗は二十八日夜宿泊した同山北室院で心中を企てアダリンを多量嚥下し男は意識を恢復したが勝美夫人は今なほ昏睡狀態を續けてをり隔離留置してゐる

勝美夫人の遺書文面

【長野廿九日發國通】兒玉勝美の遺書は二十八日午前十時頃長野縣南安曇郡豐科町の實兄藤森俊一郎氏方に配達された文面は

先立つ不孝をお許し下さい、今回の事で當然生きて居られないので覺悟しました詳しい事は大連に書いて送りました死體はお引取下さるやう、二十六日午前六時認む　勝美

とあり、用紙は郵便葉書を使用してありこれを角封筒に入れ郵送したものだが發信局の消印は二十七日午前八時から十二時の間で肝腎の局名は最初の和歌山〇〇は讀めるがあとの二字は不明で目下死場所の判明するのを待つて居る有樣である

遺書で和歌山へ手配

【大阪二十九日發國通】大阪に潜入した兒玉博士邸の怪殺人事件の博士夫人勝美及び中薗の行方に就き府警察部では必死となつてその足どり搜査を續けて居る矢先、二十八日夜に至り勝美夫人の實家たる長野縣南安曇郡豐科村藤森俊一郎方へ「わたくし達は出發します先立つ不孝をお許し下さい事件の內容は兒玉が一番よく知つてゐます」との手紙が到着したので驚いて長野縣刑事課に急報したが發信日附は二十六日となつてをり郵便局の消印が一部不明ながらも和歌山の「和」のみ認められるところから二人は去る二十六日中薗の實兄港區八條通り中薗源之助方を立去り南海電車で和歌山方面へ心中の目的で急行した形跡が明らかとなつたので、この通報により府刑事課では直に和歌山縣警察部に向け搜査方手配すると共に刑事隊の一隊を和歌山に急派した

高野山に急行取調
和歌山縣警察部活動

【和歌山二十九日發國通】情死する旨の書き置きを長野縣の實家に送つて行方を晦ましてゐた大連怪殺人事件のヒロイン勝美夫人及び情夫中薗の兩名が和歌山縣下に入り込んだとの情報に縣警察部では二十九日朝來山田刑事課長總指揮となつて縣下各地の遊覽地を嚴重に搜したした結果午前十一時三十分にいたり右兩名に酷似せる男女が高野山で情死してゐるとの報に搜查本部は俄然色めき立ち山田刑事課長は直に刑事を伴ひ高野山に急行取調べたところ右兩名は全く勝美夫人と中薗に相違なきこと判明した、女は未だ昏睡を續けてゐるが生命には別狀なき模樣である、なほ男は高野署に留置された

他人の經歷を詐稱する中薗

【東京特電二十八日發】中薗秀雄と兒玉勝美夫人が東京又は洮南方面に潜入するとの見込から警視廳では鎌倉署と連絡して警戒してゐるが中薗が鎌倉の本屋の息子で勝美夫人が青山學院通學時代から交際したとの話に、鎌倉の本屋を取調べたところ意外にも本屋の息子は中薗ではなく目下麻布六本木署の川崎巡査であり、從つて中薗は川崎巡査の經歷をそのまゝ僞つてゐるといふ新事實が發見された、なほ川崎氏の談に依れば、大正十二年ごろ鎌倉で本屋をしてゐた川崎の斡旋で勝美夫人が母と共に海岸に避暑して川崎と知り合ひになつたもので、勝美は兒玉博士に中薗を紹介するとき川崎を思ひ出してその經歷を詐つたものらしい

保養院に身を潜めて
若き燕の病床に
戀に狂ふ御幡三輪子

二十七日沙河口署より署のオートバイで闇に消えたまゝ行方をくらました御幡三輪子は何處に隱れて居るか、沙河口署でも谷川司法主任の外一名しか知る者なく谷川主任もこれだけは絕對に新聞記者も搜しあてることは出來ぬと斷言してゐたが、何といつても本事件の重大な鍵を握るものは三輪子であり殊に兒玉勝美の遺書が送られてゐるやも知れぬので引續き內探中のところ偶然にも同女が最後の憩ひの場所を探り當てた、三輪子の戀人であり若き燕である大倉土木社員田村元雄(二七)の看護人として小平島の南滿洲保養院に人目を忍んでゐることが判つた

田村の室は同病院の一隅、愛光會の二號室で今年一月十三日に入院して以來病狀捗々しくないといふ、色々問ひ詰めると社長の命令もあるので匿してゐるなど意識して看護婦室の隣の附添婦室を一寸覗くと床の上に臭座なしき雜誌を讀んでゐる若い女があつて一人室であり、半開きとなつたドアの隙から覗くと秋の陽ざしが一杯に差し込む室にガーゼを眼にあて、靜臥してゐる同人の姿は人妻と通じたさいふ過去の所業は第二として淺ろに氣の毒な感じを誘ふ

しかし肝腎な三輪子は新聞記者が來たと聞いて忽ち身をかくしたものか室の內には姿がない、同舍付きの看護婦に尋ねると

佐藤さん(三輪子の假姓)は今朝は居られたのですが、何處へか外出されるかも知れぬといつて居られたから大連へ行かれたかも知れません

と居る、油氣のない髮を引つ詰めに結んでゐる恰好はさても三輪子と思へぬので人違ひかと思つてドアを閉めたが、若しやと思つて今一度戾つてドアを開けて見ると今まで居つた女がもう姿も見えぬ、さては三輪子だつたさよく〳〵室を見廻すと片隅の寢臺の陰にうづくまつてゐる三輪子を發見した

●記者　三輪子さんかくれなくつてもいゝぢやないですか

と聲をかけるとガバと起き上つて

●三輪子　私は何も知りません、私は何も知りませんさあれ程いふたではありませんか

と血相變へて記者に飛びついて來た、寫眞班がレンズを向けると今度はその方に突喊して寫眞機を驚掴みにしてしまふ、水色のモスの着物の上にポプリンのクローバ模樣の上つ張りを着込み、薄化粧した顏に殺氣を湛へて立ち廻る、この中年女は、それが大連の情史に一ページを彩つたといはれる女だけに、エロツぽくも又凄慘の極みだ

●記者　そんなに興奮しなくてもいゝよ、たゞあんたの所へ兒玉夫人から遺書が來てゐるといふ話だが

●三輪子　そんなもの來ません、兒玉さんの奧さんも內地へ行かれてから全く便りがありません

●記者　田村君の病狀はどうです

●三輪子　知りません、お話しするならば沙河口署へ行つて谷川さんの前でしませう、さあ行きませう

と記者の手を引張つて自分から先きに自動車に飛び乘つたが、記者がまづ新聞社へ行くといふと仕方なしに自動車を降りた（寫眞は保養院の廊下に立つて記者と語る三輪子）

祝盃をあげる沙河口署搜査本部

中薗だけでも早く
大連に連行したい
牧田沙河口署長語る

怪奇を極める博士邸殺人事件發覺以來敵愾署員を督勵し犯罪事實の摘發に努めてゐた沙河口署牧田署長は往訪の記者に語る

唯今ほかの方面からも中薗と勝美夫人の逮捕されたといふ情報が來たが御社のニュースによつて益々確實となつた、しかし署としてはなほ一應高野署に電報照會してその事實を確かめ返電を待つて祝杯をあげたいと思ふ何れにせよこの犯人が逮捕されたといふことは社會も安心せしめる上に非常に結構なことゝ思ふ、永らく御心配をかけてすまなかつた、但し勝美夫人が昏睡狀態に陷つてゐるといふから從來の毒藥自殺の場合の例によつても危いと思ふ、中薗だけでも早く大連に連れて歸り博士とともに充分取調べを行ひ事件の眞相を早く發表したいと思ふ

滿日のニュースなら
確實だと大騷ぎ！
吉報を司法室に齎す

中薗逮捕の吉報を持つて沙河口署司法室に飛び込むと、しめたツ！君とこのニュースなれば確實だ、すぐ高野山に照會しろツと忽ち大騷ぎ、谷川司法主任の命に堤訊問係が電報頼信紙を持つて飛び廻る、事件發覺以來六日間連日徹宵しての活躍に血走つてゐる署員の眼に萬歲の色が光つてゐる、まだ〳〵、和歌山縣からの公電に接する迄は笑顏は出來ないよと云ひつゝも牧田署長は嬉し氣に本社寫眞班のレンズの前に立つ、た額に殺氣を湛へて立ち廻る

警察署にのみ見られる風景だ、既に事件は一段落、ホツと落着いた氣分が漲つてゐる、なほ沙河口署安部刑事部長が刑事課上郡山部長と廿九日出帆のうらる丸で內地へ派遣されたが、沙河口署では直に無電を以て和歌山へ直行すべく命令した

佐伯中佐が凱旋東上
けさ榮轉して

事變勃發前より滿鐵囑託特務として活躍、事變と共に新京線區司令官として功績を現した佐伯文郎中佐は今回陸軍運輸本部輸送課長の重職に榮轉する事となり二十九日出帆うらる丸で離滿したが、出發にさきだち

慌しい二年間であつた、たゞ大過なく職責を果し得た事を全く皆樣の御同情によるものと感謝してゐる、四月から五ケ月に亘つてアメリカを一廻りして來たが歸ると共に轉出を命ぜられたのは名殘惜しいが將來も滿洲とは關係のある仕事をやるのだ、何分今後ともよろしく頼む貴紙を通じ皆樣によろしく

滿鐵より八田副總裁、山西、山崎兩理事、中西地方部長、林庶務課長、清水鐵道部次長等滿鐵軍部關係者多數の見送りあつた

不良ダンサー
免許取消し
妻子ある男と戀愛行

ダンスより胚胎する風紀問題が兒玉博士夫人の行狀暴露によつて社會へ大きい宿題を投げかけてゐる矢先、市內信濃町ダンスホール大連會館のダンサー山岸ユキ(二一)が妻子ある男と三角戀愛に耽り一家を悲運に落し入れた事實が判明し二十八日附で遂に大連署保安係からダンス界最初の舞踏手免許の取消處分を受けた

同女は去る八月一日元藝妓である前身を秘めて東京明治技藝女學校卒業といふ虛僞の履歷書を作成し警察の眼を誤魔化して舞踏手の許可を受け大連會館に勤くやうになつたが間もなく元關東廳巡査で妻子ある男とたゞれた戀に落ち、これが爲め男の一家は悲慘のドン底に突き落され夫婦の間に離緣話まで持ち上つてゐる事實を大連署で探知し遂に他の見せしめもあり斷然免許取消が行はれたもので不良ダンサーの間にセンセイションを投げてゐる

長崎直航 基隆、高雄行
山西丸

大連發　十月四日午前十時
長崎着　六日午後三時一泊
基隆着　十日早朝午後出帆
高雄着　十一日午前

	長崎	基隆	高雄
特等	三〇圓	六五圓	七五圓
並等	一二圓	二五圓	一八圓

埠頭廿四區より出帆
廿區前に切符發賣所あり
大連汽船株式會社　電話七一三一番

戰跡リレー
代表推戴式

來る十月十七日旅順戰跡において擧行する關東廳體育研究所ならびに旅順市役所共同主催になる第九回旅順戰跡リレー大會の都市對抗リレーに出場する監督山田、選手八重樫、濱田、大數、權、金光、關戶、中江七選手の大連市代表推戴式は二十九日午後零時三十分より大連市役所市會議場において小川市長、岡野助役その他關係者多數集合の上擧行定刻市長より推戴狀並に代表市旗を授與して激勵の辭を述べこれに對して八重樫主將の答辭あり後別席に於いて乾盃をなし午後一時閉會した

陸軍側被告を
豐多摩に收容

【東京二十九日發國通】陸軍側被告後藤映範以下十一名は二十九日早朝東京衞戍刑務所から豐多摩に移された、この日各被告は五時起床冷水摩擦後勅諭を拜誦して朝食を攝り又新しき軍服に着替へ、三臺の自動車に分乘して塚本所長自ら附添ふた、カーテンを上げた車窓に見ゆる被告の顏も朗かであるが沿道の建物に見入る眼には思ひなしか一抹の感慨がある、斯くて六時十五分豐多摩刑務所に入つたが、その後姿を見送つて正門の鐵扉は固く閉された

洮南侵入の
徑路不明
ペストの調査

洮南城內發生のペストに就いては當局が全力を盡して發生徑路を調查中であるが外部より侵入せる形跡を認めず防疫當局では發生徑路の不明に不審を抱いてゐる、なほ洮南城內では死亡せる滿人女張氏一名のほか續發する者はない

旅客列車運休

洮南にペスト發生のため滿鐵では鐵路總局と協議の結果十月一日から同線との直通旅客列車の運轉を中止することになつた

天氣予報

北西の風晴一時曇　三十日

滿潮（午前七時二十五分　午後七時四十五分）
干潮（午前一〇時十分　午後一時三十五分）

各地溫度（二十九日午前十一時）

大連	二三	奉天	一九
旅順	二三	新京	一八
營口	一九	新義州	一九

今日の小洋相場（十時）　百圓につき一二三圓三五錢

極東大會の選手豫選
第二回滿洲國體育大會

【新京電話】第二回滿洲國體育大會は二十九日午前九時より新京西公園競技場において開催、本大會は特に明年度極東オリムピック派遣選手を選ぶ競技會であるので興味を惹き觀衆數千競技場の周圍を埋めた、午前九時奏樂裡に前年度優勝吉林軍を先頭に關東州、興安省、黑龍江省、北滿特別區、奉天新京特別市の順に入場、トラックを一周の上南面に整列先づ吉林軍主將の手で滿洲國旗及び大會旗を高く掲揚、一同黙禱を行ひ次いで鄭國務總理の訓示、金市長始め各代表の祝辭あり、終つて吉林軍選手鮑萬程選手を代表して宣誓を行ひ昨年度獲得した優勝旗、優勝カップ、優勝盾等を返還、午前十時よりいよ〳〵千五百メートルの決勝戰に大會の火蓋を切つた

英艦答禮訪問

目下入港中の英國軍艦カンバーランド號に答禮のため滿鐵總裁代理として關根弁事務所長が二十九日午前十時半同艦を訪問挨拶を交すところあつた

質屋の主人
經過不良
手術の結果

二十八日夜西公園町の自宅において強盜のため拳銃にて狙撃され右脾腹に盲貫銃創を負うた質業加戶安治(五三)は婆安市代さん附添ひの下に滿鐵病院に收容され手當中であつたが二十九日正午手術を終つたが經過面白からず憂慮されてゐる

肺尖 肋膜、扁桃腺
特種治療

驚異的に治るは不思議ではないので米國には大學迄ある治療で四十度の熱も體質に依り一度に取れ身長の低い人は二寸迄伸びネコぜが直りダンス小兒麻痺婦人病子宮後屈心臟胃肝臟糖尿病腎臟病神經痛痔疾人知れず煩悶する方は一度御出になれば成程と會得出來升午前は御伺致し升が正午から九時迄西廣場映樂館裏横手滿洲カイロ

善鬼惡鬼 (213)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

二つの骸（三）

吉の始末をして了ふと、長吉は舟を下りた。金太郎も一緒に下りた。で、二人は、前の場所に戻つて腰をかけながら話をつゞける。いつもの長吉とちがつて、何となく、しんみりしたものいひであつた。

「お前も、噂に聞いて知つてゐるだらうが、小梅の屋敷は、お上だつて手のつけられねえ妙なお屋敷だ。力づくでかゝれば、何十人何百人かゝつたつて、敵はねえもんだから、お奉行所でも手をつけかねておいでなさる。捕方衆だつて命が惜しいから、いくらお上の御命令でも、本氣になつて、捕方に向ふ人はねえ。とても力づくでは敵はねえから、何とか誤魔化してだまし討ちにかけやうとしておいでのところを、吉絆寺様のお働きで、先手を打つて了つたんだ。それからあさは、あの通りお旗本衆は皆術を會得する覺悟、お大名衆はエレキの術をおぼえ込んで了はうといふ計略、あの御兄弟二人の怖ろしい技を、一通り受取つて了つたあさは、どんな事になるものか、そこんところのからくりはおいらにしても、今のところ、外から手を出して、あの御兄弟に仇をする奴はねえ。只、怖ろしいのは、御兄弟同士のもつれ合ひだ」

金太郎は熱心に聞いてゐたが

「御兄弟同士のもつれ合ひと云つたつて、五郎兵衛先生の事は、千住においでの時よく知つてゐる。少しもわだかまりのない、生れたまんまのお方だ。あんな立派なお方は滅多にねえと思ふんだが」

「さうよ、五郎兵衛先生と來た日にや、まるで竹を割つた氣象といはうか、まるで神様のやうなお方だが、只、なさる事が荒つぽすぎる。是非善惡の奥底まで考へないで、いやな奴は打つた斬つて了ふが好いと思つたら、飽くまで味方するといふ性分が、いつも／＼形ちの上ぢや、無茶苦茶な亂暴狼藉のやうになつてあらはれるので、世間ぢや鬼のやうに云つてゐるが、心底はまるで佛様だ。それに引かへ、兄御様と來た日にや、只むつつりと考へこんでばかりゐなすつて、二言目にや、切支丹伴天連か何かで、ハライソ／＼とやつておいでなさるが、一日間違ふと、こんなむごたらしい事をなさるんだおいらにいはせると、兄御の方は佛のやうに見えて實は鬼だな」

「なるほど、片つ方が善い鬼で片つ方が惡い鬼か」

「その通り／＼、同じ鬼でもかうなると、萬事亂暴でおし切つてゐる五郎兵衛先生の方が、よつぽど始末が好い。こゝまで打明ける段になると、まだこのあとへどんなむごたらしい事が、起るか、お前にや見當がつく筈だが」

「うむ、よくは判られえが、怖ろしいやうにも思はれるね」

「あの樂齋といふ先生はな、年中獨りぼつちでゐたいんだ。そのくせ、獨りぼつちが淋しくつてたまらねえんだ」

「さいふと」

「手短に云へば、眞底、自分に惚れてくれる女房がほしいんだ。さころが、御自分の女房と來た日にや、お前も知つてゐる通りのお濱さんだ。どこからどこまで、女房でゐてくれるんだか、さんと、見當がつかれえ。それもその筈よ、あそこに眞黒になつて伸びてゐる人たちは、二人とも、おはまさんのお手つきなんだからなア」

「全くだ、あの人のなさる事を見るにつけ、おらあ、女房といふものを持つのが、いやになつてゐるくらゐだ」

「尤もだ、おいらだつて、そろそろ女房でも持つてと、安心の出來た矢先に、おはまさんを見せつけられたんで、近頃はぶつつり思ひ切つてゐるのさ」

「それに引かへ、五郎兵衛先生の奧様は立派なお方だねえ」

「さう思ふだらう。おれもさう思ふ、おれたちやお前が、さう思つてゐるだけならまだ好いんだが、實は、あの惡鬼どのが、おぎん様を羨ましがりはじめてゐるんで、それ。これが即ち、二つの死骸をわざ／＼こゝへ持ちこんで來たいはれなんだ」

頬を寄すれば

松竹蒲田トーキー作品　中央映畫館上映

松竹のオールトーキーとして期待された北村小松原作脚色島津保次郎監督作品で及川道子がトーキーに初主演してゐる、その他のスタッフは桑原昴のカメラで岡譲二、志賀靖郎、高峰秀子、齋藤達雄、大日方傳、飯田蝶子等ストオリイは高杉家のお抱へ運轉手良助（岡）は愛妻に先立たれて娘美也子（高峰）と二人で淋しく暮してゐる、高杉家の令孃弓子（及川）は良助を庇つて美也子を可愛がる、そして美也子が餘り慕ふのでお母さんになつてあげると娘を慰めつゝ戀人の光一（大日方）に嫁いで行くこのしんみりとした母を失つた少女の氣持を中心に妻を亡くして娘と共に世のはかなさを運轉手の身にかこつ父子の姿を描き、娘を可愛がる令孃を配して女のデリケートな氣持を扱つた佳作品であるたゞしんみりした味と併行して大衆的に面白く見せるために飯田蝶子の洋服學校長を始め出演者の大半を喜劇的に扱つたのは全篇の氣分統一を缺いた嫌ひがあるしかし最後の場面の扱ひ方が素晴らしく教會內から流れて來る結婚式の讃美歌を聞き乍ら父子が交す會話に觀衆はホロリとさせられるだらう【寫眞は及川と大日方】

タマキ舞踊團　明夜協和會館

月刊婦人雜誌滿女性社では滿洲國協和會の後援で東京タマキ舞踊團を招聘し三十日午後六時半から協和會館で歌劇舞踊と獨唱の夕を催すが會費は大人一圓學生子供五十錢であるなほタマキ舞踊團主宰環玲三氏は有名な花柳章太郎氏の實弟で多年寶塚少女歌劇團教師として令名ありし岩村和雄氏に師事し專ら舞踊藝術の研究を續け其後自からタマキ舞踊研究所を創設し佐藤香房氏は高田舞踊團のかつてバンドマスターとして名聲あり、タマキ舞踊團の設立と共にその專屬となり伊藤清吾氏は東京ムーランルージュ專屬照明家伊藤達二氏の實弟今般特に一行に加はり照明を擔當してゐる

本邦品の海外躍進
洋灰人絹等注文殺到
特に人絹の米國進出が注目

【大阪二十九日發國通】世界的排撃の嵐を衝いて産業日本を誇る邦品の海外躍進は依然凄い勢ひを示してゐる、卽ち曩にアイルランドから淺野セメントに對し二千噸のセメント註文があつたが、歐洲行の船は最近滿腹つゞきで殘念ながらこれに應ずることが出來なかつた、ところが今度イギリスから又淺野セメントにロンドン、リバプール行き一千噸の注文が入つた、淺野では今度の分は値段よく充分引合ふので、期日中に適當な船を見付けて品物を積出すことになつた、今一つ世界一の人絹國たるニユーヨークの米國人輸入商より三井物産に人絹縮緬の注文があつた白地だけならまだしも色物の注文が來たことはおよそ我國人絹が世界に誇つてよい事で、三井物産では取敢ず二十八日神戸出帆の船で見本を積出すが、これを機會に米國へ進出の途が開かれるものと期待されてゐる

撫順炭礦が
製油に一大進展
驚異的發明に成功

【撫順電話】最近のわが國石油界は露油の大量輸入を一劃期として六社對露油間の激烈なる競爭を惹起し、今や熾烈な爭覇戰が行はれて居るが、本來外油のみによつて大部分の需要を充たして居る我日本では何れは根本的石油國策を樹立せねばならぬ羽目に立つてゐるが、今回撫順炭礦ではこの非常時對策として石油の大量生産を計畫目下着々その準備を進めて居る、しかして右計畫實現の曉には全滿洲の需要を充たし得ると共に、進んで日本内地へも

補給

し得る程の生産高を擧げ得べく、素ばらしい規模を持つものであるといはれてゐる、現在撫順炭礦に於ては一千萬圓の施設費を以て重油、ガソリン等を製産してゐるが、數量は重油年額四萬三千噸、粗蠟一萬三千噸、コークス五千噸、ガソリン一萬五千噸に及び原料たる油母頁岩は日々四萬噸から採掘されるが、製油工場の製産能力關係からこの中實際上の消化は僅かに一日平均四千噸内外に過ぎない、他は全くこれを捨てゝ居る、然るに滿鐵當局では最近の情勢に鑑み、この製油工場に更に一千萬圓を投下し現在の二倍大に規模を擴張しこれによつて放棄されてる餘剩油母頁岩の消化を計畫するに至り、近く實行に着手する段取りとなつてゐた處、圖らずも大橋製油工場長並に炭礦研究所員の苦心研究の結果、現在の規模で前記豫定資本の五分一卽ち二百萬圓を以て二倍の製産能力を發揮し得る驚異的發明が完成され、關係方面に多大なセンセイションを捲起して居る、ついてこの劃期的發明に對し新京の海軍特務機關は技術員を派し、目下成績を試驗中であるが、機關長處田大佐も一兩日中に來撫

最後

的試驗を行つて後直に十月より工事に着手さるゝ模樣である、然も之に依つて增大する製産原油に更に、化學的精製を加へ現在副産物的に採集されてゐるガソリンを一段多量に採集する方法を講じ、これによつて全滿洲の需要を充たす計畫をたてゝ居る、右についてこれが資料を得る爲め製産原油と技術員をシカゴのダブス製油會社に派遣、試驗中であつたが、これも大體成功の見込を得るに至つたので、近く本社の重役會議を經、本格的の活動を開始すれば軍用重油に乃至工業用ガソリンに革命的貢獻がもたらされるものとその將來に深甚な期待をかけられてる

第二回滿洲市場紹介
展覽會を計畫
東亞産業協會主催で

【新京電話】東亞産業協會は日滿貿易振興方策の具體的緊要手段の一つとして滿洲では如何なる商品がよく賣れるか、又如何なる商品が生産されるかを深く日本に認識せしむべく、關東軍、滿洲國政府滿鐵、滿洲國協和會などの後援下に第二回滿洲市場紹介展覽會を北陸並に名古屋以東の關東方面各主要都市で開催することゝなつた、右展覽會開催要領は

一、商品展示會

滿洲主要市場に於て左記商品を蒐集し、日本主要地にて展示會を開催し、日本の對滿輸出業者の參考に供すること

イ、滿洲において最も多く滿人に歡迎される日本商品

ロ、滿洲における日本商品と競爭狀態にある外國品

ハ、滿洲にて生産されつゝある商品

ニ、滿人の好む意匠見本

ホ、滿人に對するポスター看板廣告宣傳材料

ヘ、日滿貿易に關する統計並に調査資料

二、輸出品批判會

同展示場に於てその他の生産品にて滿人向きとして輸出希望の商品を陳列し、派遣員の批判を求め意見の交換をなすこと

三、日滿貿易懇談會

前項の展示會と共にその他に於ける對滿輸出業者と懇談會を開催し、日滿貿易に關する左記各項に就て實際的意見の交換をなし、滿洲事情を說明すること

イ、日滿貿易狀況

ロ、商品の嗜好、品質の色彩、商標値段

ハ、取引方法

ニ、運送方法

ホ、關稅

などであつて開催地は福井、金澤、富山、新潟、東京、橫濱、靜岡、名古屋、大阪の各市で懇談會は京都、奈良、和歌山、神戸、岡山、廣島、下關、福岡、京城の各地で開催と決定してゐるが滿洲國政府、滿鐵、協和會、滿洲輸入組合、聯合會、國際運輸、實業家、東亞産業協會よりの二十名の派遣員一行は先づ新京に集合し座談會を開催し、十月二十五日新京發京圖線にて雄基に出て、海路敦賀に上陸、福井市の懇談會より展覽會を順次開催し京都市の懇談會より一行を二班に分ち、短期日に目的を達成せんとするもので、往復四十日の豫定であるが、昨年の奉天日滿經濟機關の合同主催による第一回展覽會の成績に顧み、多大の効果を齎すものとして大いに期待されてゐる

滿洲國商標法の一瞥（三）
中村如峰

三、當局宣明の批判（承前）

大體叙上の如くであるが、滿洲建國前に施行されて居つた現行支那商標法が不完全な法規であることは、前に述べた如くである。次にこの不完全極まる商標法に愼重檢討を加へ、根本的に修正審議した結果に成つた滿洲國商標法が有つ所謂三點の特異性に就て見やう

一、滿洲國商標法は登錄方針をして先使用主義を採用し（第四條第二項）之に先願主義を加味させて居る（第四條第一項）之に先願主義を加味させて居る（第四條第二項）滿洲國が新建設國家としての特殊事情に鑑みて、先使用主義を採用し、之に先願主義を加味せしめたことは首肯し得るが、先願主義を以て徒らに紛議を惹起し正當なる商品に損害を與ふる虞あるとなすは當らない、何故ならば先使用主義と雖も、必ずしも理想的のものではなく、何れも一長一短を有つて居る。

▲先使用主義の缺點　先使用主義は理論上正當の如くであるが、この主義を採用する國に於ては商標が一旦登錄せられた場合でも、他人が其の商標は自己が最先に使用したものであると主張し、其の事實を立證した場合には、登錄權者の登錄を無效さするが故に、斯かる國に於ては商標の登錄は自己の商標たることの證據材料としての價値は有するが、之に依り確定的に權利を設定せられたものと云ふことは出來ない、卽ち其の權利の保障が完全でない憾みがある。併し滿洲國は登錄後三ケ年を經過すれば確定的效力を有す（第四十四條）ることになつて居る、英國は七年である。

▲先願主義の弊害　先願主義を採用する國においては、使用の有無及び時期を問はず最先の出願者に商標專用權を與へて居るから、多年の間、自己の商品の標章として使用した場合に於ても登錄を受けなければ法律上保護せられない。外國において或者により永年使用せられた商標でも、先願主義の國において他人の名義に依り登錄せられた場合には、その商標先使用者はその國において同一の商標の登錄を受くることが出來ないやうになる、英國等に於て往々日本商標に對し非難の聲あるは、全く日本の先願主義の有する缺點に基くのである。

◇

二、滿洲國は建國の主旨に基いて平等主義を實行して居る、平等主義とは門戸開放、機會均等のことである、而して滿洲國人の商標登錄を認めた外國の人民の商標のみを取扱ふといふやうな主義は取らないといふて居る

日本は昨年九月世界に率先して滿洲國の獨立を承認したが、滿洲國承認問題はまだ世界の懸案である、世界に承認されて居ない滿洲國人の商標登錄を許す國は、滿洲國を承認した日本より外には恐らくあるまい、然るに滿洲國は滿洲國を承認した國の商標登錄も、承認しない國の商標登錄も平等に取扱ふといふ、平等主義なり、門戸開放、機會均等の方針からすれば當然であるが、然らば日滿通商關係の特殊事情は抹殺されるであらうか

吾等は日本人の商標だけといふが如き偏狹な意見を强調せんとするものではないが、日本人としての立場だけは考慮する必要がある、明治三十六年十月締結せられた追加日清通商航海條約第五條には次の條項がある

淸國政府は淸國臣民が日本國臣民の有する登錄商標を侵害するを禁遏する爲め、必要なる規則を設け、且つ誠實に之を執行すべきことを約す

滿洲國政府は登錄局を設置し、商標及び版權保護の爲め、今後同國政府に於て制定すべき規則の定むる所に從ひ、其保護を受くること勿論たるべし

次に滿洲國が建國に間のない昨年三月十二日、堂々世界に發表した所謂對外通告及び同日外交總長謝介石氏が、日本その他十六ケ國の外相に發した對外通電の中には、次の項目がある

中華民國の各國に對して有する條約上の義務中、國際法及び國際慣例に照し、新國家において當然繼承すべきものは直にこれを繼承し誠意を以てこれを履行す。

また昨秋九月十五日締結せられた日滿議定書第一項には、次の如くしるされてある

滿洲國は將來日滿兩國に別段の約定を締結せざる限り、滿洲國領域内に於て日本國又は日本國臣民が、從來の日支間に條約、協定其他の取極及び公私の契約に依り有する一切の權利利益を確認尊重すべし

之等の對外通告、對外通電及び日滿議定書によつて、追加日淸通商航海條約第五條の規約も滿洲國は誠意を以て尊重しなければならぬ義務がある、故に我が登錄商標が唯に平等主義の美名の下に、決して輕視せらるべき性質の者ではない、吾等は滿洲國政府が商標法を施行するに當つて、我が登錄商標を如何に取扱ふかは、深甚の注意を要するのである。後段更に滿洲國商標法と日本登錄商標に就いて述べやう。

三、に至りては、果して滿洲國商標法の手續きが、日本商標法の規定より簡易なりや否やは、後に同法の内容を檢討する場合に於て述ぶることゝするが、たゞ日本商標法が三審主義を採用したに對し、滿洲國商標法は一審主義を採用して居る、併し一審主義と稱揚するも、審定、再審定、評定と區別せられ、果して之が日本三審主義よりも、簡明直截に行はれ得べきや否や、之も檢討した後でなければ、今直に首肯する譯には行かない。（未完）

日印會商第三日
一日延期を承諾

【シムラ二十八日發國通】日印會商第三日は二十九日開かれる筈のところ、今夕刻印度側からボア商務長官の病氣未だよくないため明日の會議に出席出來ず、然し殘りの代表部會議は開いてもよいが如何と云つて來たので、我代表部は緊急協議した結果大國の襟度を示して明日の會議を明後日に延期さ決定通告した

獨自的立場力說
英の利己主義を攻擊
印度棉花協會長が

【東京二十九日發國通】今回の英印會商で兩者の意見對立せる事態するに至つたが、在シムラ三宅總領事よりの報告に依れば印度棉花協會會長は

日本に對する印度政府の措置は不當極るものである、印度經濟の不振は英政府の爲替管理政策に基くものだ、この點に關しては飽まで「ギブ・アンド・テーク」の方針でやるべきで印度は英國の只取り主義に利用されないやうに注意しなくてはならぬと聲明し、英本國の利己主義を攻擊し日印會商に獨自的立場を以て臨むべしと論じた

本邦産鉛筆
世界を風靡

【東京特電二十九日發】ドイツババリアの鉛筆は世界の市場に覇を稱へてゐたが、近年日本産の鉛筆のため脅威を受け、加速度的に業績不振に陷り、技術の點でも製産品の點でも日本品には到底對抗し難く、この狀態では全世界の市場は日本品のために征服されようと悲觀してゐる

滿洲輸入蜜柑に
鐵道省陸路輸送を宣傳

内地蜜柑の滿洲輸入は年々增加の傾向を示し殊に先年の稅率改正さに對し本年の全滿消化力は一萬百萬梱に達するのではないかと豫想され、出廻シーズンの切迫と共に内地柑橘組合聯合會邊りではこれが準備中だが、一方大阪商船に於ても奧地向の聯絡輸送に關して滿鐵稅關當局と折衝して萬遺憾なきを期してゐる、然るに鐵道省鮮鐵當局ではハルビン、チチハル等北滿仕向のものには特定稅率を設定し事實上の運賃引下げを行ふことによつて陸路輸送とすべく主方面に躍起となつて宣傳してゐる事實があり、結局今シーズンにおいて約十五萬梱が陸路を經由するのではないかと豫期されてゐる

米の海外放資
總額百五十二億弗

アメリカ商務省の金融及投資局の報告によると、一九三二年末に於けるアメリカの長期海外投資額は百五十二億五千萬ドルで、一九三〇年末よりも四億七千七百萬ドルの增加を示してゐる、この内ヨーロッパへは四十四億三千萬ドルを投資してゐるが、英、獨が大部分を占めてゐる、ヨーロッパに次いで投資の多いのはカナダ及ニユーフアンドランドで、約四十億ドル、次は南米の二十九億八千萬ドル、西インド諸島の十二億ドルであつて、アジア及び中米は約十億ドルに過ぎない、之等の資本放出は海外に於ける商業、工業の直接經營例へばアメリカ人が管理する製造、分配會社、鑛山、工場の經營、石油採掘等の直接投資の外に外國會社の證券保持による間接投資を包含してゐる

◇

アメリカの外國證券所有による收入は、昨年は約三億一千萬弗で前年より七千二百萬弗の減收となつてゐる、一方直接投資による收入を見るに、昨年は爲替の混亂と各國の不況により正確な見積りは困難であるが、大體九千萬弗乃至一億三千萬弗である、然しその企業設備の修繕、改良のために六千七百萬乃至一億弗が使用せられてゐるから大した收入はなかつた、これを大別すれば（單位百萬弗）

	直接投資による收入	同支出
カナダ	[illegible]	[illegible]
ヨーロッパ	[illegible]	[illegible]
中南米	[illegible]	[illegible]
アフリカ	一〇〃　一〇	七〃　[illegible]
アジア其他	[illegible]	[illegible]
合計	九〇〃　一三〇	六七〃　一〇三

◇

アメリカ對ヨーロッパ直接投資の三分の一はイギリスで、大部分製造業に投下されてゐる、これ等のイギリスにあるアメリカの子會社は積立金は少なく、昨年度の收益配當も他のイギリス會社より低下してゐた、アメリカの對獨直接投資の大部分は工業に投下されてゐるが、昨年度は不況の爲めに收益は低下し、其一部は大缺損をさへ見るといふ不成績であつた、其他イタリー、スペイン、フランス等のヨーロッパ諸國への直接投資は公共事業に投下されてゐるが、其大部分は可成りの收益、配當を行つた、然しこれらの投資はヨーロッパ全體の直接投資に比べると少額である、結局昨年の對ヨーロッパ直接投資による收入は二千五百萬乃至三千五百萬ドル見當、之に對する支出は二千萬乃至三千萬ドルに上つたから差引受取勘定は少なかつた

◇

ラテン・アメリカへの直接投資は大部分原料及び食糧品製造に投下されてゐるが、これらの相場下落の爲に殆ど利益を見ず、主要投資産業たる砂糖、銅、石油等何れも不振を極めた、又昨年末に於けるアフリカ、アジア、大洋洲へのアメリカの直接投資は前年末より少增を示し、合計約七億一千八百萬ドルと見られてゐる、右の中ゴム栽培を主とするアジアの投資及びオーストラリアへの投資は殆ど收益はなかつた、一方アフリカへの直接投資は産銅の方は利益は少なかつたが、産金は可成り儲かつてゐる投資國別左の如し

アメリカの長期投資（單位百萬ドル）

投資先	直接	證券	合計
カナダ及びニユーフアンドランド	二、〇四三	一、九五六	三、九九九
ヨーロッパ	一、五五三	二、八九九	四、四三二
中米	九三三	三三	九六六
南米	一、六四五	一、三三七	二、九八二
西インド	一、〇四五	一四四	一、一八九
アフリカ	一一七	二	一一九
アジア	四二三	五九九	一、〇二二
太洋洲	一六六	二六〇	四二六
合計	七、九六七	七、一六〇	一五、一二七
銀行及び保險投資	―	―	一一五
投資總計	―	―	一五、二四二

鈔票反撥
不安人氣緩和し

二十九日前場錢鈔市場の鈔票は海外情報、倫敦銀塊現物八分の一高、先物十六分の一高、紐育銀塊四分の三安、米日爲替六仙高、滙水百八圓臺、上海標金二、三元高と材料としては不引立であつたが、爲替管理法懸念で怯え切つてゐた人氣も同法もその運用によつて幾分緩和されるとの觀測行はれ、買人氣と化し寄附百十一圓十錢を安値として昂騰步調を辿り一圓攔み高の百十二圓臺乘せと反騰した

混合飼料組合
定時總會開催

關東州混合飼料組合では來る十月五日午後二時より滿洲重要物産組合事務所會議室に定時總會を開催昭和八年度收支豫算の承認を求め役員の改選を行ふ筈

特産一齊に崩落
豐作で先安見越
環境は依然悲觀人氣

二十九日前場の大連特産市場では大豆は豐作による先安見越しで買氣不振の折柄、頃來賣急ぎの奧地筋が一齊に賣放つたので一氣に崩れ、九錢乃至十二錢方の暴落を演じた、豆粕は内地筋の引合で三井三菱の買物七萬二千枚の大口買があつたが大豆の暴落に押されて低落商狀を示し豆油、高粱も人氣薄の折柄とて大豆安を移して暴落を呈した、環境は依然として不良であるから落潮を阻止する材料の出現は容易に期待されず悲觀人氣を濃くしてゐる

芭蕉（漫言）

◇…アメリカが太平洋岸に堆積してゐる小麥の百萬噸ダンピングを目論んで居る、日本に運んで來て僅に採算がとれるといふのだから日本の當業者も買つけるだらうし、同時に支那にも輸入されるだらうが、さなきだに南支方面は豐作で相場がとかく下廻つてるこの頃この小麥洪水の報に市場は一しほ慘澹たる狀態を呈しやう。

◇…特産滔々として崩落、しかも四圍の環境はなは樂觀を許さゞるものありといふに至つては、本年の奧地豐作も恨めしい材料の一つとなる、儘にならぬ世の中ではある。

鎭平銀受渡高

【安東】安東取引所の二十八日限鎭平銀受渡高は三十四萬二千兩にして標金値段は一千四百六十圓、この金額四十九萬九千三百九十圓で前限に比し八萬一千八百四十圓の增加である（單位千）

渡方		受方	
儲蓄	五六	原田	一四〇
丸福	一七六	大森	二六
恒順隆	二七	丸福	一二四
承順	二五	藤本	一三八
長聚隆	四三	外	一四
外	一五		

鮮米收穫豫想
千八百廿五萬石

【京城】朝鮮總督府發表＝本年度朝鮮米の收穫豫想高は一千八百二十五萬四千八百五十八石にして前年實收高に比し百九十萬九千七十三石の增加である

鮮銀券發行高

【京城】九月十七日より二十三日に至る朝鮮銀行券發行高左の如し

總發行平均高	一一一、六九〇、八一二
内	
正貨準備	六一、八二三、八一〇
保證準備	四九、八六七、〇〇二
週末發行高	一一六、八三八、三八一

大連の不渡手形

大連手形交換所に於ける昭和八年一月以降の不渡手形は左の如し

	人員	枚數	金額
一月	六	九	[illegible]
二月	四	五	[illegible]
三月	五	五	[illegible]
四月	三	五	[illegible]
五月	一	一	[illegible]
六月	四	四	[illegible]
七月	―	―	―
八月	三	三	[illegible]

特産
大豆暴落
賣物殺到し

今朝の定期は大豆は賣物殺到して暴落を呈し豆粕豆油は大豆安に伴れて低落を辿り高粱は仕手薄の折柄大豆暴落を眺めて暴落した

市況（廿九日）

◇定期前場（銀建）

▲大豆（暴落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	四一〇	四一〇	四〇九〇	四一〇〇
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　四百一車

▲豆粕（低落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	一三一〇	一三一〇	一三〇五	一三〇五
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　[illegible]

▲豆油（低落）單位錢

出來高　七萬二千枚

▲高粱（暴落）單位厘

出來高　五百箱

▲包、米（出來不申）

出來高　六十八車

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込・裸物）	四一九〇	四一〇〇
出來高	八十車	
普通大豆（袋込・裸物）	四一三〇	四一〇〇
出來高	五車	
豆粕	一二二〇	一二〇五
出來高	二萬八千枚	
豆油	一一七〇	一一七〇
出來高	三千箱	
高粱（物下）	一七八〇	一七八〇
出來高	三車	
包米	出來不申	

豆粕生産高（二十九日）　四、〇〇〇枚　二軒

定期喰合高（廿八日帳入）

		前日對比較
大豆	三三一三車	△印減 ・六車
高粱	七二七車	△一車
豆粕	四六九千枚	六千枚
豆油	六四五百箱	△二〇百箱

錢鈔
錢鈔買人氣
不安人氣緩和で

海外情報は倫敦銀塊現物八分の一高、先物十六分の一高、紐育銀塊四分の三安、孟買休會、米英クロ

株式
錢鈔反撥
東新引軟弱

北濱定期の前場寄は大株十錢高、大新は一圓十錢高、鐘紡一圓七十錢高、鐘新二圓二十錢高、引は大新不變、大株、鐘紡、鐘新共に保合を示し東京短期の東新は十錢高の五圓八十錢と寄りたるも五圓十

豆

けさ大豆は先安見越しに新規の買物殺到したため九錢乃至十二錢方の暴落を演じ四百一車の手合を示した▲豆粕は三井、三菱の買七萬二千枚あつたが大豆の暴落に材料さならず低落商狀を示し豆油も相伴れて低落した▲高粱も人氣薄き折柄大豆安に一溜もなく崩れ暴落を辿つた▲現物大豆は三井二〇、三菱五、豐年一〇、油房四五で八十車の手合▲現粕は三菱一萬八千枚三井一萬枚の買物があり現先共に三菱の買が目立つてゐるが内地の引合があつたらしい

銀

海外情報は倫敦銀塊暴落、紐育は保合で不引立であつたが鈔票は買人氣となり二圓臺乘せとなつた▲管理法に怯えてゐた人氣が取引所長の聲明から法令も運用によつて幾分緩和されると解釋したためらしい▲實際條文によるさ大體において許可主義になつてゐるので運用次第にどうにでもなる譯である▲實際の取締りがどの程度であるかはいよ〳〵施行されてみないと判らない▲しかしいづれにせよ取引が窮屈になることは免れないから餘り樂觀することは考へものであらう

株

大阪の寄高と東新の小鞘りを入れて當市の五品は定期四十錢高、延二十錢高に寄つたが東新の引安と引際ボンヤリとなつた▲錢鈔は管理法悲觀の賣物で四、五圓方の暴落をみせてゐたがけさ管理法運用の緩和說を入れて一圓高と反撥した▲内地市場も未だ不透明の商狀ではあるが長い間の低迷でどうやら底値の鍛練は出來たらしいがこれも既に消化済みであるし高値取組の當限が落ちて來月に入れば樣變りの相場となりさうな氣配である

米支十二仙高、滙水百八圓臺、米日爲替六仙高、米支十二仙高、滙水百八圓臺、大洋申九七元三七五、大洋九五元三〇、米日爲替第一回八分の一安、第二回八分の一高、上海標金二、三元高と材料としては平凡であつたが當市は管理法の運用緩和說を入れて買人氣となり漸騰步調を辿り一圓攔み高の二圓臺の高値に止めた

◇定期前場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一一一一〇	一一一一〇	一一一一〇	一一一一〇

出來高　期近四百三十萬圓

◇現物前場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一一一五	一一一〇	一一一一〇
十時	一一一〇	[illegible]	[illegible]
十一時	―	―	―
十二時	―	[illegible]	―

出來高（銀對金十五萬六千圓・銀對洋四萬圓）

錢鈔前場

五品は四十錢高と寄けた、延は二十錢高と寄り四十錢安に引け、錢鈔立直つて九圓五十錢と引け、東新は九圓五十錢と一圓方低落して引けた

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
新豆（寄）	二〇〇	二〇五
新豆（引）	二〇〇	二〇五
五品（寄）	二六九	二七三
五品（中）	―	二七三
五品（引）	二六九	二七三

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	一〇〇	一〇〇	一〇〇	―
錢鈔	一九	一九	一九	一九
大新	―	―	―	―
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

滿鐵株（保合）

▲東短前場　滿鐵新株　六十七圓十錢

▲大阪短期　滿鐵舊株　六十七圓六十錢

◆羅取引◆

代行二六五、商取信一六二、滿洲興業二五八、大連精糧五〇、東拓新七七、金福鐵九〇、正隆舊二七一、正隆新一四一、正隆二新一七九、滿銀舊二七〇、滿銀乙新一八五、滿銀丙新七三、鮮銀新一七五、郊外六八、周水土地四七、五〇、大連火災一二〇、土木企業五〇

○爲替及受渡日步

	爲替	受渡	代引代渡	日步
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

株式出來高（廿八日）

定期	二、六〇〇枚
延	二、八五〇枚
糴合	五〇枚
早渡	五、五〇〇枚
計	九八〇枚
金額	五七、八四〇圓

商品
綿糸不申
麻袋先物高

●麻袋　産地休會乍ら當地は地場鈔票昨日突込み過ぎ感ありて本日前場俄然引戻し氣味にて二圓臺乘りありて滿商筋の氣分を良くし氣配は現物、當限共三十五錢八厘、十月三十六錢、十一月三十六錢二厘、十二月三十六錢二厘、三厘見當に好調を呈した

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	九月限	三五七	二
同	十二月限	三六二	二〇

出來高　二萬二千枚

●綿糸　米棉現物十ポイント安、先限六ポイント安、印棉休會、米日爲替十三仙高、大阪三品は受渡休會にて當市は出來不申であつた

市場電報（廿九日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	十八片十六分七
同先物	十八片十六分一
紐育銀塊	三十六仙八分七
孟買銀塊	―
スチール	四十七弗八分三
アナコンダ	十五弗八分三
英米爲替	四弗七十仙〇分〇
米日爲替	二十七弗六十五仙
米支爲替	三十弗六十六仙

神戸日米

第一回	二十七弗四分三
第二回	二十七弗八分七
第三回	二十七弗八分七

棉花

●米棉

現物	九仙六〇
十月	九仙六六
十二月	九仙八一
一月	十仙〇〇
三月	十仙〇七
五月	十仙二四
七月	十仙三一

●印棉

ペンゴール	―
ブローチ	―
オームラ	―

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	二一一〇	二一一〇
大新	一一三六〇	一一三六〇
鐘紡	一四三六〇	一四三〇〇
鐘新	一一三五〇	一一三九〇
日糖	八五三〇	八五二〇
郵船	四四一〇	四四一〇
滿鐵	六六三〇	六六三〇
滿鐵新	―	―
東株	―	―
東新	一九七〇	一九六一〇

（短期）	大新	東新
寄値	一一一七〇	一九五七〇
引値	一一一三〇	一九五二〇
高値	一一一九〇	一九六四〇
安値	一一一一〇	一九五二〇

	鐘新	滿鐵
寄値	一一〇八〇	六七六〇
引値	一一〇九〇	―
高値	一一三三〇	六七六〇
安値	一一〇八〇	六七六〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	―	―
東新	―	―
五品（當・中・先）	―	―
豆新（當・中・先）	―	―

（短期）	東新	滿鐵新
寄値	一九五八〇	六七一〇
引値	一九五一〇	六七一〇
高値	一九六五〇	六七一〇
安値	一九五〇〇	六七一〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二三四〇	二三四三
中限	―	―
先限	二三六九	二三七七

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	二三〇一	二三〇八
中限	―	―
先限	二三四三	二三四六

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三〇五	二三〇一
中限	―	―

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
先限	一三六五	一三六四
九月	―	―
十月	―	―
十一月	―	―
十二月	―	―
一月	―	―
二月	―	―
三月	―	―

大阪棉花

	寄付	大引
當限	―	―
先限	―	―

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
九月	―	―
十月	八〇〇	七六〇
十一月	七六〇	七七〇
十二月	七六〇	七七〇
一月	七七〇	七七〇
二月	七六〇	七七〇

印度麻袋

鐵筋直積	―
靑筋直積	―
爲替相場	―

手形交換高（廿九日）

	枚數	金額
金	一、一〇三枚	六八四、四〇二圓
銀	三〇九枚	三一、一一〇、八六三圓

爲替相場
鮮銀

倫敦向電賣（一圓）	一志二片〇分〇
紐育向電賣（金百圓）	二十七弗四分三
同上海電賣（百弗）	一〇九圓〇〇
同　賣（銀百圓）	九七圓五〇
日本向電賣（同）	一一二圓〇〇
同五日拂買（同）	一一三圓五〇

奧地相場
錢鈔

	現物	
金票對奉天票（奉天）	五、七〇〇	―
國幣對金票（現物）	一〇五、八〇	一〇六、一〇
金票對國幣（先物）	九四、四〇	九四、〇〇
開原國幣對金（現物）	一〇五、四〇	一〇六、一〇
新京國幣對金（現物）	―	―
安東鎭平銀（當限・先限）	一、四五九 / 一、四六一	―
哈國幣對金票（現物）	一〇五、七〇	一〇六、一〇

特産

▲大豆

	寄付	大引
哈爾濱 十月限	六〇五〇	六〇〇〇
十一月限	六一〇〇	五九七五
十二月限	六〇五〇	五九〇〇

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一部 金五錢 一ケ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 指定場所 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

米の軍擴に底なし 超特大建艦案を計畫

四百隻の巨人艦隊を目指し まづ英提言を一蹴

【東京特電二十九日發】某所着報英國の提議を一蹴せるアメリカ政府は一九六二年までの二十八年間に毎年約九千六百萬弗をもつて戰艦二十、航空母艦八、巡洋艦四十七、驅逐艦二百一、潜水艦九十九合計三百七十五隻の大建造を爲す計畫を樹てゝゐるといふこの情報に對し我が海軍省はこれは軍艦競爭を前提としての宣傳であらう一九三五年の會議の決裂を豫想することは我が軍縮精神を誤解するものであつて若し我が主張が容れられたならば各國間の競爭は解消するであらうといつてゐる

滿蘇紛糾問題閣議へ

滿洲國の司法事件に過ぎぬ 日本は全く無關係

【東京二十九日發國通】廣田外相は二十九日閣議席上最近北鐵ソ側職員逮捕事件に端を發して急速に惡化しつゝあるソ滿兩國紛糾に關聯しソ側はモスクワ並に東京に於て夫々日本政府に對し紛糾處理斡旋を依頼して來た經過を説明、北鐵紛爭はソ滿兩國間の司法的事件であり我國としてはこの際滿洲國に對し指圖がましい事は避くべきだ、又ソ側が滿洲國の處置を日本のさし金によるとなせるは甚だしき見當違ひで日本は何等關知しない更に北鐵讓渡交渉は兩國間の折衝促進に關し折角努力中だと報告した

定例閣議

【東京二十九日發國通】二十九日の閣議は午前十時より開會小山法相より神兵隊事件に關し報告廣田外相よりシムラ會商は本日より本會議を開く筈で今日迄の會商は十月十日期限滿了となる日英通商條約の當面の善後措置に就き交渉したものであると報告次いで荒木陸相は方振武問題は解消したと述べ南遞相より郵貯利下げ以後本年四月には二十六億圓に減少したが九月に入り二十八億四千萬圓に增加した一口の預金高は少いが預金者數は增加してゐるのは良い傾向であるなほ增加の地方は炭坑木材養鷄地であると報告し正午散會した

關東州職員令改正

【東京二十九日發國通】關東州地方待遇職員令中改正の件は本日の定例閣議で決定した

北鐵職員告發問題 滿洲側反駁 ソ側の抗議に對し

【ハルビン特電廿九日發】北鐵ソウエート側主席幹事マゴンは二十六日陳幹事長宛稽核局が單獨にて北鐵重要職員を告發したのは越權だとの抗議をしたが陳幹事長はこれに對し

一、幹事は幹事會に議題を提出する權利はあるが對等の地位で幹事長に抗議し得る組織でない

二、稽核局の告發は滿洲國刑事訴訟法二百二十一及二百二十二條に依るものである

としてソウエートの抗議を拒否した

北鐵幹部代理と蘇聯の不當處置 滿洲國側嚴重に抗議

【新京電話】北鐵ソ聯側幹部從業員の拘引によつて一般從業員は鎭穩を保つてゐるが、二十七日に至り拘引幹部代理問題が生じ多少動搖を見るに至つた、從來幹部不在に對する代理者は次席者がこれに當る例なりしが、次席は多く滿人側從事員がこれを占めてゐるのでソ聯側では特に今回の滿洲國側の措置は全くこれによりソ聯側の北鐵内における勢力を減殺せんとする計畫的に出でたるの擧なりと曲解し、ソ聯側から代表者を出すに至つたので森田司長はその不法に對し廿七日嚴重抗議を發したが、ソ聯側も頑強に反駁して讓らず目下代理者問題を挾んで滿蘇兩國は對立の狀態となり各從業員はその成行きに對して不安を感じつゝあり

新鋭驅逐艦艤裝を完了

【横須賀二十九日發國通】浦賀ドック會社で建造中だつた我海軍新鋭驅逐艦千四百噸は艤裝愈々完了し三十日午前帝國海軍の手に引渡され横須賀鎭守府艦籍に入る事となつた

通信收入增加

【東京二十九日發國通】昭和七年度遞信省通信事業と印紙收入決算は最近調査完了し大藏省に交附されたが、歳入決算三億千三十七萬二千圓で豫算額に比し千百六十三萬七千の增加だ、最近財界不況で通信收入は漸減し六年度など決算約二億九千五百萬で豫算額より二千萬圓の減少だつたのが財界好轉と滿洲事變後の日滿通信增加のため收入增加したものである

顧みられぬ日支問題 手持無沙汰の顧維鈞代表

【東京特電二十九日發】ジユネーヴ支那代表顧維鈞は日支問題で長廣舌を振ふつもりで瀬踏みをしてゐたが各方面とも相手にしないので遂に會議には持出さぬことになつたらしい

米穀統制の拓務修正案

【東京二十九日發國通】拓務省では米穀統制農林省案に對して左の如き修正案を二十九日北島殖産局長より農林省に提出した

一、水稻作付面積の減少する爲めに朝鮮では棉、粟、大豆を臺灣は甘蔗栽培を奬勵し補償金を交附する

一、朝鮮及び臺灣に於てなるべく多量の朝鮮、臺灣米を買上げ現地に於て貯藏す

一、移動米に就き或程度の負擔を課す事並に朝鮮と臺灣の米穀輸出の許可制度を採用せず

一、本案實施費は一般會計とす

新恩給法 十月一日施行

【東京二十九日發國通】第六十四議會を通過した改正恩給法は愈々十月一日から施行される事となつたので内閣恩給局では局員を全國各地に派遣して今回の恩給法改正の眼目並にその内容等の周知方に努力し準備工作を大體完了して今は實施の日を待つばかりとなつたが今回の改正は年々五百萬圓前後の恩給金額の自然增加を防止したもので恩給亡國と叫ばれて居る財政上の危機を救ひ他方社會的見地から現行恩給法の不合理を除去するものであつて公傷病者の恩給增額遺族扶助料の增額等に依つて一時的に恩給金額の增加を見る事があるとしても四年後には自然增加を防止し十年後には年々四五百萬圓の剩餘を生ずる豫定である

露臺に月は遲い 〔秋宵〕 話題は豐富だ

寛ぐ菱刈長官談片

二十九日太陽が大分西に傾きかけた頃關東長官々邸のヴエランダで和服に寛いだ菱刈長官は新聞記者團とテーブルを圍んで漫談を交した、以下長官との問答

長官「君この頃は大連の何某博士の殺人事件で新聞は賑つてゐるね、内地に逃げた二人はどうなつた」

記者「只今高野山で情死しかけたところを逮捕されたと本紙の號外が出て居ります」

長官「死ぬところを逮捕されたかだが情死しかけたところを捕へられたとは一寸おかしい、人間が死ぬと云ふ事はよく〱行き詰まつた時の事で、仲々死れるものでない、腹切つて死ぬ〱と云ふ人間にそれなら死ねと短刀を與へてやつても顏色が變るだけでやれるものじやない、まあ今度捕へられたら又新聞も賑やかだな……」

と長官は話題を轉じ

長官「この間米岡市長から學校增設とか外に二つ三つの問題を聞かされたが、君、學校なんかは日本にあり餘つてゐるよ關東州だつて日本の内だ餘り必要ないと思ふね」

記者「方振武の問題も解決したが大連會議の第二次的會議は何時になるか」

長官「方振武にしろ何にしろ烏合の衆だよ、統制のないものに何が出來るか、あんなものは放つたらかして置いても大した事はない、大連會議の細目會議は近くやるが、こつちから出掛けて行つて便利なら誰か出掛けるし向ふから來た方がよい時は來て貰う事にしてゐる、これも成るべく早くやる豫定だ」

記者「長官は三位一體と云ふ重責を負うて居られるが、非常な重責だから遍く滿洲に於ける各機關の機構を改革して閣下の重責を少しでも輕くし健康その他の關係から旅順の方に長く滯在される樣になるとの話を聞きましたが」

長官「そんな事はない、三位一體と云つた所で重要な事をア…アと聞いて居ればよいのだ、皆が皆一緒に働いて呉れるからやつて行けるのだよ、重責と云ふ程ではないれ……」（寫眞は菱刈長官）

日滿 空の尖兵

海軍機横須賀出發 早くも舞鶴へ到着

【横須賀二十九日發國通】日滿航空路開拓の海軍航空隊相澤大尉指揮の飛行艇二機は午前七時半野村長官の見送りを受けて出發した、午前十一時十分舞鶴要港へ到着した

廣田外相に竢つ對蘇關係の調整 （一）

新村龍二

〃非常時はこれからだ〃、〃非常時は益々尖鋭化する〃といふ呼聲は、氣の弱い者を滅入らしめ、神經の緊張し易い者を昂奮させて我が國民の諸階層をロイド・ジヨージの所謂神經恐怖狀態に陷らしめてゐたが、この〃非常時〃が、一體、如何なる動向過程を意味するものであるかに就ては正確な概念を有する者が鮮なかつた

だがこの非常時は、國際政治乃至對外經濟の方面に關する限り、日本が愈々孤立化し無援化して行くことを意味し、各國との相剋が益々激化して、とゞの詰りは何れかの國と、或は何れかの國々と紛爭を交へざるを得ざるに至ることを豫かじめ信號するものであることは云ふまでもない

この自國の孤立化、この他國との對立激化に對して我が有識階級中の纎弱なる部分は著るしく神經恐怖狀態に閉ぢ籠められ、各方面から洩れる〃非常時〃の聲を雷鳴の威嚇と感じてゐたのである

かゝる時點に於て、わが外政指導の舵機は内田前外相の手を離れて廣田新外相の手に握られるやうになつた。ところが廣田外相は、その就任が報道されるや、未だ一語も發しないうちにわが國民の諸層より強い期待を懸けられた

これは何故であるか。それは第一に、前述の如く、國民の一部に〃非常時〃の威嚇下に迷へる羊の心理が横溢してゐたからであり、第二に廣田外相がその閲歴と平常の言動により、〃必ず何かするだらう〃といふ印象を國民各層に與へてゐたからである

非常時の外相としては、既に試驗ずみの大家では駄目である。二年のち一年のちは言ふまでもなく二ケ月のち一ケ月のちの將來でさへ全く未知數である今日は現狀維持、ことなかれ主義、日和見外交の系統に屬する定價の知れた人物では駄目である、今日の荒浪が要求するわが巨船の舵手は神經の太い、獨自の見解を押通す力を内に藏する者でなければならない、徒らに外見のみ勇壯な、然し本質に於てヒステリツクな見榮を切るばかりの舵手では駄目である。不意打に出現するかも知れぬ怒濤、暗礁、颶風に處してビクともしない人物でなければ舵手の役目は勤まらない、廣田外相はこれらの要求を滿たすべく、時代によつて呼び出されたのだ

この期待を背負つて登場した新外相はその第一聲に於て何と言つたか。外相はその第一聲に於て現下の〃非常時〃に對して新たなる解釋を下したのだ。曰く

世人口を開けば直ちに現下日本の外交難局を唱へるが、我輩は外交が行詰れりとも思はぬ。又さしたる難局であるとも思はぬ。苟くも一つの國家が異常なる力を以て躍進する場合、他の均衡を保ちつゝ普通の力で進む國家との間に勢力の不均衡を來し、これがため國際難局に立つは當然のことである

廣田外相は、かくの如く〃非常時〃を恐怖から眺めないで國力躍進の當然の結果であると評價したが、これはやゝもすれば萎縮せる有識階級一部の心臟によき注射劑を注いだものであつた、次いで廣田外相は

現在の日本は非常なる力を以て躍進しつゝある、從つて難關に遭遇する。然しこの難關或は非常時といふものは積極的非常時といふべきで、躍進する國家の難關を突破せんとする非常時である、國家が滅亡の方向を辿る場合の消極的非常時とは格段の違ひである

卽ち廣田外相は今日の非常時を日本の躍進に伴ふ危機であつて、滅亡の途上における危機ではないと性質づけた、從つて國際政局における孤立も、他國との相剋も迅速に生長しつゝある喬木に對する強風なのだ。これは大陸における世界市場における日本の政治的經濟的躍進を見れば一目瞭然である

而も廣田外相の右の斷定はその就任前の長い休養中に、なたまめ煙管を咬へつゝ、熟慮に熟慮を重ねた結果として到着せるもので、一時の思ひつきではなささうである。外相の言葉はかくて、對外關係の危機により神經恐怖狀態に陷つてゐた我が有識階級、就中ジヤーナリズムの中に可なり力を有するその自由主義分子に救命器を與へたかの觀があつた

政友、立ち上る

津市東海大會で第一聲

【東京特電二十九日發】十月一日三重縣津市に開かれる政友會東海大會は久しく蟄伏せる政黨のマニユエヴアとして各方面から注目されてゐるがその大會において鈴木總裁は大體齋藤首相に提示せる國策を敷衍し三大指導精神、十大國策を根幹とし外交、國防を先づ論じて國防費の財政との調和を説き滿洲國の獨立助成を説きつぎに政友會の産業經濟政策を論じ行政機構の改革に言及、最後に人心不安の一掃の急務を切論し我が國傳統の皇道精神に立還り君民一致の政治實現を期するためには立憲政治の大道に直進し議會政治を振肅してこれを擁護するために政黨自ら戒め相協力する必要を力説する

鈴木總裁談

【東京二十九日發國通】鈴木總裁は三重縣津市で東海十州大會に臨むべく二十九日午後十時十五分東京發西下したが車中語る

問・國策協定成行如何

答・それは政府の問題で自分の希望は述べておいたから政府が如何なる程度に採用して具體案として相談でもしかけるといふやうな事があればその時所見を述べる機會があるかも知れぬ、さもなければ自分の意見は述べてゐるから議會で相見ゆるだけだ

問・明年度豫算に對する所見如何

答・今批評の限りでない、軍事豫算もまだ發表されぬが國防上已むを得ないものは承認せねばなるまい

問・外相更迭後外交方針に對する所見如何

答・外相就任日尚淺く批評の仕方もないが我黨には發表した方針があるからそれによりやつて貰ひたい

問・思想對策如何

答・之は政策を超越した根本問題として急速に處理せねばならぬ

問・米穀對策如何

答・米價の引上げと提案に依つて農民の購買力を維持增進し商工各般の振興に至らしめねばならぬ

問・立憲政黨政治維持の心情如何

答・廣く會議を興し萬機公論に決すといふ事は明治天皇維新の御偉業の精神で進歩せる國民政治の正道なりと確信する意味から政黨否認とか獨裁政治否認といふ事は少しく冷靜に考へるとその道理を容易に諒解し得るであらう

民政黨 新外交策發表

【東京二十九日發國通】民政黨は本日新外交方針を發表十月四日正式決定の筈である

一、開國進取の國是に則り誼を四方に收め信を國際に厚くするに努むべし

一、帝國特殊の立場は之を主張し擁護の途を誤まらざると倶に帝國の使命に顧み東亞の政局を安定せしめ恣いて世界の康寧福祉に寄與せんことを要す

一、滿洲國の健全な發達に必要な支持協力を與ふると倶に獨立を尊重すべし

一、支那をして東亞の大局を保持し世界平和に貢獻せんとする帝國の根本方針を充分諒解せしめ速かに不法なる抗日政策を改めさすやう適策を講ずべし

一、露西亞との懸案を處理解決し兩國の善隣關係を完うすべし

一、日米親善は常に增進を旨とし其の間誤解なからしめん事を期し相互の認識を深からしむる措置を執るべし

一、英國との關係は公正なる調整を遂げ兩國友交の傳統を長く保全するの途を講ずべし

一、文明を平和に求め常に列國と連絡協力すべし

海關事務干渉嚴禁

南京當局から命令

【上海特電廿八日發】從來日本品の支那輸入に對しては抗日會員が海關吏と結託して檢査をなし、また各地の市政府、公共團體がこれを指圖し日本品の輸入手續や運送上害を與へてゐたが、財政部及び行政院から二十七日附各地海關に對し今後公共團體（抗日會の如きもの）が海關事務に干渉することを嚴禁する旨命令を發した

八田副總裁赴旅

二十九日朝北滿視察から歸連した滿鐵八田副總裁は同日正午大連發旅順に赴き菱刈軍司令官を訪問鐵道問題について打合せした

現條約暫存

印度原則として同意

【シムラ二十九日發國通】新通商條約締結交渉及び會議中現條約存續の日本の要求に對し印度は原則として同意したが外交權なき印度は如何にすべきか決定するあたはず英本國へ請訓してゐる我代表部では右に關し協定の形式を執るか單なる覺書として意思表示をなすか等の形式問題が殘されて居るが次回は新條約締結に關する根本問題に進むものとして注目さる

日印條約延期 御諮詢奏請か

【東京二十九日發國通】十月十日以後に於ける現行日印通商條約の效果を一ケ月延長すべき英國政府の回答に滿足せず帝國政府はなほシムラ會商繼續期間中に限り有效ならしむべく英印當局と折衝しつゝあり近く何等かの解決點に到達せんとする情勢にあるので我外務當局は右條約の效力に關する暫定取極めが決定すれば之を日英兩國政府間に於ける公文交換の形式となす筈であり、その場合右は樞密院の諮詢事項に屬するから直に暫定取極めに關する御諮詢奏請の手續を執る筈で既に外務當局では之が準備を急ぎつゝある

英民間代表聲明書發表

【シムラ二十八日發國通】英國民間代表クレアリー氏が二十八日夜發表した聲明書で日本に觸れた點は注目に値する、卽ち今回始めて「吾々は日英印の通商問題解決のためシムラに來たのだ」と述べてゐるのは頗る興味のあるところである

爲替管理講演

愈々來月五日より施行される外國爲替管理規則に關する横山課長の解説講演は大連商工會議所主催大連新聞社及本社後援にて二十九日午後四時より大連商工會議所に於て開催同五時半終了した、日本人聽衆は五百、滿洲國人側は二百名に達する盛會であつた

見送りませう 白衣勇士凱旋

けふ午後四時照國丸

社說

某夫人に關する不祥事件
享樂と自利とを追ふ人々

某博士夫人の周圍に渦卷く不祥事件は多く考察を要する點がある。而して斯くの如き不純戀愛に絡まる事件は、現在日本各地到る處に暴露されてゐる。尚他の方面にては、瀆職、背任、收賄贈賄等金錢に關する不快な事件の暴露さるゝことも亦頗る多い。蓋し此等は何れも、社會國家に毫も關心する所なく、只管に個人的利益と享樂とより外に何等思ふ所がない現代思想に育まれた人達の釀成する所に外ならぬ。而して此等破倫不道事件の特色は、この關係人物が相當の教育を受け、相當の社會的地位にあるといふ點にある。

◇

思ふに、國家社會の利益に毫も關心を持たず、只管に個人的利益と享樂とより外には何等の考をも持たない國民が多ければ多い程、その國家その社會の堅實性に缺陷を增す。しかも社會の上層と認められる知識階級の人達が斯る狀態にあるならば殊に寒心すべきである。我邦は目下東洋平和の基礎を定めて世界の大平和を築くべき大事業に着手し、此れに全幅の努力を拂はねばならぬ時期にある。此際上記の如き個人の利益と享樂とより外に考へない一群を、社會の上層知識階級に發見するは、實に遺憾千萬といはねばならぬ。

◇

世情斯くの如きに至つた原因は何か。蓋し我邦多年の教育と政治との實際が、個人主義に傾き、物質的實利主義を鼓吹した結果に外ならぬ。明治維新以後社會人心の向ふ所は立身出世にあつた。教育の力點は立身出世にあり、あらゆる機會を捉へてこれを鼓吹するに怠らなかつた。道義的教育はその名あるのみ。實際は頗る消極的で甚だ力が弱い。而して社會に出て立身出世するには、物質萬能をモットーとして行動するにあらざれば、その目的を達し得ないやうな政治の執り方である。

◇

昔は學問ある人と云へば必ず道德高い人を意味した。今は教養と德義とは別個の問題となつた。高等教育を受けた男でも女でも人道に缺くるもの多きは屢々暴露さるゝ實例である。教育と政治との缺點から生じた舊道德破壞の思想はその形式と共にその精神をも破壞し盡し、新時勢に相應し發生すべき新道德の根柢を喪失せしめた。人心滔々として個人的利益と享樂との囚とならざるを得ぬ。唯僅に健全なる一部があつて、憤起してその匡救を圖らんとするに過ぎぬ現狀である。

◇

學界の世界的權威であつたとか、某奬學資金を受けた名譽とか、拮据して築き上げた社會的地位等の辭を聞きて、かゝる讚辭が冠せらるゝ人物の道念が如何に薄弱低級であるかを暴露せられた時、綺羅を纏ひ寶玉を輝かして、ピアノを彈じ、ステップを踏む婦人が、その心情の如何に下劣卑汚であるかゞ暴露された時、吾人は實に苦笑の外はない。誰れ彼れの個人を嘲笑する前に、斯くの如き人物を生むに至つた世相の墮落に浩歎を禁じ得ない。

◇

而して一方を見れば、營々として家業に勵み、國家の一員、社會の一分子としての勞務に服し、それに拘らず襤褸をも纏ひかれ、陋屋にも住みかれて、一身の享樂など思ひも寄らぬ。しかも道念に於て必ずしも上層階級に劣らぬ男女の一層があるを思へば、愈々世相の平ならざるものあるに想到せざるを得ぬ。內の美を認めず育てずして、外の飾をもてはやす。是れ個人も社會も共に墮落する所以である。實に百慮すべきは今日の教育と政治とである。而して斯る世相に直面する吾々は深く自ら省みる所ありて、心行共にその平を失はざる修養と覺悟とを持つべきである

收入の飛躍的增加 支出は常年通り
滿鐵九年度營業豫算

滿鐵九年度營業收支豫算は九月二十日が提出締切日であつたが事業豫算が遲れたので順次に遷延し、就中營業收入の大部分を占むる鐵道部と商事部が未提出で大體の見當もつきかねてゐたところ二十九日まづ鐵道部が完成、同日經理部に提出された

金額は 例によつて嚴秘に附せられてゐるが大正八年度鐵道收入が九月二十九日現在において四千七百三十萬圓に達しこの調子では八年度實算の一億二千萬圓に達することは確實なので九年度豫算もこの前後なるべく、殊に北鮮に拔ける特產は明年度は極めて少量でありそれだけは豐作による南行增加で補ひ得るから結局鐵道部提出の金額も一億二千萬圓見當と見られてゐる、しかして八年度豫算における鐵道收支は

收入　九五、五三〇、〇七五圓
支出　三三、三四四、三一四

であつたから收入において實に二千五百萬圓の增加である

支出は 例年收入の三十七、八%を占むるを常とするから九年度豫算においては四千萬圓見當なるべく、卽ち八年度豫算においては六千萬圓程度に見積られてゐた鐵道純益が九年度豫算では一躍八千萬圓に達するわけである、次に

商事部 關係は二十九日部內會議を開いて部議を纏めたので三十日中には經理部に提出さるべく、この方は明年度の賣炭數量と價格の見通し如何によつて左右されるので殊に嚴秘に附されてゐるが、四月より九月に至る今年度上半期の賣炭成績や炭界昨今の景況より推して明年度の賣炭數量は八百五十萬噸見當なるべく從つて金額は七千萬圓乃至八千萬圓見當とならう、卽ち八年度營業收支豫算中鑛業收支は

收入　五三、九〇八、五三六圓
支出　五六、三九五、四〇一圓

であつたから九年度は收入のみの比較においては二千萬圓見當の增加を示すべく、損益においては八年度は二百五十萬圓見當の赤字だつたのが逆に二、三百萬圓の黑字となり、昨年度と比し五百萬圓位の純益增となるものと見られてゐる、更に

每年の 營業豫算中に四五百萬圓の赤字を入れてゐた製鐵が今年度より豫算面より除かれるのでそれだけ赤字が減るわけである、これを要するに明年度營業豫算中においては收入方面では鐵道鑛業、旅館、港灣、地方等が滿洲景氣や軍需工業の旺盛につれて未曾有の躍進をなさげこれに對し支出は比較的增加せざるため收益率著るしく

好轉し 八分配當は極めて易々たることが明白となり每年編成難に惱んだ滿鐵も今年は久しぶりに餘裕ある豫算を編成し得ることゝなつた

業態調查
來年一ケ年を期間に
米內山關東廳調查課長談

北鮮鐵道の委任 廿九日正式調印
村上理事京城で語る

【京城二十九日發國通】北鮮鐵道委任經營の正式調印をなすべく二十九日朝入城した村上滿鐵理事は本日中に吉田鐵道局長との間に右調印を了し、今夜中に淸津に赴く豫定である、同理事は語る

もう總ての難かしい手續は濟んでゐるので、今となつては頗る簡單なものだけの調印を濟ました上、淸津に行つて新設の北鮮鐵道事務をみる豫定である、經營が滿鐵に代つたとはいへ事務其他を始め今迄の局營と少しも變更なく進めるつもりだ

商船新線へ 近海郵船抗議
協定違反を理由とし

外國出張員に
米內山調查課長

新京無電臺
明春竣工

承認一周年を迎へて 建設され行く滿洲國 (18)
軍政部の沿革
(二) 軍政部總長 張景惠

任免昇轉の權限

部內の人事處理

人事暫行の便法

測量及軍用地圖

軍法裁判の規定

匪賊討伐の成績

八相
全試驗制度に
一母

朝日新聞幹部

朝日新聞招宴

人事

花理全盛の提唱

市況

株式 東新强保合 當市晦り

特產 奧地筋賣り 大豆續落

商品 麻袋晦り

錢鈔 鈔票軟弱

奧地市況

市場電報

家庭 十

兒玉博士夫人を繞る

(B)──舞臺に躍る人々・批判

若し私だつたら妻を離別する

女は世界到るところにある

大連技藝女學校長　島田道隆氏

博士の事件を批判する前に私は私自身の人生觀を訂正しなければならないものかを再三考へてみました。

何故かならば博士の日常生活が家庭を冷たくしたとすれば、私も亦同じやうに家庭を冷たくして居ると言はれねばならない、教育といふ公職が私の唯一の仕事だ道樂だと思つてる私には、寮生達と寢食を共にする時間が多くして妻子と食事を共にする時間が少ない、本職のための生活であつて、家庭人としての生活なんて殆ど出來ない、それを冷たい家庭だとして批難せらるゝものならば私は私の人生觀に訂正を要する時期が來たやうに思ふ。

だが私は訂正することを止さう、それでよいと思ふ、だから博士への批判も自己の尺度に當てはめるに過ぎない、從つて他人から見ると正鵠を得たものとはなるまいと思ふ。

一體われ／＼は如何に生くべきか、それは我々の仕事──天職といつても使命といつてもよい──を全うするといふことで、娛樂だの家庭の暖かいの冷たいのといふことは、たゞこれを補助する材料に過ぎないと思ふ、その見地から見れば吾人は公人として生くべきで、家庭人といふことは第二義的であるべきだと思ふ。

而して夫婦といふ場合に、其の何れが主になるか、それは當然男子が──男子の使命が中軸になつてそれを守り立てゝ行くのが妻の務であるべきだと思ふ、だから博士の研究を直接助けずとも間接に力づけることが勝美夫人の任務であつた筈である、そこに自己の本務を認め、悅樂を認めねばならぬ筈だつた。

男としての博士が取つた最後の手段──眞相は判然しないが、もし私だつたら、かくなつた上は妻にも周圍のものにも執着を持つ必要はないではないか、も少しアッサリと妻を離別すれば問題はないではないか、男子には男子としての本務がある──女は世界到るところにある──一女性のために終世の事業を棒に振つたのはイクラ考へて見ても惜しいことだつた。

何故不義の妻を許したか

羽衣高女校長　岡内半藏氏談

滿洲に於ける醫學界の一權威者と仰がれ、地位あり信用ある兒玉博士は一面尊敬すべき篤學の紳士であるが世事に疎く、家事の不取締から今回の如き一大悲慘事を惹起し可惜一身一家を亡ぼす樣な羽目に陷つたのは誠に氣の毒千萬であります、私は新聞記事以外には何等其眞相を穿ち得ないのであるから此際敢て批判がましきことは避けたいと存じますが唯博士の爲めに返す／＼も惜むべきは何故男らしくせなかつたかと云ふことです

（一）みだりに姦夫（?）を慘殺し剩へ其死屍を虐待しながら、一方に於て心の腐つた身の汚れた不義の妻を許したか（二）若し又博士が主犯者でなく共犯を強ひられたものであるならば、何が故に事件發生後十數日間も躊躇したりせず一刻も早く自首して潔く法のさばきを受くる態度に出でなかつたか

と云ふ點にあるのです、併し私は多く語るに忍びません。

（寫眞は岡內校長）

來るべき大問題
女學生の眞劍な叫び

◇彌生高女五年生　A

私達は事實を知らない、只新聞に出た記事だけに論據を置くから或は御本人には御氣の毒なことになり、また的はづれの批判になるかもしれないけれど、聲の大きかつた順に纏めてみませう。

1、博士は學究的な人でいつも御自分の仕事にばかり正面な顏をみせて夫人は横顏ばかりみてゐたから夫婦の愛情に乏しく人情味に缺けてゐた爲に家庭は空虛であつた、從つて夫人は夫の眞價を知らず世界的な博士の學識社會的な立場などご理解してゐなかつたかも知れない

2、日本婦人の魂である貞操の何であるかをはつきり辨へてゐないのは高等教育を受けた婦人として悲しいことだ、御自分の妻であるといふ自覺もなく浮草のやうに男から男へと移つてゐたなどは私達女性の名を極度にはづかしめたものである

3、肩書や地位、教育の程度などは人間の價値と大した關係のないものだと思つた、博士でもあんなことすれば匹夫に劣ると思ふ

4、最初貞淑だつた夫人があゝした亂行の限りを盡すやうになつたのには博士にも五〇%の責任はあるが物質と時間に惠まれた勝美夫人が有閑婦人の陷りやすい三面道をひたばしりに走つた事は夫人の日常生活に生活理想や信念がなく感謝の念が足りなかつたからだと思ふ

青山學院の出身でありながらクリスチャンらしく振舞へなかつたのは夫人は何事にも浸りきれない微溫的な人でなかつたか、或は多角形な落ちつきのない性格がしからしめたものか、とにかく心の中にしやんとした或物がなかつたことは事實だ

5、靑柳靑年は實に意志の薄弱な人のやうに思へる、いやだ、いけないと思ひながらひきずられてゐたのは決斷力が乏しいからだ、男らしくない男、條理の前に整然と形を正すことの出來ない優柔な男と、妻としての自覺のない夫人との魂がフラ／＼と倚りかゝりあつてゐたやうに思へる、恐らく靑柳靑年と夫人との間にも燒きつくやうな愛はなかつたでせう──と思はれる

6、妻の不貞を知つてからの博士の態度や今度の犯行後の態度など普通の常識があれば三分間考へたら判ることだのに……私共はむしろ不思議です

7、家庭を守るべき夫人が樂しみを外に求めたのがいけなかつた淋しい氣持ちを自ら慰めるために讀書、裁縫、手藝、園藝など家庭的なことに廣く趣味を持つて一日中忙しく暮らす工夫をすれば日も足りない位だのに暇だつたらもつと社會奉仕的な仕事に活動すればよかつた、何にしても自分の向上を圖り一家を樂園とするといふやうな點を考へず唯むやみに飛び歩るいて刹那的な享樂に日を送り惡友にひつかゝりそれに脅迫されてまた犯されるといふやうに亂行の幾重奏をやつて到頭ぬきさしならぬ立場になつて終つたのだらうと思ふ

食堂車にニッポン娘
滿鐵々道部が九名採用

滿鐵々道部食堂車營業所では九月一日から列車に乘込ませてゐるキッシヤーガールの成績が極めて良好なので、いよ／＼滿間運轉の急行列車食堂車に日本人サービスガールを乘込ませることゝなり、數日前から數回に分つて試驗の結果希望者二十七名中から九名を選拔採用した、合格者は十七歲から二十歲までの處女、十月一日から正式の講習を受けて十一月匆々から列車に賑かに乘込む豫定である　×　×　×

奉天女學校卒業後不幸兩親を失はれましたが伯父さんに當る連鎖街森洋行森捨三氏のもとでその溫い愛情と深い理解のもとに

わたしの結婚觀（十）

家族本位の人と……

何事も伯父さん任せですわ

森洋行の艶子さん

樂しく朗かに生活してゐらつしやる艶子さん（二一）をお伺ひしました。

……◇……

應接室へやゝ俯向き加減にはいつていらつした艶子さんにお逢ひした記者はしとやかな美しさに胸をうたれました、來連以來いそがしいお店でキャッシヤーとしてお手傳をされてゐた艶子さんは此頃では三十人からのお店の人達の食事の獻立をしてゐらつしやるとのことで、お料理は仲々自信があるらしいです。

……◇……

艶ちやん（伯父さんはさう呼ばれます）も、これでもう一人前です、資產家の長女として何不自由なく暮してゐたのですが、父が家庭をかへりみない人だつた上に事業に失敗してなくなつてから私の家に來てゐるのですが、とても朗かな性質で伯父の家だからといふことでつまらぬ遠慮や義理立のために苦しんではといふ私の心配なぞも除かれるので喜んでゐます、結婚適齡期とでもいひますか、そろ／＼心掛てゐるのですが、たゞ私としては朗かな純眞な氣持で結婚してくれることを望むだけです

……◇……

「艶子さんはどんな方と」

「眞面目な家庭本位の人」

「お金持はきらひです、えゝ結婚する人は伯父さんにまかせます」

「でも艶ちやんは伯父さんがこの人と結婚しなさいといへばすぐする?」

「これは困つたなあ」

伯父さんは顏をかゝへて笑つてゐられる、艶子さんも俯向いてくす／＼笑つてゐる、何となし親み深い好ましい御樣子です、いゝ伯父さんだなあと記者は思ひました。

「でも當人同士が充分理解しておかないと兒玉夫妻のやうになりますよ」

「その際ははつきり主張なのべますか」

「えゝ」

「でも私としては何といつても艶ちやん本位です」

「これからはいゝ人と出來るだけ機會をみて交際させたいと思つてゐます」

東京商大出と聞くが伯父さん仲々ひらけてゐらつしやいます。

「家族本位を望んでゐるせゐか艶ちやんには不思議に子供がなつきます」

「はゝあそれだと結婚してうんと子供を作るんですなあ」

「まあ私……」

「いやこれは……」

さう／＼笑ひが爆發しました。

（寫眞はしとやかな艶子さん）＝完＝

▲お斷り　昨日本欄の寫眞は右から內山すみ子、後藤敏子、岡外紀さんです

家庭顧問

冬になると鮫肌になります

【問】十九歲の男子です、毎年冬になると手足及び腰の邊りが鮫肌となり搔けば白い皮が落ちます、併し夏になり、水泳等をしますと割合に綺麗になります適當な治療法を御敎示下さい（惱める男）

サリチル酸アルコールを塗れば

【答】一%サリチル酸アルコールを一日數回塗布します、直に乾燥しますから其後にオレーフ油を薄く塗入れたら治ります（辻慶太郎）

ラヂオ

大連　JQAK　九月三十日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特產株式、各地相場）
▲午後零時十分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場、公設市場值段）、ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分　ジャズ（一）ブルースタンゴ「れたみ」（二）ワルツ「忘られぬ思」（三）ワルツ「百萬弗の女」（四）パソドブル「スペインの姬」（五）ワルツ「外交團」第一ヴァイオリン（川口養之助）第二ヴァイオリン（高木益美）アッコールデオン（ワシリエフ）ギター（ミッチーヤ）ドラム（エセノフ）
▲義太夫「心中天網島新地茶屋の段」淨瑠璃小林うろこ、三味線竹本旭勝
▲午後七時三十分（東京より）歌謠曲（一）いろはにほご（二）月は宵から（三）もつれ髮（四）ほんとにそうなら、唄小梅（伴奏）三味線喜美榮、三味線三代吉、コロンビヤオーケストラ
▲午後七時四十五分（東京より）落語「ろくろ首」古今亭今輔
▲午後八時五分（東京より）長唄「鷺娘」唄杵屋和歌延、同杵屋和歌花、同杵屋和歌藤、三味線杵屋和歌鈴、同杵屋和歌敏、同杵屋和歌鈴、笛堅田喜三花、小鼓望月初子、同望月太美濱、大鼓望月せい子、太鼓堅田喜久技
▲午後八時卅一分　職業紹介事項
▲ニュース▲氣象通報

東京　JOAK　九月三十日

▲午後六時三十分歌謠曲（杵屋佐吉作曲）唄杵屋增子、三味線杵屋佐喜藤、同杵屋佐喜琴イ、里がへり（江崎香風作詞）ロ、渡り鳥（白木楓葉作詞）ハ、海は朝凪（放送文藝當選歌詞、松本穰葉子作詞）唄杵屋佐登、三味線杵屋佐喜藤、三味線杵屋佐喜琴イ、蛇の目傘（遠藤黎風作詞）ロ、こほろぎ（白木楓葉作詞）ハ、村娘（下田昌司作詞）
▲午後六時四十五分俚謠「博多節」水茶家秀
▲午後七時吹奏樂（一）行進曲「戴冠式の鐘」バートリッヂ作曲（二）ポルカ舞曲「ほさゝざす」「こほろぎ」ヘルゾーグ作曲（三）樂劇「神々の黃昏より」「ジーグフリートの葬送行進曲」ヴァーグナー作曲（四）軍歌集（陸軍戸山學校軍樂隊作曲、陸軍戸山學校軍樂隊、指揮樂長伊藤隆一（以下大連放送局と同じ）

本社特選　新棋戰（其七）

平手　先四段　△市川一郎　四段　▲加藤富久

【圖は四五銀迄の局面】

▲	△
▲三三龍	△四一飛成
▲六一桂	△五一角
▲三二龍	△同　龍
▲同　銀	△四二飛
▲五二歩	△三二飛成
▲八六歩	△四四銀
▲四七と	△同　銀
▲四九飛	△五八銀打
▲一九飛成	△五四桂
▲七二金寄	△五二龍

迄合計百十五手にて市川氏の勝

土居八段總評　市川君は敵の四筋飛車に對する對策を屢々誤つた爲に敵の防備が整ひ、折角銀を戰線に繰り出したが、攻勢を執るに難く持久戰模樣となつた、加藤君は序盤に於て巧みに駒組みを整へたが、以下漸次攻勢の方法を誤り八筋よりの挑戰無謀の爲大いに形勢を損じた、然し敵の陣形も良好とは言へないから茲で九筋を狙へば面白い局形となるのを、四五歩以下左翼よりの仕掛けが甚だ不可のために活動困難な敵の飛車、銀に働かれ形勢惡變した、以下形勢恢復に努めたやうであるが依然その方法を誤つた爲め全滅したのは新進の加藤君としては甚だ不出來の作戰であつた。

萩原七段解說　加藤氏の三三龍は四五龍では四三飛と成られ、次に五四角又は九一銀を打たれる手が殘つて惡いので三三龍と指したのである、次に六一桂は敵の九一角を防ぐ意味である、加藤氏の五二歩は五二金が駒損になるが止むを得ない、市川氏の四四銀は敵に手駒が少ない故大丈夫と見てこゝ得を圖つたのである。

第廿九回　滿日特選碁戰

先々先先番　四段　中川新　三段　渡邊英夫

●	○
●二一への十六	○二二への十五
●二三トの十六	○二四ホの十三
●二五ロの十四	○二六ホの十八
●二七ハの十八	○二八ニの十七
●二九への十八	○三〇ロの十七
●三一ロの十五	○三二ロの十八
●三三ホの十四	○三四への十四
●三五への十三	

感想　白曰く　黑二十一で（い）の方にノビられたら、二十八に押へて居るつもりでした、二十五の下りがうまい手でした、黑二十七が筋のやうです、三十五の切りまで黑惡くないつもりです

此手で若し二十八とハネ白（ろ）黑（は）ならば、二十五にハネツイで居ていゝつもりでした二十六が惡手でした（は）にトンで居るのでした

白曰く　御說の通り、十四、十六十八の趣向が無理なのでせう、そこへ二十六の惡手なのですから白のよい害がありません

—【2】—

滿日各地版

强盗に怯えた奉天 不安から救はる
全市民を戰慄せしめた强盗團 一味五名逮捕さる

【奉天】旣報、奉天附屬地城内の兩替店、雜貨店、宿舍等を殆ど連夜通り魔の如く襲ひ多額の金品を强奪し市民を脅かしてゐた大膽不敵な拳銃强盗團に關しては奉天署において滿洲國警務廳と連絡をとり不眠不休で嚴探中偶々その首魁を北市場で逮捕し彼の自白により兇暴なるこのギャング團も一網打盡に逮捕され强盗事件頻發で毎夜の如く惱まされてゐた不安も一掃されるに至つたが逮捕された五名の賊の姓名は

▲河北省豐潤縣生れ住所不定無職前科三犯顧顯榮（三三）▲山東省高唐縣生れ住所不定無職謝長有（二〇）▲山東省濟南生れ住所不定無職戴興泰（二五）▲山東省安邱縣生れ住所不定無職曹俊田（二五）▲山東省臨楡縣生れ住所不定無職李長清（二九）で左の如き恐るべき犯行を全部自白してゐる

▲附屬地内の分

△八月二十八日午前九時頃青葉町二番地黄玉堂妻王氏（三二）を襲ひ現金廿七圓その他金時計等を强奪

△同廿九日午後八時頃住吉町二番地滿鐵社員社宅大塚彦次郎方を襲ひその妻ちま（四〇）及居合はせた近所の妻女より現金八十五圓その他金側腕時計を强奪

△九月五日午後九時十分青葉町二番地兩替店張振聲（四二）方の不在中侵入衣類六點價格廿八圓を强奪

△同七日午後八時半頃霞町二番地牛肉販賣業馮朱氏（四二）方に侵入し小洋十七元、金票八圓を强奪

△同八日午後九時半頃八幡町八番地雜貨商毛德盛（五一）方に侵入し現金六十圓を奪ひ拳銃を發射して逃走

△同十一日午後八時五十分頃八番町十一番地雜貨商大山源三（五九）方に侵入し現金十五圓强奪

△同十二日午後八時四十分雪見町三番地路上に於て彼等は嚴探中の奉天署警官隊と出會し猛烈な交戰後崔君揖（二八）巡査補に致命的重傷を負はせて逃走

▲附屬地外の分

△九月十五日午前零時半頃商埠地居住徐勳先（三〇）方に侵入徐に重傷を負はせて現大洋百元を强奪

△同十九日午後十時頃鐵西毛織會社に通ずる道路上において洋車で通行中の毛織會社員古矢弘一（三六）を襲ひクロム時計上衣現金を强奪

△同夜十一時半頃商埠地西方奉天窯業會社日本人宿舍を襲ひ六名の邦人より金側腕時計、洋服、現金、衣類等百二十圓を强奪

△同二十日午前十一時半の白晝城内小西關兩替店天興順方に自動車で乘りつけ千圓を强奪

△同二十一日午後九時半頃小西邊門外煙草商鈴木喜三次方に侵入し大洋金票取混ぜて三十圓强奪

△同二十二日午後六時半頃小西關天興順兩替店に侵入し現金四千百八十七元を强奪

努力の結晶
三浦司法主任語る

【奉天】八月二十八日を手始めに附屬地、城内等で十三件の强盗を働いた大膽極まるこれ等兇賊も奉天署の大活動で一網打盡に逮捕さるゝに至つたが三浦奉天署司法主任は語る

自分が着任早々次から次へと起る强盗事件に是非この兇賊を逮捕し市民の不安を一掃させたいと奉天總領事館警察側の應援を求め且つ滿洲國警務廳と連絡をとり司法係一同を督勵し不眠不休で之が逮捕に全力を注いでゐたが、今回一日の大努力で强盗團全部を逮捕することが出來て何より喜ばしい、八月二十八日最初の强盗事件があつて一ケ月その間犯人逮捕のため活動せしめた署員の延人員は實に一千名で被害件數は十三件その金額七千五百圓の多きに達してゐる

現議長の出馬により 地方側は大動搖
滿鐵側地盤は牢固

【四平街】地委選擧戰は時期迫るにつれて益々熾烈を加へ來る折柄今回は隱退せるものと見られた現議長林寛一氏が二十七日に至り突如出馬を宣言せしより、地方側各候補の地盤に一大動搖を來し、選擧戰は愈々白熱化を見せ當落の豫測は逆睹し難き狀勢にあるがこれに反し滿鐵側即ち驛、機關區、公學校は牢固たる地盤を有するだけに極めて平靜を續けてゐる

しかも公學校長稻川淺二郎氏の立候補の聲が地方に流るゝや同校長に子弟を託する日滿父兄會は渾然として同校長を推戴するもの、如く從つて最高點を以て當選することを疑ふの餘地なしと觀測されてゐる

今立候補の顏觸れを擧げんに

伊藤新八（地方側）　添田澤三（同）　林寛一（地方側）　田中佐重郎（同）　竹村石次郎（同）　木藤格之（同）　富田登二（同）　稻川淺二郎（滿鐵側）　田中幸英（同）　松尾廣次（同）　趙漢臣（滿人側）　徐普沅（同）

規定十名の委員に對し十二名の立候補現れたことゝて二名の落選者は免れざるより今や混戰狀態にあるが何人が當落するや俄に豫斷を許さざる形勢にあり

新京の孔子祭　執政大成殿にて三跪九叩の禮

熱のない地委戰
定員にも足らぬ營口

【營口】地方委員の選擧はあます所一二日に過ぎないのに今日まで名乘りを上げたものは古川現地委議長、現委員松本員男氏、同須崎平右衛門氏、安彦英三氏の四氏位で定員八名の半數で殘る四名の内野村營口驛長自ら立候補はせず自然驛埠頭に相當纏まつた票があるから部内から無理押しに出すであらう小川滿新社長も之れ又自ら立候補せずされど地方有志が捨置かず乘り出しを要請すべく關現委員も同じく町内會又は市民有志が奔走することであらう爰に一人の不足を見るが乃美熊太郎氏も潜行的氣構へがあるのでないかと見られて居る、いつもながら營口の選擧戰の熱のないのにはあきれる

鞍山地委員選擧立會人決定

【鞍山】十月一日施行さるゝ地方委員選擧立會人は廿八日地方事務所より左記四氏に委囑決定した

△永津利輔（製鋼所）△小野忠則（滿鐵）△林清勝（市中）高如九（滿人）

奉天地委懇談會

【奉天】十月一日を改選期とする地方委員會は二十八日最後の懇談會を開催し記念撮影をなして散會

質札でヘロ密賣 コソ泥激增
鞍山に珍商賣、珍現象

【鞍山】元滿鐵守備上山德重（二七）は本年六月錦州より鞍山に舞戻りモヒ患者にして同職人たる高木憲治（二）を使ひ、當地郊外八卦溝に於てヘロインの密賣を專業とし現金は勿論質札等をとつてヘロと交換してゐたが、附近の中毒患者等は質札でヘロが求めらるゝといふので競うて附屬地に出て物品を窃取入質現金を得た上更にその質札でヘロを買ひ、これが爲め最近附屬地のコソ泥急激に增加して鞍山署でもほとほと手を燒いてゐたが右密賣者兩名外鮮人密賣者三名の逮捕によりこの二三日間コソ泥がピタリと止んだ

安東の初霜

【安東】二十六日の冷雨で國境地方は氣溫が急低下し二十七日朝初霜を見た、昨年より十四日平年より四日早い

富田サーカス事件 關係者の處罰決定
李少尉以下三名極刑

【奉天】小河沿における奉天省警備軍の富田サーカス襲擊事件は近來にない不祥事件として在滿日本人に多大の衝動を與へこれが成行きを注目されてゐたが警備司令部では既報の如く本月一日以來軍法處において數回に亘り軍法會議を開き關係者李少尉外十數名に對し嚴重なる審理を行つてゐたが去る十九日判決言渡しがあつたので同司令部では二十七日午前十時より司令部内において滿良少將より小河沿事件判決について左の如き發表をなした

去る八月五日の奉天省警備軍に係る所謂小河沿邦人殺傷事件はその後日本憲兵隊支援下に奉天省警備司令部軍法處において關係者十數名に對し數回の嚴重なる取調べを續行し更に軍政部總長の任命せし軍法會議により審議中なりしが十九日審判長より陸海空軍刑法に照し李少尉以下三名は殺人罪を以て極刑に程連長以下三名は部下多衆暴行不彈壓罪を以て有期徒刑にそれぞれ處斷し關係軍官以下に對しては陸海空軍懲罰令により嚴重なる行政處分に附した、又于芷山上將は二十五日午後再び總領事館に蜂谷總領事を訪問し誠意を披瀝して遺憾の意を述べ且つ日本側より要求に係る損害賠償金並に慰藉料として六千五百十圓を提出したこれで日滿親善の不祥事件と目された該事件も日本側の同情ある取計らひと警備軍側の誠意ある處置とにより完全に圓滿解決を見たわけ警備軍では警備司令官以下死者遺族は勿論日本側に對し恐縮し陳謝の意を表すると共に部下全般に對し嚴重なる訓戒を與へ「禍を轉じて福となす」意味においてこれを機會に益々日滿人相互の理解に努め軍紀振肅に全力をつくし堅く將來を戒めた

慰藉料を繞り紛爭惹起か

【奉天】サーカス事件の圓滿解決により早くも慰藉料問題を繞つて一部遺族間にいまはしい分配爭奪を惹起せんとする傾向があるので總領事館に於いては愼重調査の上遺族に支拂ふべく目下原籍地其他に照會調査中である

警備軍全般的に軍紀肅淸に努む
滿良少將は語る

右發表後滿良少將は語る

滿洲國軍としてかゝる事件を發生せしめたことは誠に遺憾に堪へない次第で各方面の誠意ある取計ひにより今回圓滿に解決したが事件以來部下警備軍に對しては嚴重訓戒を與へ今後は過般警備軍内に設立された警備軍協和會を活動せしめることにし先日も各地に派遣した監察員と共に駐屯地を訪問し部隊の慰問をなして日滿協和の實を計り親善に努めると共に今後もこの協和會により日滿双互の理解を圖る一方六月に新設された警備軍督察隊は未だ訓練も行き屆いて居らず憲兵事務が充實されてゐないからこの程古岳憲兵少佐を招聘し督察隊長に任命したので今後は督察隊の充實と共に警備軍全般の軍紀肅淸に努める

遼陽の領事館 登記事務廢止

【遼陽】遼陽領事館閉館後は奉天總領事館員臨時出張所といふことで遼陽警察署の一室で從來の如く登記事務を取扱つてゐたが司法領事減員のため毎月二回遼陽まで出張して來ることが不可能となつたので今後登記事務は奉天に於て取扱ふことになり時々連絡のため臨時出張所に館員が來るに止まることゝなつた

鐵嶺でも廢止

【鐵嶺】鐵嶺領事館閉鎖後當地では奉天總領事館出張所が新設され登記事務は從來同樣に執務され毎月二回出張を見てゐた司法領事が缺員となり未だ補充されぬため從來の如く定期出張執務不能を理由として今後登記事務書類は奉天總領事館に直接提出すべしとの公文が一般に通知された、右は鐵嶺の爲め少なからぬ不便と不利を與へるもので一日も早く司法領事出張復活を切望されてゐる

各地の祀孔
新王道國を象徵して 廿八日一齊に行はる

【本溪湖】未曾有の豐作を豫想され百姓太平の秋さやかに訪れた仲秋丁酉の日、滿洲國政治のテーゼたる王道の始祖孔子を祭つての「祀孔」は二十八日午前六時より縣衙大堡村女子師範校内の至聖堂前に於て行はれた、縣長陳應魁氏祭主となり小島參事官、宮崎駐官を始め吏員、教員、警察隊多數出席の上、數多家畜類のいけにえを前にして奏樂と共に行ふ九叩頭の禮は禮敎の國滿洲を象徵して莊嚴を極めた

金州文廟祭典

【金州】文廟の祭典は午前十時三十分開始された長官一行の外伴旅順民政署長長尾高等法院判官島田博物館主事を始め遠く沿線各公學堂長其他參列者一同着席嚴かなる各儀式を執行して祭典を終り正午設けの公學堂に於ける宴會場に臨み席定まるや大和田民政署長一場の挨拶を述べ伴旅順民政署長來賓日滿兩國人を代表して祝辭と謝辭を述べ宴會裡に午後二時散會した

十周年を迎へる安東女學校
十月七日記念式を擧行

【安東】安東高等女學校は十月七日で創立十周年を迎ふるので同日午前十時から記念式を擧行するがこれと前後して次の如き記念行事を催すことになつた

運動會＝十月一日午前九時から午後三時まで、音樂會＝七日午後七時から九時まで、展覽會＝七、八兩日午後一時から四時まで、生徒製作品バザー＝八日午後一時から四時まで

普蘭店小學校

【普蘭店】二十七日當地小學校五六年生は甘井子に同四年生は金州に何れも修學旅行をなしたが三年生以下幼稚園兒童は二十八日當内和尚屯の苹果園に遠足をした

將來の發展に備へて 和龍縣公署の龍井移轉運動

【吉林】吉林省和龍縣公署の現所在地は過去に於て舊軍閥の放任的暴政に政治經濟其の他一般周圍の刺激僅少にして餘り其の存在を重要視されざりしが、滿洲國の成立と之に順じて治安の維持が確保され且又敦圖線の開通その他交通の利便に刺激され附近の情勢著るしく變動し將來に對する縣の現所在地は餘りにも偏僻にして發展の見込なく財政困難、產業不振、交通不便等を主因として漸次縣政は頽廢する恐れあり、かくては縣政上に來す支障多く縣の維持及び南間島發展策に及ぼす影響大にして、早くもこの主點に着眼せし縣當局では愼重に考慮を重ね漸次詳細調査の上省公署にこれが詮議方を請願すべく準備中管下住民の悉くは既に縣公署所在地を龍井に移轉する意思を有して所々で鳩首會議をなし龍井市民と協力移轉案を立案し、八月二十四日午後四時より準備會を開催左の如き主旨を表明して愈々積極的運動に着手せし模樣である

滿洲國にては建國劈頭事業として行政及經濟機關を局子街に集中しつゝあるが近き將來に於て治外法權撤廢せらるる曉には龍井は自然頽廢せざるを得ず故にこれが對策として一步進めて龍井を中心とする南間島發展策として和龍縣を龍井に移轉せしめ縣の威容と農商民の前途萬全を期せんとするものである

以上の主旨に基づき附近相當廣範圍に亘る有力者を網羅し去る十七日龍井にて移轉運動の大會を擧行明細書を作成して各當局に歎願し愈々積極的運動を進めて來た

各地片々

◇普蘭店 普蘭店果樹組合支部にては來る十月三四兩日に亘り熊岳城及得利寺方面の果樹園視察を行ふべく目下團員勸誘中であるが組合員に對しては多少の補助をなす筈である

◇營口 營口稅關にては來る十月四日（仲秋節）は休廳の告示を稅關長松原梅太郎名を以て發表した

◇鞍山 輸入組合では二十八日午後七時から實業協會において這般政府より融通された低利資金の運用に關し座談會を催した

◇鞍山 廣島縣生れもと鞍山北三條通一丁目雜貨店平野商店々員田原嘉一（二〇）は最近鄕里竹原署に逮捕取調を受けてゐるが、右は店に備はれ中本年六月五日集金二十五圓を橫領費消したる外同月十五日賣上金百三十餘圓入り金庫の中より六十五圓を窃取せる旨自供してゐると

◇鞍山 大石橋遼陽間勤務滿鐵傭員社員の雇員登格試驗は十月九日午前八時から鞍山小學校に於て行はるゝ筈であるが受驗希望者二十七名である

◇奉天 奉天郵便局長毛呂邦次氏は滿洲電信電話會社の奉天工務處長技術科長に岩本宗太郎氏は奉天中央電報局長に、市川薫氏は中央電話局長兼管理處長にいづれも就任し二十七日各關係方面を廳訪挨拶があつた

◇奉天 二十六日午後六時頃奉天鐵西貯炭場附近路上に於て數名の邦人ルンペンが車座となり本引と稱する賭博を開帳中王巡捕が發見、逮捕せんとするや逸早く逃走その中二名を逮捕すると共に證據物件を押收したが、こ奴は奉天西塔花木洞文成玉といふ鮮人宅に同居してゐるルンペン廣瀨鎭夫（二六）及び岡田義直（三四）と稱し本署に送り目下取調中である

◇蘇家屯 當地在鄕軍人分會海軍出身（警察、滿鐵、市中側）代表者は多年の懸案なりし海軍部組織に再三會談を重ねたる結果愈々これが具體案を得三十日午後五時より當地小學校講堂にて各知名士臨席の上海國日本の第一線に活躍せる赤誠に燃ゆる海軍部の發會式を擧行する

◇蘇家屯 蘇家屯機關庫新設されて滿一ケ年に當る來る十月一日午前十時より同區構内にて開區記念式及び殉職者の慰靈祭を施行される由である

◇蘇家屯 蘇家屯警察署にては附屬地に接近せる滿洲街に於て痘瘡患者發生其後愈々該病蔓延の兆ありて何時附屬地に傳播するやも計り難き狀態にて之が豫防の爲め來る十月五日午後一時より小學校講堂にて臨時種痘を施行することになつた

◇鳳凰城 鳳凰城警察署保安衞生主任田坂千代一警部補は今回安東警察署に榮轉することゝなり三十日赴任の豫定であるが、氏は當署在勤中衞生施設、車馬整理、道路改修等々大なる功績を殘し又一方體育協會幹事として大に盡力するところあり今回の轉出は一般から非常に惜まれてゐる

司法事務幹旋者取締を行ふ
館令で取締規則公布

【鞍山】奉天總領事館では近時邦人にして附屬地外において滿人乃至日滿人間の司法事務幹旋又はこれに類似の調査探訪等をなす營業者が漸次多きを加へ來つた爲め、これが統制上今回館令を以て法律事務所取締規則を公布嚴重取締を行ふこととしたが、右營業者は一ケ月以内に規則書式の屆出をなし許可を受くべく違反者は閉鎖を命ぜらるゝと

電報料引下に遼陽も起つ

【遼陽】遼陽實業會では滿洲電信電話會社の電報料が著るしく高率となつた事に付常に多くの電報取引をなす特產商側とも研究を進めて居たが高木、榊原商店の如き今回の改正で年額一千數百圓宛も多く支拂はねばならぬ事になり滿洲國側商人も相當打擊ある事が判明したので去る二十二日の評議員會で大連商議と同一歩調をとることに決定會長の手許で請願書作成中の處二十七日菱刈全權大使、電々會社總裁、滿洲國交通部總長宛に書面を發送した

積缺支拂示達

【奉天】舊政權時代の債務保證支拂は滿洲國中央政府において既にこれを決定し積缺委員會の手により日滿各商人の提出した金額を整理調査の結果第二次支拂を受けることになつたが奉天總領事館から二十六日奉天商工會議所にたいし右支拂は決定し公債は十月二十六日頃交付する由で利子は七月一日に遡及して之を附する旨示達された

錦州民會選擧
民選になつて最初の 目下の所無競爭か

【錦州】錦州日本人居留民會では來る十月一日午前十時より午後四時までの間錦州日本尋常小學校にて民會議員の選擧を行ふが定員三十名、從來の官選が民選になつて始めての選擧で市中に立候補者の立看板散見し選擧氣分を煽つてゐる、目下の處立候補者は左記三十名と云はれ無競爭狀態であるがなほ他に食指動いてゐる者も尠からず、何れも油斷なく作戰を進めてゐる、因に有權者は約二百八十名平均一候補九票强の割に當つてゐるが棄權が何割に當るか興味を以つて見られてゐる

青山秀一、濱口英雄、寺島克次郎、池田知賀良、細尾政雄、中山孫一、廣瀨德松、小早川正登、小野興太郎、矢島德三郎、一之瀨道賢、中川平次、馬瀨平治、道瀨毅、竹内無平、大坂源次郎

全滿青訓射擊會
鞍山守備隊射場で開催

【鞍山】全滿青訓射擊會は鞍山守備隊石家谷射場に於て廿八日井上守備隊司令官、山西理事、中西地方部長、有賀學務課長、羽山鞍山守備隊長、森地方事務所長等參列の下に各所十名、合計百三十名の選手に依つて競射が行はれたが左の如く團體では撫順青訓優勝滿鐵總裁旗及關東軍副賞、滿鐵副賞等を授與された

青年訓練所

△團體優勝 撫順青年訓練所、次等本溪湖訓練所

△個人入賞 一等四十點石井國治（大石橋）二等三十九點平橋信男（撫順）三等三十九點石田善太郎（新京）四等三十五點杉原孝（撫順）五等三十四點前川務（撫順）六等三十三點本田季美（本溪湖）七等三十三點持田正二（本溪湖）八等三十二點川合境三九等三十一西村加夫（安東）十等三十一點上村一男（撫順）

龍首山宣傳
一般より懸賞募集

【鐵嶺】山上の新裝成れる龍首山は今後大いに宣傳の必要ありとして鐵嶺景勝維持會に於て龍首山宣傳用の繪葉書寫眞原版、ポスター、俚諺、民謠を募集中なるが入選者には左の如き賞金を贈るにつき鐵嶺在住者たると否とを問はず奮つて出品されたい

▲龍首山繪葉書寫眞原版、入選寫眞五種とす出品枚數に制限無し入選寫眞一枚につき十圓宛贈呈
▲宣傳ポスター圖案、二十圓贈呈
▲俚諺、民謠入選者に薄謝を呈す
▲締切期日、十月三十一日
▲出品送附先は鐵嶺商工會議所内景勝維持會

安東商議
理事者下馬評

【安東】二十六日常議員選擧を終了した安東商議は卅日最初の常議員會を招集、理事者互選を行ふが會頭は瀨之口現會頭が再選重任すべきは動かぬところと觀られ副會頭二人のうち一人は現副會頭阿部卓爾氏がこれまた重任を豫想され、他の一人は中島三代彥、中川憲義、近藤松五郎氏等が下馬評に上つてゐる

四平街輸組
低資貸出延期か

【四平街】當輸入組合は二十七日午後一時より同會議室に於て第五十七回役員會を開催し業務報告に次で大連における理事協議會の經過、低資問題の經過、電報料金輕減に關する件、商工移民の根本對策に關する件につき協議を重ね同三時閉會したが、低資貸出しは一兩日中に開始する豫定であつたが滿鐵、鮮銀、輸入組合の協定纏まらざるためなほ一ケ月位は貸出し出來ぬ由である

石炭運搬料
奉天で値上

【奉天】奉天石炭販賣事務所では昭和三年の銀が四十五圓臺に暴落した當時定めた石炭運搬費を本年十月一日から値上げすることになつた、これは現在銀が百圓以上となつたことゝ奉天市内が膨脹し遠距離の地點に運搬せねばならぬとの理由のもとに區間制を採用し一區を七十錢二區を八十錢三區を九十錢として運搬料を徵收することに決定した

遼陽片々

▲地方委員も嫡八人に嫁八人競爭なしと云ふ事になつたので各選擧事務所も選擧運動員も氣樂に構へてゐる▲地委選擧は地方事務所會費の大掃除が目的の一つだと云ふものもあるが遼陽の今期は滯納者極めて少數、其の少數も略納入濟とは愈々結構▲圍碁同好者は今回勇退の岡本醫部補外一名の送別碁會を廿九日正遁家で開催した▲廿八日は遼陽孔子廟祭り祭典が濟んでから城内第一民立學校で市民大會が開催され縣長や參事官の王道政治に就ての講演があつたと▲實業と滿鐵の野球も第四回戰に滿俱の惡戰で實業の勝となつたが改めて全遼陽チームを編成練習を開始することになり近日鞍山及蘇家屯を迎ふる計畫であると▲奉天で開催の武專と州外軍の對抗試合に遼陽から諏訪三段と松原二段が出場すと▲滿鐵衞戍病院長平野軍醫正から五日遼陽出發途中錦州、朝陽、凌源に各一泊八日午後六時無事承德着翌九日から開院一同元氣旺盛で勤務に從事して居ると支局に通信があつた

誰の身の上も一寸先は闇―
奇妙な三脈の靈感
危急災難を豫知する秘法
瀕死の病人も魂を返へす

ピストル爆彈短刀 強盗、暴漢、地震、洪水、火事、怪我、急病、交通事故等々今の今まで平氣で居た人が、不意にいろいろの災難に出遇ふので、思へば、誰の身の上も一寸先きは闇であるが、水鳥は大風を豫知し、鯰は地震を豫感し、鼠は洪水を知り、蟻は火災を知つて豫めその家を去る、況して萬物の靈長たる人間は、三脈の秘傳を心得て居ると、どんな災難でも確實にこれを豫感して免れることが出來る。明應七年八月二日の夜、遠州濱名湖に今切れの渡しが出來る程の大地震があつたが、濱松に逗留して居た神醫曲直瀬道三は晝の間に立退いた。明治元年戊辰五月十五日、さみだれ降る上野で彰義隊の激戰中、有名な劍客榊原健吉はその地點の危險あるを豫感し、急いで立去り數十歩にして顧みると榴彈が炸裂した。又是れはズット近頃のことであるが、北海道石狩國栗澤村の上村良平と云ふ人は、或朝毎日の如く農場へ行く支度をしたが、出かけに三脈を檢すると

不思議に異狀を示すので

家人にも話つて其日は用心して家に居たが、隣の人は何氣なく出かけ伐木して居たら大きな羆熊が現はれて食ひ殺され死骸さへ見えなくなつた。去る大正十二年九月一日の正午、東京大地震の時、午後四時頃になつて急に家財一切を悉く荷車に積み家を空にして郊外の親戚へ引移る八百屋があつた、町内の人々はこれを見て、最早地震もすんだのに何の爲めの引越しぞと笑つて居たが、其の夜に町内は漏く猛火に包まれ死人も數知れず多かつたが、八百屋の一家は猫までも無事で、下駄一足もなくさなかつた。誰でも平生折に觸れ三脈を檢し、若し異常があつたら、青天の霹靂、平地に波瀾、思ひがけない危險に臨んで居るのに氣付きこれを免れることが出來る、近親の訃を電報よりも先に知ることがある。三脈に異常がなければ、彈雨の中白刃の下にあつても其の身は危くない、吾人自身でも三脈に異常がなければ決して大事はない。此の三脈の秘傳は、古來兵法や醫術においても通神の極意奧義とされて有名な人々の間にも相傳されたものであるが、金は一文もかゝらず、僅かに一二分間に簡單に自分で出來る便法であるから、今之れを公開する。誰も平生折に觸れこれを試みられよ、意外なる豫感によつて災難を免れ、場合によつては命さへ拾ふことあるに思ひ當るであらう。すべて生物には超科學的大自然の

神祕的靈能感 を有する

もので、肉體に就て言つて見ると例へば南京虫に初めてさゝれると、少しさゝれてもひどくカブレるが、馴れると、南京虫の澤山居る家に居てもだん／＼カブレなくなるのは、其の人の血液中に一種の免疫性抗毒素を生ずるからである。小兒が一度『ハシカ』に罹ると二度と罹らぬも同じことであるが、此の抗毒素なるものは藥には無い、現代の醫界では、動物血漿中の天然抗毒素を人體に注射する血清療法として、二三の病菌に對しては效力確實なるものありと云はれて居るが、あらゆる病菌を征服する抗毒素は、強き生活體には、生理的に天然自然に生ずるものであつて、血液中に抗毒素が多くなると畏ら

コレラが流行 しても、

如何なる傳染病も少しも恐るゝに足らず、又現在苦しんでゐる難病でもズン／＼全快するのである。しかるに茲に一つの不思議な事實は、蝮蛇や鼠害やコレラや流行性感冒等々の病菌は、あらゆる動物體へ移植すると、よく活潑に繁殖するが、蝮蛇だけは如何に猛烈なる病菌をも絶對に受付けないのは細菌學上の驚異と云はれて居る、蝮蛇の體内には如何に超強力なる抗毒素を充有するかを思ふにあまりがある、蝮蛇は幾等精密に解剖分析しても、其體内には少しも毒物がないが、蝮蛇は敵に出遭ふと、體液が牙管より分泌する瞬間に、針の先の雫にも足りない少量で人間でも殺す程の猛毒に變化して自身を保護する、更に驚くべきは、現代科學未知の作用を有して居て、蝮蛇の體内に

靈妙不思議な強精分

を充有して居るが、此の強精分は、醉酒の中には、活性のまゝ悉く滲出し酒の働きで人體へ根源的に同化するので、古來歐洲でも支那でも我日本でも蝮蛇酒に起死回生の奇效ありと云ふことは、誰も耳にせぬ人はない位に言傳へられて居るが、殊に信州鹽澤家三百年來家傳專賣特許養命酒は、赤蝮蛇の活汁に、高山藥草七種を加ふる秘法で造り、海拔三千尺高地の風土氣候の中に年經て釀造され、瓶の中に蝮蛇の形なく淨化して黃金色に澄み、幾層倍の靈能を發揮し昔から瀕死の病人も魂を返へすと言傳へられて居る程の深山靈酒で、百藥效なき難病の人、極度の衰弱者が甦つたり、血行惡くシビレ、痛みある人が不思議によくなつたり貧血虚弱の人が更生的に丈夫になつたり、精力衰弱男女が

奇妙に性的に若返る

など實驗界の好評湧くが如く、健康者も朝晩小盃に一杯づゝ愛飲すると、倦怠知らず、衰弱知らず、不老長病知らず、精力根氣の泉。不老長生の秘訣であるので、現内閣中の大臣を初め、朝野の名士、各方面に愛飲家日に多數に上りつゝある、此の養命酒が、上等の葡萄酒よりも芳香美味で、女子供にも喜んで飲みよいことを實物で紹介するため、**小瓶一本** に說明書（諸病人實驗例付）を添へ

全部無料で發送中 で

あるから、希望の方は、東京澁谷町上通り四丁目卅八番地養命酒本舖出張所へ宛てゝ、直ぐハガキを出し試飲せられるがよい。

●＝身の上の災難を確實に豫知する神秘的「三脈の秘傳」は、長いから、內容をくわしく書いて、養命酒說明書と共に送呈する、此の秘書に手に入れて一生の護身法とせられよ。

信州伊那の谷 **鹽澤家** 三百年來家傳祕法

醫學博士五十名 御實驗・御推奨

淺田醫學博士　横森醫學博士　上條醫學博士　氣賀澤醫學博士　小川安醫學博士　淺醫學博士　館醫學博士　杉浦醫學博士　橘醫學博士　菅野大醫學博士　小川藏醫學博士　寺内醫學博士　野崎醫學博士　藤森醫學博士　山田重醫學博士　三上醫學博士　端山醫學博士　菅野力醫學博士　菅野年醫學博士　村上醫學博士　山田富醫學博士　山田恒醫學博士　淺井醫學博士　由茅醫學博士
梅谷醫學博士　三浦醫學博士　洲崎醫學博士　愛川醫學博士　岩橋醫學博士　細川醫學博士　坂井醫學博士　石田醫學博士　中澤醫學博士　舟木醫學博士　浦上醫學博士　小原醫學博士　奥田醫學博士　倉矢醫學博士　笠原醫學博士　小林醫學博士　福江醫學博士　竹島醫學博士　有本醫學博士　川脇醫學博士　寺田醫學博士　小出醫學博士　吉田醫學博士　安藤醫學博士　森田醫學博士

各博覽會金牌受領　登錄商標　慶長以來の目標

精力之基 **赤まむし酒** ―專賣特許―

うまくてのみよいキヽメ第一の

養命酒

◆神經衰弱の人 ◆精力減退男女 ◆貧血冷性の人 ◆疲勞し易い人 ◆風邪を引く人 ◆便秘する人 ◆リウマチの人 ◆多病なる婦人
◆不眠症の人 ◆榮養不良の人 ◆虚弱病身の人 ◆肺肋膜の人 ◆慢性胃腸の人 ◆心臟息切の人 ◆神經痛の人 ◆ヒステリの人

◇全國到る所の藥店百貨店にあります
品切等の節は直接發賣元へ御註文下さい、

御注意!!　ニセモノあり
近頃養命酒の聲價を見て都會地で早造りしたマムシ酒を賣る店あるが、信州で古來有名な赤まむし酒を造る家は鹽澤家只一軒あるのみで、且つその製法の一部分が專賣特許となつてゐるから、鹽澤家專賣特許養命酒の文字に特に御注目の上御求めください。

小瓶無代進呈
（家傳由來說明書と實驗集並びに三脈の秘傳添附）
ハガキで發賣元へ御申込あれ
＝全部無料で急送す＝

發賣元　東京澁谷町上通四丁目卅八番地　養命酒本舖出張所　電話青山五三三九八番　振替東京六八八五五番

田螺の黑燒で淋病が治るか

〔問〕近頃慢性淋疾が治るといふので種々の廣告が出てゐますが、その内でも料理の友社代理部發賣の田螺の黑燒は信用出來そうに思ひますが如何でせうか。本當に効くものなら値段も安いので飲んで見やうかと存じますので、本當のところをお知らせ下さい（札幌市 上野新助）

〔答〕田螺は日本全國到る處にありますから誰でも黑燒を作ることが出來る筈ですが田螺はタヾ黑燒にしたゞけでは淋病に効くものではありません。料理の友社は食料研究のために田螺を科學的に處理してゐるうちに之が淋病に利く成分のあるのを發見して、古來傳へられてゐる黑燒の研究に着手し、この藥効成分を失はないで黑燒を作る方法を發見したのですから、充分信用してよろしいと存じます。それに各地の實驗者が本當に喜んで禮狀をよこしてゐるのを見ますれば、如何に此の料理の友の田螺の黑燒がよく効くかゞわかります。

◆夢の樣です

（略）あれだけ苦しんで何とも方法のなかつた淋病も料理の友の田螺の黑燒をのんでから僅々二三日で膿は止まり、三週間のんでから酒を呑んで見ましたが何ともなく仕事に追はれ二晝夜一睡もせず酒の力をかりて仕事をし續けましたが何等異狀ありません。何だか餘りに簡單に治つてしまつたので全で夢の樣です、毎日愉快に暮して居ります、これも御社の御蔭と同病に苦しんでゐる人には極力これをすゝめて居ります。それから田螺は他の賣藥の樣に副作用もありませんでした（旭川市三條通十四丁目 元木眞〇郎）

◆全快の喜び

私はある衝動に足を踏み入れ、淋婦の痴嬌に誘はれつひに呪はしき淋病に罹つてしまひました。早速淋病專門の醫師を尋ね治療を受けましたが、排膿は少しも止まらず、そこでいろ／＼の民間藥を漁りましたが、だん／＼病氣は亢進するばかりで全く絶望の深淵に投げ込まれてしまひました。ある醫師に相談したところ根氣よく徹底的の療法を要するとの事で、約五ヶ月程通院致しました。それでも根治の見込が立たず悲嘆にくれてゐると、知人が「淋病なら田螺の黑燒で治る」と簡單に云つてのけました。溺れるもの藁をもの心境で田螺の黑燒を三週間分求め一日三回づゝ小さじに一杯づつ食後三十分に服用しましたが、六七日しますと不思議にも尿の濁りも痛みもとれて、うすれて來ましたのでその後念のために醫師に檢尿をうけますと淋菌は絶對にないといふ事でした。

長年死ぬほど苦しんだ淋病がたつた三週間で然も實に低廉で快癒したので、私の人生は全く光明にみち、今更乍ら田螺の黑燒の効めに驚きました。私は友人にもこの喜びを話し二三人の人に服用させましたが、皆三週間で綺麗に治つてしまひました（東京多端彌次郎）

黑燒製法最新發明　タニシの圖

料理の友社では多年研究の結果黑燒製法最新發明に成功して夫によ る黑燒を御頒ちする事にしました

特製 料理の友 田螺の黑燒
一週間分 金一圓
三週間分 金二圓八十錢
德用五週間分 金四圓五十錢
送料領土四十二錢

東京市小石川區カゴ町二三八
料理の友社代理部
振替東京二四三九八番

高陞號引揚作業後援會資金募集

高陞號積載 貨幣愈々確實

周到ナル調査ヲ完ヘ近ク愈々引揚作業ニ着手セントスル高陞號ハ明治廿七八年戰役ノ當初朝鮮仁川沖ニ於テ我艦ノ爲メ擊沈セラレシモノナリ。當時該船ニハ時價

約百五拾萬円ノ貨幣

ヲ積載シタル儘沈沒セリ大正七年我海軍省ハ其ノ權利ヲ放棄シタルニ依リ同年八月以降完全ニ田中牟四郎ニ於テ船体引揚ノ權利ヲ獲得確保シテ今日ニ至ル。想フニ如斯巨財ヲ永ク海中ニ埋沒セシメ置クノ不得策ナルヲ痛感シ近ク愈々引揚ヲ決行セントス

積載貨幣ノ確實ヲ立證

該計畫ノ一端ヲ發表スルヤ各方面ヨリ熱狂的賛成ヲ受ケツヽアリ 此秋ニ當リ支那政府ハ役レ一流ノ抗議ヲ我外務省ニ提出シテ曰ク（高陞號ノ權利ハ支那ノ所屬デ日本人ニ依ル引揚ハ國際法上違反デアル）九月十三日大阪每日新聞所載上海特電所報ノ如シ。如斯ハ採ルニタラザル囈語ニシテ默殺一笑ニ附シテ可也 然リ而シテ此ノ抗議ノ一事ニ依テ見ルモ積載貨幣ノ確實ナルコトヲ一層明確ニ立證スルトモノト謂フベシ

絶好ノ機會即時申込アレ

高陞號ハ既ニ戰役當時英國ノ抗議スラ理由ナシトシテ一蹴シテ完全ニ我ガ方ノ有ニ歸セリ故ニ國際法上萬遺漏ナキコトヲ言明ス
作業部ハ目下出發準備ヲ急ギツヽアリ豫告ノ如ク二ケ月後ニハ引揚ヲ完了セシメ一大快報ヲ齎サン事ヲ期ス如斯本事業ハ國家的性質ヲ帶ベルヲ以テ吾人少數人ニ於テ利益ヲ獨斷スルコトノ妥當ナラザルヲ思ヒ左記要項ニ依リ利益配當金附出資會員ヲ廣ク募集スルコトニ致シマシタ大方諸賢ノ御賛助ヲ希フ

一、沈沒個所　朝鮮登島沖蔚島地先一浬（水深十尋）
二、引揚完了　昭和八年十一月中旬（豫定）
三、積載貨幣　壹百五拾萬円（推定）
四、作業資金　金五萬円
五、出資一口　金五円（幾口ニテモ受付）
六、豫想配當　十倍（百圓ニ付壹千圓）

大阪市西區西道頓堀住友ビル八號室
高陞號引揚作業後援會
振替大阪七九一四六番

會長（大阪市會議員）西野政右衛門
引揚權利者（田中陸軍大將[illegible]）田中牟四郎
作業擔當者（[illegible]）市毛謹郎

治淋劑の最高權威

泌尿科の權威 **小島博士創製**

淋疾治療の困難は餘りに多くの治療藥を簇出し徒に臨床醫家及患者を迷はすの結果は、各種藥劑獨特の眞價を疑はれ同病を不治と迄叫ぶに至れり。然しながら專門家の結論は、現代醫學の限界に於て、淋疾の治療は直接局所に作用して、淋菌を殲滅する銀劑の局所療法と是に併せて鎭痛、利尿、消炎、殺菌等の作用ある內服藥の綜合効果に俟つを最善の方法とするは、確固不變の定說にして、何人も異議を挾むの余地なきものとす。然るに現存する治淋劑としては、局所或は內服の一方により革命的又は劃期的効果ある如く宣揚するものあるも名實共に伴はず雲煙霧消の憾みなしとせず。茲に皮膚泌尿科の權威小島延吉博士は特に此點に留意し專心特殊局所劑の研究と之に合致すべき內服藥の創成に沒頭し、資を皇漢、洋藥に亘りて苦心研究し、遂に理想的局所用銀劑**ネオ・イヒタルギン**を發見し、之に相呼應し充分なる偉効を助長する內服錠劑**オロサン**を完成、二藥併用の綜合劑として、淋疾治療の簡易化、最高速度化を確立し、治淋界に徹底的療法を指示せらる。敢て本療法の忌憚なき批判と其の眞價を確認せられよ！

局所銀劑　內服錠劑

オロサン

オロサン綜合新劑は治淋劑に造詣深き小島醫學博士の苦心研究により殺菌、消炎二作用の敏速的確なる事、獨逸品イヒタルガンを凌駕すべき、新合成銀劑**ネオ・イヒタルギン**の局所療法と同銀劑の威力を徹底的に發揮せしむべき內服**オロサン**との併用により、內外相應して簡易迅速、安全合理的に淋菌の殲滅を期せるものなり。

◆局所銀劑「オロサン」の特色及作用
本劑即ち**ネオ・イヒタルギン**は男女共局所患部の治療劑にして、作用の敏速無比なるイヒチオール銀と、深達性に富める膠狀銀との完全複合なれば、銀劑特有の殺菌消炎の二作用は數倍に昂上せられ、他種銀劑の及び難き深達、敏速性を併有し、よく粘膜組織等の最深部病巢に迅速確實に到達作用し、更に獨特の無刺戟性は濃厚液の使用を可能ならしめ、尿道粘膜に塗布する程度の極少量にて安全に奏効し、洗滌藥の如き多量使用による後部尿道炎、副睾丸炎等の併發を完全に防止し得たる點は、實に治淋技術上に劃紀的効績を寄與し得べきものとす。尚本劑は性病豫防として使用するも、前記の如く殺菌力强烈にして、事後十數時間後の使用と雖も其の作用に於て有効に發能し得るものなり。

◆內服錠劑「オロサン」の特色及作用
本劑は數種の生藥實藥、化學藥集成の複雜なる綜合劑にして、配合各高貴藥特有の利尿、鎭痛、殺菌、消炎の各作用は、二重三重相乘的に効力を增大し、服用數時間にしてよく激痛を減退し、爽快にして多量の殺菌性尿の排出により、**ネオ・イヒタルギン**の局所療法を安全、簡易にし、著しく治癒を促進するは勿論、後部尿道炎、膀胱炎、副睾丸炎、婦人淋疾、關節炎等に對し他種類錠內服劑、注射劑の企圖し能はざる著効を奏し、殊に胃腸、腎臟障害等の副作用なき點は、從來の內服劑に見ざる特徵として臨床醫家より驚嘆の賞讃を博せり。

弊社は淋疾絶滅を期し治淋界の爲め否人類健康保持の爲め貢獻すべく低廉なる實費に等しい藥價を以て本劑頒布の任に當る、本療法に賴らんことを乞ふ。

發賣元　合資會社 **啓有社藥品部**　東京九段上九段ビル　振替東京一九五番　電話九段七七五番

代理店
東京　玉置合名會社、大木合名會社、玉置支治郎商店
大阪　丹平商會、高橋盛大堂、小林大藥房、[illegible]會社、福井七商店
名古屋　小林大藥房

【價藥】

內服錠劑	局所銀劑	內服局所一組
六〇錠（十日分）貳圓	二〇瓦（約十五日分）貳圓	八十錢
一二〇錠（廿日分）[illegible]圓五十錢	四〇瓦（約卅日分）參圓五十錢	七圓
一八〇錠（卅日分）五圓	六〇瓦（約五十日分）五圓	拾圓

【局所劑】一劑ハ急性ニ、二劑ハ慢性ニ、三劑ハ婦人病ニ適ス。御註文ノ節ハ必ズ[illegible]

全國有名藥店にあり　品切の節は直接本舖へ

古い疊が新しくなる
タヽミの若返り ナカノ液
最新發明

◎好評沸くが如し
◎飛ぶやうに賣れる
◎經濟上衛生上なくてはならぬナカノ液
◎ドシ／＼御試用あれ（使用法店員出張懇切實試）

◎僅か四錢で古疊が新しくなる。
◎日燒け變色を防ぐ
◎のみ、バイキン、南京虫の退治。
◎轉宅の消毒

◎全滿有名藥店販賣

特約販賣店
大連市但馬町　小寺藥局　電話六六〇六番
同西公園町一三〇　柏原洋行　電話六五三三番
同聖德街四丁目　大黑屋藥店　電話九八七四番
同伊勢町四　脇川延壽堂　電話五二一七番
同若狹町一四九　峰商會　電話四七八六番
同監部通三三　田中天然堂　電話三七一九番
滿洲總發賣元　大丸洋行　電話六四七七番

洋家具の設計と製作　連鎖街　**カンノ洋家具店**

毛糸はスドウ專門店へ　沃山遞前

生大豆ノ精　滋養ノ大關
新發賣　專賣特許
豆腐之素……使用簡便
料理之素……即席應用
豆乳素……滋養豐富
市內各食料品店、雜貨店ニアリ

滿鮮特產興業株式會社
本社　撫順中央大街十一番地　電話二二三番
出張所　大連榮町四番地（連鎖街）　電話五六九四番

チクオンキなら定評ある田中へ　大連伊勢町

小粒で服みよい小兒保育藥
宇津救命丸

御兒樣の保育と健康の爲に、定評ある本藥な御常備下さい。

（主効）虫氣、百日咳、カン、胎毒、メマヒ、夜泣、チエ熱、ハシカ、ヒキツケ、消化不良による青便等の場合によく、一般虚弱小兒を強健化する効果があります。

（藥價）廿錢　卅錢　五十錢　一圓　十圓以上まで

東京 玉置合名會社 大阪

肥つた人と痩せた人は斯うも壽命が違ふ

◇

かつて大隈伯は人壽百二十五歳説を旺んに稱へられたが事實は八十余歳で逝去された。人壽百二十五歳論の根據は人間は完全に成育するのが二十五歳で大体壽命はその五倍と見て百二十五歳説が稱へられてゐるのであるが、種々の疾病、體質、生活によつて人間の壽命は今やかなり短縮してゐると見て差支ない、民族の裡でも歐米ではゲルマン民族が最も長命で、次はローマ族、日本人はかなり短命の部に屬してゐる。

日本では五十歳以上のものが僅かに一八パーセントにすぎないので之を瑞典の二三、四パーセントに比するとかなり短命である。

◇

この壽命の相違は民族により各個人により著るしく相違してゐるのであるが、その原因は果して奈邊にあるか、體質だけで定るか、又生活環境によつて支配されるものであるか、現代科學を以て批判すれば結局天禀の體質と環境との相互關係によつて決定されると見るのが妥當であらう。

天禀の體質とは所謂遺傳の方則によるもので、環境とは社會衞生、個人の生活狀態、即ち運動、榮養、職業、休養などの要素を綜合したものである。

◇

まづ體質について考へて見るとアメリカに於て數年の日子と巨萬の費用を投じて廿餘萬人について調査したものがあるが、それによると痩せた人と肥つた人と、又その程度によつて死亡率に夥しい差違のあることが發見された。例へば十五歳から二十歳頃までの所謂思春期に於て普通人より一割五分體重の少い痩せた人は二割增の死亡率を示し、三割も輕いものは死亡率が五割以上も普通人より高いことが判つた。

反對に肥滿症の人は若い間に二割五分位までの肥り方ならばまづ普通、それでも四十歳以上になると俄然一般人より三割增しの死亡率を示して來る。

もつと肥つた人、たとへば普通より五割以上體重過剩の人は四十歳以上になると一般に比して倍以上の死亡率を示すことが發見された

この研究でみると痩せた人は若い間、肺病などに罹る可能性が多いが、四十歳以上になると却つて普通よりも健康になり、反對に肥つた人は四十歳以上になると心臟病腦溢血などで普通人より遙かに死亡率が高いことが判つた譯で、世のデブさん達に恐慌を來してゐる

◇

又この研究によつて生命と榮養の問題についても面白い事實が示されてゐるといふが、一般的に言ふと生命に最も關係の多いのはヴイタミンでヴイタミンの缺乏症は多くの場合、病菌に對する抵抗力を失つて早老早死を招くと見られてゐる。

日本人が文化人の裡最も短命なのもヴイタミンの攝取量が低いからではあるまいか。

特にヴイタミンA及びDの缺乏は體質的に低下することが甚だしく健康上憂ふべき狀態を示すことが認められてゐる。

◇

一般虚弱體質、腺病質、貧血等は主としてヴイタミンA及びDの不足に基因し、之を適當の方法によつて補給しなければ早晩その生活力は破壊せられ、天壽を縮めるに到るのであるから、吾々は日常食品以外にヴイタミンA及びDを適宜に補給して生命を護り健康保全に努めねばならないと思ふ、それには肝油の服用なども無意義ではないが、副作用や胃腸障害が甚だしく、虻蜂取らずに終る危險がある。理研ヴイタミンならば副作用胃腸障害絶無なるのみならず、ヴイタミンA及びDも遙かに豐富に含有し、少量にて足るから、國民體質向上の糧として申分のないものと云へるのである。

理研ヴイタミンは理化學研究所高橋克己博士の世界的發見の一つで、肝油千瓦中より一瓦のヴイタミンA及びDを至難なる工程操作によつて抽出することに成功した世界最初のものたるは知る人ぞ知る處である。

◇

思ふに理研ヴイタミンの出現が全人類の健康に寄與し、その天壽をも延長しうる時が來るならば、科學は茲に一つの偉大な足跡を造化の神の前に提供したとも言へるのではなからうか。否少くとも世界民族中日本人が短命であるといふ一つの汚辱をこの輝ける榮養素によつて拭ひ去ることは吾々に與へられた廿世紀の命題であらねばならない。

都會の人の健康問題

太陽を浴びよ しからずんばヴイタミンDを攝れ！

文明はその本質的使命に於て人類の幸福を目標としなければならない、勿論健康上に於てその文化の程度によつて當然寄與する處がなくてはならない、事實完全なる衞生智識の普及、疾病の豫防、及び治療、その他萬般の設備は着々としてなされてゐる。

病なき社會の理想へ一歩一歩その歩みを續けてゐることは誰しも首肯し得るであらう、しかし文化人は果して今、その生活に挑戰するだけの正しい健康と充分なる生命力を把握してゐるだらうか――この疑問に對して否と答へなければならぬ現實をどうすればよいか、識者の憂ふる處である。

光りを忘る

何等の衞生的設備なき蕃地に野獸の如く生息する原始人の方が、遙かに健康であり力と生命に溢れた生活を送つてはゐないだらうか――とすれば其の原因は、その依つて來る處は何かわれわれは、深く省みる點がなくてはならないと思ふ。

文化人は太陽を忘れてゐる！ 最近一部の人々に強く叫ばれてゐるのはこの言葉である。即ち吾々の文化が日一日と進歩するのと正比例して、吾々の生活が太陽から逃避してゐる。そしてその爲に文化人の健康が次第に蝕まれつつある

宏壯なビルディングの窓から僅かに洩れる陽光に、儚ない吐息を送る蒼白い人種！ それが若し吾々であるなら、吾々の前には結局短命の無氣味な影が徒らに蠢動するばかりではないか！

野蕃人の健康

太陽は生物の母である、太陽なき世界に生物はない、太陽は紫外線を放射する、紫外線はヴイタミンDである、ヴイタミンDは抵抗力を增大し、細胞の活力を強め、新陳代謝作用を旺盛にする、野蕃人の健康は多く太陽の愛撫によるものである。

しかるに文化人は太陽から次第に遠ざからざるを得ない生活に追攝られてゐる、不健康になるのも當然な話ではないか、現在日本全國に百萬に近い結核患者及び保菌者がゐるが、それらの凡てがかうした光なき生活の犧牲者でないにしてもその幾パーセントかは必ずそれであることが考へられる。

太陽に親しめ

故に文化人は是非共生活様式を改めて、太陽と親しむべきである又それが不可能ならば太陽に代る榮養素ヴイタミンDを充分に補給すべきである、かくして失はれた原始の情熱と健康を奪還しなければならぬ。幸ひにして理化學研究所に於て發見された理研ヴイタミンは日光の瓶詰とも言ふべきヴイタミンDをAと共に豐富に含有した榮養素であるから、之を適當に攝取することによつて吾々は始めて太陽に浴すると同樣の健康を保持することが出來るのである。

體質の強健化

臨床實驗によれば理研ヴイタミンの榮養效果は抵抗力を強大にし疲勞衰弱を除き、新陳代謝機能を促進し細胞の活力を增大して、體力氣力精力を補強し、以て虚弱體質を強壯化し、病魔浸入の餘地を少からしめる作用を有してゐる。

虚弱體質者は勿論苟も健康と活力を欲する人は理研ヴイタミンを常用して、文化による健康の損耗を回復すべきである。

御紹介

榮養劑として世界的名聲を拍せる「理研ヴイタミン」は製造元財團法人理化學研究所、總代理店玉置合名會社、全國有名藥店百貨店藥品部にあり。四十球、百球、五百球、千球の四種あり

健康讀本

人類健康の源泉である榮養に就て論述せる良書「健康讀本榮養の知識」が無代頒布されてゐる。ヴイタミンに就ての記述は特に詳しく有益だ（申込は東京日本橋區本町玉置合名會社へ）

青柳を殺害したのは 中薗秀雄の單獨行動
博士は死體處分に手を貸した 高野警察署長の報告

【高野二十九日發國通】二十九日午後三時高野山に出張した和歌山縣山田刑事課長は板谷高野警察署長と會見左の報告を得た
兇行は九月五日夜九時すぎ兒玉邸で行はれたので同夜青柳は博士夫人との愛慾生活を種に博士を脅迫すべく同邸を訪れ博士は仲裁者として中薗を夫人に電話で呼び出させ驅けつけた中薗は青柳と遂に口論格鬪を演じ兩名組合つたまゝ二階から顚落中薗は臺所にあつた料理庖丁に眼をつけ發作的にこれを手にとり殺害するに至つたもので**殺人は中薗の單獨犯で博士はその死體處分に手を貸したのみであること明かになつた**
なほ中薗は三十日和歌山に護送されることになつた

青柳の卑劣に憤激 庖丁で滅多切り
中薗秀雄の供述

【大阪特電二十九日發】高野署に引致された中薗は直に署長自らの取調べを受け最初は口を緘してゐたが遂に包み切れずこの奇怪な謎を解きほごしていつた
卽ち九月五日博士邸から「私の自邸へすぐ來て下さい、青柳が私を脅迫します」との電話があつたので私は博士と一面識もなかつたが同家に急行しました、**青柳はその時博士の面前で夫人を睨みつけ情交のあつたことについて辯じたてゝゐた、**これを目撃した私は憤怒して「貴樣は惡人だ」と叫んで摑みかゝり大格鬪となつて取り組んだまゝ二階から轉げ落ち**私は無意識のうちに階段下にあつた氷割り用の庖丁で彼を滅多斬りしました、**その時夫人は何事か博士にあやまつてゐるやうでした、**私と夫人との學生時代の戀を物語つたとのことです、**博士は夫人を愛してゐたのです、私は博士の許しを得て夫人を伴ひ十三日大連から博士の見送りを受けうすりい丸で出發したのです
こゝまで自供した中薗は博士が何故兩人をひそかに逃亡せしめたかの點について追究されると再び口をつぐんだ、かくて死體處分について
青柳の死體を横山きみの家へ運んだのも私で、死體を處理したのも私です、博士は兇行に一切關係はありません私達は十五日門司上陸のうへ別府から宮島六甲などを遊び、大阪の旅館に泊り二十六日死場所を求め高野山にやつて來たので、宮島では死ぬ覺悟の私たち打揃つて死の記念撮影をなしました

青柳の暴行受け 毒藥自殺圖る
そこから必然に慘劇が生れた 服毒から醒めて 勝美夫人の話

【大阪特電二十九日發】北室院の一室で漸く意識を回復した勝美は中薗が高野署へ引致されたことを聞かされても涙一滴みせず午後四時過ぎには着物を着代へると起上り折から取調べに出張した板谷高野署長の取調べに對し事件原因につき左の如く供述した
青柳は恐るべき不良で博士の不在をねらつて兒玉邸に來り勝美にさつて忘れ得ざる屈辱を與へた**卽ち私を暴行したのですこのため私はその後終始青柳に脅迫されて來ましたこれ**

業因未だ盡きず 蘇りの勝美夫人
再び世に出ば必らずお禮詣り 院代を通じて語る

【大阪特電二十九日發】服毒から醒めた勝美夫人は中薗が拘引されてから北室院の院代植木增信師を通じて語る
これまでの事については大連の檢察局宛遺書に認めてあります、大連を出るときは女中は伴れず主人に送り出して頂きました、家庭の名譽を思へば今更實家にも歸る氣がありません、內地へ來て淸淨な高野山を最期の地に選びましたが、死ぬことは出來ませんでした、再び世に出ることが出來ましたなら必ず北室院へお詣りしてお禮を申し上げますと少し興奮から醒めて語つたが非常に疲れてゐた

逮捕刹那の二人
昏睡狀態の儘全一日山中に過し 再び院へ立ち歸る

【大阪特電二十九日發】和歌山縣警察部長は、兒玉勝美から長野縣[illegible]の實兄[illegible]氏宛に送られた遺書により、同縣警察部山田刑事課長指揮のもとに、縣下白濱、串本、新宮、高野など縣下に嚴重なる捜査網を張り行方を捜査中、二十六日午後九時ごろ南海高野線で高野山に登山した男女あり、神戸市湊町二丁目一八二吉本喜藏(三〇)同みつ子(二〇)と詐稱し、北室院北室に一泊、二十八日午前八時ごろ奥の院に參詣すると稱し、宿泊料五圓を置いて出立、其の後奥の院の裏山に入つて罪の一切を淸算すべくアダリンを嚥み心中を圖つたが、分量不足のため目的を遂げ得ず、昏睡狀態に陷つたまゝ丸一日を山中に過ごし、二十九日朝九時ごろ再び北室院に立ち歸つた、北室院では擧動に不審を抱き高野署に其の旨を急報、同署より沖刑事出張取調べたが容易に事實を吐かず、嚴重追究するとゝもに、就寢せる床の下にあつたコンパクトの中を調べたところ、大連の檢察局宛に送つたらしい兇行の原因書卽ち兇行の事實を認め、其の動機として昭和六年二月ごろ大連聖德街の或る廣場で中薗に殺された青柳貢のために暴行され其の後今日まで脅迫的に情交を強ひられ、其の後自宅に青柳が屢々來たり、いろいろな難題や、脅迫をするため遂に此の兇行に及んだ旨を認めた紙片を發見、さらに男の身體檢査をしたところ
洋服の裏に「N」の文字があつたので、嚴重追究した結果遂に包みきれず「まことに濟みません」と兜をぬいだ、男は服毒後すでに恢復してゐたので、直に其の場から高野署に留置し、女は高野町岡本醫師の應急手當を受けたがこれまたアダリンを嚥んでゐたが、其の後吐き出し身體には何等異狀なく憔悴してゐるが當分靜養すれば生命には別條あるまいとの事である

列車の移替
一日から時刻改正で 一般乘客のご注意

滿鐵では既報の如く十月一日から旅客列車時刻を改正するがそれに伴ひ九月三十日から十月一日に亘り滿鐵本線では左の如く列車の移替を行ふため一般乘客の注意を促してゐる
一、九月三十日大連驛發旅客列車運轉時刻
イ、大連發十六時三十分の十三列車は奉天より新時刻により運轉するため新京着は午前七時となる
ロ、大連發十時三十分の新京行十五列車は一等車をこの日から取除きなほ奉天より新時刻により運轉するにつき新京着は午前十時となる
ハ、現ダイヤにより二十一時三十分に大連を出てゐた十七列車はこの日より新時刻である二十一時發で運轉する
ニ、新時刻による大連發二十二時の十九列車はこの日より運轉する
一、十月一日大連驛着旅客列車運轉時刻
イ、大連着七時の吉林發第十八列車は九月三十日吉林發舊時刻により運轉する
ロ、大連着七時四十分の第十四列車は九月三十日新京發奉天より改正時刻により運轉
ハ、大連着十六時四十分の第十八列車は九月三十日新京發から改正時刻による
ニ、大連着十八時五十分の第十六列車は九月三十日新京發から改正時刻による
ホ、舊ダイヤによる第二十列車(チチハル發大連着二十時三十五分)は運轉せず

和歌山縣警察部發表

【和歌山廿九日發國通】和歌山縣警察部發表＝兒玉博士夫人勝美と情夫中薗秀雄は追手を逃れ關西方面に潛み歩いてゐたが勝美は自決の遺書を實兄に送り自殺を思はせてゐたが和歌山縣警察部ではその遺書にある和歌山〇〇局の印に依り南紀州遊覽地のホテルの一齊臨檢を行つたところ、二十九日午前八時に至り靈場高野山頂の北室院植木增信より電話があり「新聞に報道されてゐる二名に酷似した男女が二十六日夕刻神戸市湊町二ノ一八二吉本喜藏、妻光子と記して投宿してをります」との事に縣巡査が出かけてみると二名は北室院の庭に面した六疊の間に東枕に床を並べて昏睡狀態に陷つてゐるのを發見し、取敢ず醫師の手當を加へたところ男は間も無く意識を取戻した、そこで元氣恢復を待ち高野署に引致した、男は初めは飽迄吉本であるといひはつたが新聞に出てゐた寫眞を突きつけられ遂に中薗なる事を自白した、兩名は二十五日夜大阪で新聞記事で追及の手の延びた事を知り遺書を認めた後高野山に辿り着き北室院に一泊、二十八日は高野山中をうろつきアダリン五〇錠を二人で分けて服んだが少量のため死にきれず二十九日午前二時頃歸院した旨を述べた

鈴木上等兵葬儀

大連市出身者中たゞ一人赤峰で名譽の戰死を遂げた鈴木上等兵の葬儀は二十九日午後三時より常安寺にて盛大に執行された

大連檢察局への 遺書を發見す
勝美のコンパクトから

【大阪特電二十九日發】情死を圖つた兒玉勝美の所持のコンパクト中に、大連檢察當局(文字薄く警察かも知れず)宛の遺書らしきもののあるを發見した
【高野山二十九日發國通】大連檢察局宛て中薗が送附したといふ告白書の下書は勝美夫人の枕元にあつたハンドバッグの中から大阪の中薗の實兄の許に殘されたトランクの鍵と安藝の宮島の鳥居を背景に二人仲良く撮影した記念寫眞二枚、使ひ殘した所持金十圓在中の蟇口と共に發見されたが便箋十枚に鉛筆で走り書きしたもので判讀しがたい點も多々あるが犯罪動機および大連出發後の行動を明らかにしてをり大要は左の如し
青柳との關係は昨年二月頃大連聖德街で脅迫的に情交を迫られて以來關係してゐたもので兇行當夜は青柳が不良二、三名を連れて博士邸に押寄せ脅迫がましい事をするので中薗に賴み中薗は氷割り用の斧で青柳を殺したものであるその時博士は現場で見てゐたが何等手出しはしなかつた
を突つぱねるにはあまりに弱い女になり切つてゐた、私はどうともならぬ身をば悲しみ自殺を決心し**六月十八日服毒自殺を圖つたが**夫の手當、愛の看護で昏睡二晝夜ののち意識恢復し惜しくもない生命を永らへて來ました、私の自殺原因については博士は深く問ふこともなくその儘となり青柳との關係も知りませんでした私を溺愛してゐる中薗はこの間の事情を知り青柳の卑劣さに義憤を感じかくこの恐るべき慘劇事件が必然的にやつて來たのです

兇器は短刀
脅迫の點は頗る疑問 計畫的に認めた遺書か

第三 氷割り庖丁の點は解剖の結果及び博士の供述により短刀なること正確と思惟す
と述べたが、右遺書が多分の疑點を含んでゐる點より見て、或は中薗が計畫的に夫人にしたゝめさせたものか、或ひは檢察局に宛てた點より山田辯護士の指金ではあるまいかと見られてゐる
勝美夫人の檢察局にあてた遺書內容に於て
第一 青柳は果して夫人を脅迫せしものなりや
第二 青柳は果して不良青年の二三名を伴つて博士邸を訪れしものなりや
第三 兇器は氷割にして短刀に非ざるか
の三點は迷路を走る本事件を更に迷路に追ひ込むものであるが、右に對し沙河口署谷川司法主任は
第一 脅迫關係の點は青柳の手記によつても明白なる如く最初夫人より關係を迫りたるものには非ざるや
第二 不良青年の點は女中の供述により嘘僞の事と認む

兩名逮捕をけふ知らす
兒玉博士に

鏡ケ池畔にある兒玉博士は連日口ぐせの如く早く家內と中薗の捕まつてくれゝばよいが、捕まれば事實が明白になるのだがと兩名の逮捕を待ちこがれてゐるが如き言葉を漏らしてゐるが兩名が逮捕されたと云ふ和歌山縣警察部よりの公電は三十日朝博士に示される筈でその際は定めし劇的な空氣を現出するであらうと豫想されてゐる

兇器の捜査
けふ大々的に

青柳貢殺害の兇器が馬欄河に投げ入れられてゐることは博士の供述によつて明白となり、三十日消防署の應援を得て河上を塞止め水をかい出し大々的に兇器の捜査を行ふ筈である、尚兇器を投げ込んだ附近は河水も多く泥も深いので發見は相當困難と思はれるが本事件に最も必要なる證據品として徹底的に捜査される筈である

逃走徑路

【大阪二十九日發國通】兩名逃走徑路左の如し
九月五日夜兒玉博士邸で青柳を殺害し、死體を四人で隱匿、十三日博士承諾の下に勝美夫人、中薗は大連發うすりい丸で內地へ(この點中薗の主張)十五日朝門司着、十六日より二十日まで別府溫泉巡り、二十一、二十二日尾道、宮島に、二十三日二十四日大阪、寶塚、六甲、二十五日大阪築港の宿に投宿、二十六日高野山北室院に投宿、二十七日高野山見物、二十八日朝山中で自殺の覺悟で徘徊、以下既報の通り死に切れず兩人顏面蒼白となり北室院に歸る

山田辯護士の怪しい行動
不日問題化か

博士邸怪殺人事件を繞る謎の人物として山田辯護士の奇怪極まる行動は警察當局より非常に注目されて殊に博士が去る十八日事件の發覺を怖れて自首せんとした際、山田辯護士がこれを押へた點等は最も當局の疑ひを挾むところとなつてをり又當地辯護士會に於ても少壯派辯護士は相當憤慨してゐる模樣であるが五泉辯護士會長は辯護士會としては警察當局の態度がはつきりするまで手の出しやうがないが、山田君の行動については非常に怪しい點が多いとは思つてゐる、事實の判明するのを待つて辯護士會としても適當な手段に出なければならないと考へてゐる

只兄を信ず
博士實弟談

【大阪特電二十九日發】兒玉博士の實弟阪大工學部機械科助教授兒玉元一氏を學校に訪へば驚いて兄の立場ばかりを守つて義姉が捕まつたことを嬉しく思はれません、たゞ私としては、兄を信じ默してゐるより外に道はありません、何も聞いて下さいますな、特に私は公職に在り、學校といふものが背景にあるのですからとこれ以上何事も語らなかつた

正式回答到着

中薗秀雄、兒玉勝美兩名の逮捕については沙河口署の照電に對して二十九日午後六時三十五分至急官報を以て和歌山縣警察部より正式に左の如く回答が到着した
本日管下高野山署において中薗秀雄(三十五)兒玉勝美(二十八)を取押へ目下取調べ中　和歌山縣警察部刑事課

感謝電報

和歌山縣警察部刑事課よりの公電に接した沙河口署では直に同刑事課に宛て兩名逮捕を感謝し併せて今後の御盡力を願ふ、尚當署より阿部刑事部長二十九日出帆うらる丸にて貴地に向ふ、御指導を請ふ、その意味の返電を發し、實際上犯人引渡しの要求をなした、尚檢察局は三十日兩名に對する拘引狀の發電をなす筈である

日英對抗のラグビー戰

入港中の英國巡洋艦カーバーランド號ラグビーチームは來る十月一日午後二時より大連運動場に於いて大連俱樂部と恒例に依る日英對抗ラグビー戰を舉行すると

安樂椅子

二十九日朝北滿視察から歸連した八田副總裁を金州まで出迎へた記者が「兒玉博士事件を御存知ですか」と問ひかけると「知らない、なんですか」と問ひ返した。
……◇……
記者の説明を聞くなり「結局滿鐵社員の犯罪ですね」と沈痛な面持ちとなり、記者が「然し滿鐵に辭表を出してから自首しましたよ」と答へると「あゝさうですか」と多少暗い顏を取り戻した。
……◇……
そして一人言のやうに「いや夫人の罪ですよ〳〵」と祈るが如くつぶやいたが遂に大連驛に着くまでその暗い顏は晴れなかつた。

神佛に祈つて 自首を願つた
中薗秀雄の兄は語る

【大阪特電二十九日發】中薗の實兄、大阪市港區八條通り一の四小池方中薗源之進氏は語る
所在がわかりましたか、秀雄が私の家を出て行つて彼が殺人犯人であることを知つてからはいづれとも早く自首して吳れゝばと神佛に祈つて居ましたが日が經つにつれて、いつそ二人が死んで居て吳れゝばと心窃かに願つてゐました、自殺を企てたとのこと、兄として弟に對し殘酷のやうですが中薗家の名譽のためそのまゝ死んで吳れゝば寧ろ兄として社會へ顏向けが出來るといふものです、弟は常に立派な海員になつて兄さん方に樂をさせるといひ、また死場所は大洋の眞ン中と定めてゐるといつて居ましたが恐ろしい殺人をなし逃げ歩いた揚句が服毒し而も死にきれなかつたことは誠に殘念なことであつたらうと思ひます

伏見宮博義王殿下御下賜盃爭覇 第七回全滿洲射擊大會
十月一日午前八時半　春日池射場

本社優勝盃爭覇 第四回實滿ヴエタラン硬球庭球戰
十月一日午前九時　彌生町三井物産コート

本社優勝盃爭覇 第一回實滿對抗軟式野球戰 第一回戰
十月一日午後二時より　滿俱球場で

颱風圏內 (107)

畑耕一作 山田喜作畫

反逆者(十)

おゝ、それは、小宮玄吉だった！

「いや、どうも、いろいろ手間あ取らせますので、やつぱりあなたに出て頂かなくちやならなくなりました」

斯波はせゝら笑ひながら、迎へ入れた。

「——！」

織江は唇まで土色になつた。無言のまゝよろよろと窓際によろめいた。やつと左の肱を窓枠に凭せてやつと身を支へた。

銀次もさすがにギヨッとした。が、自分が今、乙彥や織江に對して、どうした位置にゐなければならないかを知つた彼は、すぐ勇敢な構になつて前へ飛び出した。

「…………」

「…………」

小宮と彼は鋭しい眼を交した。

「銀次。高栖が死んで喰ひ詰めさうになるさ、今度は天岸の番頭役か。貴樣もなかなか賢いな。——で、天岸がやつつけられたら、お次ぎは誰の懷中へ驅込むな？」

「おれは高栖さんの厄介になつてゐた時から天岸さんを崇拜してゐたんだ。はじめつから天岸さんの部下で働きたかつたんだ。高栖さんだつて、それを知つてゐた。天岸さんがやつつけられるつて？はゝゝ。天岸さんをやつつけるやうな人間が。——そんな偉え人間が、どこにゐるんだね？」

「天岸あ小宮さんの手で、今夜いよいよ自滅したんだぞ。それを知らんのか！」

斯波は罵つた。

「知られえよ。おれは先刻芝浦の埋立地で天岸さんと別れて歸つた。が、天岸さんは大丈夫だつてこことこそ知つてゐても、やつつけられるなんて天岸さんは知られえ。自滅だつて？はゝゝゝ。」

笑はせちやあいけれえ。おれの照準がつかなくなるからよ」

銀次の手が內ポケットに觸れたかと思ふと、もう一挺のピストルが握られてゐた。

「おい銀次、六本指の小宮さんを知らんか！相手が一發擊つ間に、二發擊つことの出來るために指一本多いといはれてゐる小宮さんを知らんか！」

「はゝゝ。よく知らんかよく知らんかつて言ふ男だな。おれは今、天岸さんの大丈夫つてこと、おれがこの部屋を守らなきやあならねえつてこと、この二つよりほかに、なんにも知る必要はれえんだよ」

小宮は斯波を眼で退けた。

「銀次、貴樣あ高栖の下にゐた頃あ、剽輕な周章者だつたが、大層度胸が出來たな」

「別に度胸も出來やあしれえ。たゞおれあ天岸さんの力を信じてゐる。おれにやあどんな場合だつて天岸さんがついてゐることを信じてゐる。それだけだ。おれあ相變らずのちよろつかな男よ。だが、おれのうしろに天岸さんがゐるつて思やあ、どんな事にぶつつかつたつて驚かれえのよ」

「銀次、天岸の部下は夙うにこの小宮に寢返りうつてゐるんだぞ。今夜天岸は、奴の部下——いや、おれの部下によつて御成敗を受けてゐるんだ。はゝゝゝ。觀念しろ。無駄な怪我をせんうちに、こゝを出て行け。むかしの馴染甲斐に、貴樣あそのまゝ許してやる」

「この部屋あ、天岸さんの命令によつて、守つてゐるんだ」

「場所が場所だから、おれは騷ぎにしたくないのだ。だが、おれは目的の前にはなんの容赦もない男だぞ。面倒臭い問答は打切りだ。出て行くかどうか？」

凄い形相——小宮はグッとピストルの手をあげた。

「乙彥さん、織江さん、危い！床の上へ伏さつて？」

さういつたかと思ふと、ドン！——まさかと油斷した銀次のピストルは火を吐いた。

「あつ！野郎つ？」

ドン？ドン！——小宮のピストルも恐ろしい煙をあげた。

滿日俳壇

殘暑

島田青峰選

荒れ雲の北に流れて秋暑し　唐津　鈴木　曉星

盆經の僧と語らふ殘暑かな

菊の鉢に病葉見えて秋暑し

秋暑し蠅に曳かるゝ赤蜻蛉

糸瓜棚覆ひかぶさりし殘暑かな　小平島　富部　翠秀

高粱にそよぐ風あり秋暑き

桔梗折つて殘暑の山を下りけり

家鴨泳ぐ濁りし池や秋暑き

舟の上の暑さよ帆を上ぐる　撫順　安永　正

影のびて西日傾く殘暑かな

すくすくと高粱のびし殘暑かな

避暑客の日毎去りゆく殘暑かな　大連　小田吉枝樓

牡鷄の聲のかすれや秋暑し

韮臭き露天市場の殘暑かな　警城子　安部　寬子

砂濱の白く光れる殘暑かな

雨やみて又蒸しかへす殘暑かな　奉天　成瀬　鮎波

花園に蜻蛉飛び交ふ殘暑かな　本溪湖　郡司島里柳

峰涼し瀧は殘る暑さかな　香川縣　高木　宏影

白々と干瓢かわく殘暑かな　高松市　合田　和樂

途端の草も枯れたる殘暑かな　大連　さき子

高粱の伸びも伸びたる殘暑かな　撫順　宮澤多礪子

夏帽子よごれはてたる殘暑かな

十月川柳課題

◇題　「肥える」「音」「差引」
◇締　十月十五日（各題別紙）
◇句　一題五句限（住所氏名明記）
◇賞　佳吟薄賞を呈す
◇宛　本社編輯局川柳係まで

蟲

島田青峰選

草山の裾ひろがりに虫時雨　大連　川上若枝女

虫捕りの灯と見ゆれ草の中

歸り來て倚耳にあり虫の聲

寢靜まる天幕の外の虫時雨

松が枝の闇に虫籠うつしけり

厨の灯とゞかぬ闇や虫時雨

月の出て虫の音色の澄みにけり

虫の音に耳傾けぬ夕化粧

せゝらぎにまぎれぬ虫の遠音かな

虫捕る灯忽ち殖えて動きけり

虫の原月に唄ひて行く子かな

兩岸の虫を聞きつゝ漕ぎにけり

草市の果てたる後や虫の聲

虫鳴くと籬に添うてたちにけり

鈴虫の一つ居て鳴く籬かな

月の出ていよいよ繁し虫の原　神戸　西田君天樓

月の下冷たさありて虫の鳴く

人通りなきこの道の虫淋し

更くる虫雨をかまはず鳴きにけり

虫鳴くや庭の芝生にゆるゝ影

虫鳴や早やこぼれつゝ草の露

鳴きしきる虫の星空歩きけり

ほそぼそと又聞ゆるよ虫の聲

虫鳴くや梢に雲の去來して

虫高く鳴くや牧場の露をふむ

落月の裏戸は虫の高音かな

虫の夜の明るき星の木立かな

庭に鳴く虫親しみて獨りかな　大連　高木　春蔭

靜かさやかそけくも鳴く晝の虫

夕まけて濕る野徑や虫鳴ける

野の闇や虫狩れる灯の見え隱れ

バス捨てて虫鳴く野面に降り立り

留守居してしみじみ虫を聽く夜哉

窓外は虫の諸音や一句成らず

國境の假の兵舍や虫時雨

虫鳴くや兵舍取り卷く草の原

虫時雨只あるばかり寢靜まる

虫籠を吊るす廊下や灯に遠し　大連　小田吉枝樓

窓外に虫の音滋き夜學かな

書き物に倦き疲れや虫の聲

覺め易き露營の夢や虫の聲　唐津　鈴木　曉星

虫賣や水に流るゝ廊の灯

虫鳴いて風呂の戸口の薄明り

どこやらに虫の音すなり晝の月　警城子　安部　寬子

虫の聲ふと途絶えたる靜寂かな　甘井子　田中美津嶺

虫の聲聞きつゝ夢路辿りけり　奉天　成瀬　鮎波

虫の聲聞きつゝ眠る露營かな　本溪湖　郡司島里柳

愛し子の寢息靜かや虫の聲　大連　豐田　博國

虫の秋夕空高く暮れにけり　撫順　安永　正

虫の聲はたと止みたり下駄の音　香川縣　高木　宏影

筆さめてしばし聞きけり虫の聲　高松市　合田　和樂

夜と共に廣がり行くや虫の聲　撫順　宮澤多礪子

虫鳴きて夕風出でし河原かな　安東　岩間　溪雲

鈴虫の細々と鳴く垣根かな

婦人公論十月號

秋酬はの十月號は、讀書シーズンに相俟つて雜誌週間のことゝて婦人雜誌は何れも特大號で、大車輪をかけてゐるが、中にも最近目醒しい躍進をつゞけて、斷界に斷然光芒を放つてゐる、婦人公論十月號は、文字通り素晴らしい內容だ。

第一に社會に大センセーションを惹起した荏原の殺人事件に絡む五味靜子の問題の遺書を入手したのはお手柄だ。ジャーナリズムの驚手に純眞なる一女性が、姿と翳られて、悲憤やるかたなく、遂に自殺を決行するに至つた心事は慘たる事實といふ他ない。自殺直前に世に自己の心情を率直に訴へたこの靜子さんの遺書こそ、世の總べての虐げられた女性の爲に投げられた血書だ。白熱的大評判なのも無理はない。

十月號は「母となる女」の神秘と銘打つてあるだけ、柳原燁子女史が久方振りに卷頭に「お母さんとなる友へ」をしみじみとした筆致で書いてゐるのを初め「母となる女」の神秘の實話を收錄してゐる。これは附錄の「姙娠の神秘」と共に併せ讀む可く、これから母となる人にとつて見逃す可からざる讀物である。

附錄の「姙娠の神秘」は颯爽として裝釘で、徒らにゴテゴテと飾り立てた附錄とことかはり、內容第一主義なのが嬉しい。永井潜博士以下十五博士執筆の完全なる姙娠讀本だ。お產月だけに到る處で歡迎されよう。

主なる讀物を拾ひ上げると、映畫の「制服の處女」を地で行つた熊原ひさえさんと齋藤光子さんの同性愛事件があり、藤村校長、熊原ひさえさんの手記を集めてこの事件の眞相を當事者に語らせてゐるのは、何時もながら念の屆いたやり方である。それに「何故同性を戀するか？」の題目の下に、杉田直樹博士、高良富子女史の批判があつて、斯かる事件の再び繰返さぬよう懇切に指導してゐる。

また成城學園の學校騷動は益々深刻になりつゝあるが、下田次郎博士令息の流血事件を扱つて、本人の學校への公開狀を始め、川村竹治市川源三兩氏の批判があり、若き子弟を持つ世の親達の必讀となつてゐる等、なかなか拔目がない。

近來、この雜誌の實用記事の改善發展も斷然拔群で、常に新らしき題目を捉へて、現代に最も適合する知識を供給してゐる點は偉なりといふべきだ。「女中座談會」「秋をスマートに行く」「手足の美容」「思ひのまゝに痩せもし肥りもする法」等何れも血となり肉となるものばかりだ。最後に堂本印象氏の表紙の益々異彩のあることを述べて擱筆しよう。

婦人倶樂部（十月號）

本誌記事「結婚大特輯」がまづ眼を驚かす、內容は「理想の夫、妻を語る座談會」「一寸したことから良緣を得る」「結婚費を自分で稼いだ話」「美しき日の手紙」それに「好きな人と添遂げた私」など朗かだ、其の他美容、美髮、お料理と讀書シーズンを控へて殊に「雜誌週間」記念をも兼ねて超破格無軌道的大勉强振を見せてゐる

滿洲日報

九月二十九日發行

發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地　發行所 株式會社滿洲日報社

蘇聯、更生的態度にて北鐵交涉復活に決す
廣田外相の斡旋により

【東京二十九日發國通】廣田外相は目下停頓狀態にある北鐵交涉の政治的解決を下すべく積極的斡旋の勞を取るため愈々表面へ乘出すに至つた、卽ち二十八日午前十一時より約一時間に亙り大橋滿洲國外交部次長を外務省大臣室に招致し、交涉に對する滿洲國今後の方針を聽取せるところ、大橋次長は
一、北鐵交涉は是非共今後續行し圓滿解決したき事
一、右のため買收價格五千萬圓（一留二十五錢）を提出してゐる滿洲國としては交涉の實際的解決を圖る
一、北鐵に對する第三國の債權は蘇側において負擔すべきこと
の三項を反省的に考慮する用意を有する旨廣田外相に明示した、よつて廣田外相は同日午後五時駐日蘇聯大使ユレニエフ氏を外務省に招致し二時間餘に亙り隔意なき懇談を遂げた、卽ち廣田外相より
一、北鐵に對する滿洲國司法當局の手入れ問題の如きは要するに枝葉末節の問題にして北鐵讓渡交涉そのものが纏まりさへすれば全部的に解決するものである、よつて蘇側としては北鐵讓渡交涉を續開し、この際蘇側の北鐵讓渡提案の二億ルーブルを圓に換算せしむる基礎並にそのルーブル對圓の換算率に關する明確なる提案をなすべきであらう
一、若し蘇側が右の如き誠意を示すにおいては自分も當初の言明に基き此際積極的斡旋に乘出すであらう
と熱心に說得に努めたところ、ユ大使も外相の意を諒承し蘇側も從來の態度を改めてこの際政治的見地から北鐵交涉を一擧に解決するため二十九日直ちに蘇滿交涉を復活し更生の意氣を以て協議を行ふべきことを承諾した、斯くて六月二十六日開始以來約四ケ月に亙り繼續せる北鐵交涉も廣田外相の斡旋乘出しで滿洲國の五千萬圓案と蘇側の二億ルーブルの間に歩み寄つて解決する情勢となつた

けふ私的會商を開始
政治的解決を申し合せん

【東京二十九日發國通】北鐵交涉は去る九月二十二日第五次會商開會以來蘇側はルーブル對圓の換算率に對する提案を出し暫く停頓中だつたが、二十八日廣田外相の滿洲國大橋次長、蘇側ユレニエフ大使に對する個別的勸說により二十九日大橋、カズロフスキー兩氏の私的會商を再開する事となつた、而して二十九日の初會商では北鐵交涉のこれまでの停頓せる原因を探求し技術問題を一掃して政治的折衝を開始すべき旨申し合せ、今後の會商繼續方針につき打合せる筈であるが、滿洲國側に對し一應ルーブル對圓の換算率提案を求める意向であるから蘇側のこれに對する出やうは極めて注目される

于軍の不戰區進入
協定違反として警告
柴山武官より何應欽に對し

【新京特電】支那側は最近冰平東方地區に蟠居してゐる老耗子匪賊團を討伐するといふ口實で不侵入地區に于學忠軍の第百十八師六百五十二及び六百五十三團を保安第二總隊と改稱し進入せしめつゝあり、斯くの如く正規軍を單に名稱のみを改めて不侵入地區内に入れることは明瞭に停戰協定違反なるのみならず豫かじめ關東軍の諒解なく支那側の自由意思によりかゝる處置に出るのは支那側の不信行爲であるので關東軍では二十九日北平公使館附武官柴山中佐を通じ何應欽に對し嚴重なる警告を與へ二十九日より一週間以内に撤退を開始しない場合には關東軍は斷乎自由行動に出づべきことを通告した

改編保安隊
唐山方面に輸送

【天津二十八日發國通】非武裝區內の治安に當るため曩に于學忠から撥令された一部軍隊の保安隊改編は愈々實現し、今曉來天津東停車場通過、續々と唐山方面に輸送されつゝあるが、改編された部隊は何れも楊村駐屯中であつた百十八師六百五十三團である、輸送部隊は左の如し
一、二十八日保安隊第二總隊第一大隊
一、同第二大隊
一、同第三大隊

黃郛近く歸平

【北平特電二十八日發】黃郛は各方面より速かに歸平して時局收拾に當るべく督促されたので豫定を早め十月七八日頃歸平する事に決定した模樣である

方軍と守備軍衝突

【新京電話】方振武軍約八百は二十六日午後高麗營に向つて攻擊し來り二十七日拂曉まで高麗營を守備せる第百二十九師の第六百四十八團と近く相對峙してゐたが、二十七日の天明と共に東北方に退去した、双方共死傷者は出なかつた模樣である

逆襲の方軍敗退

【北平特電二十八日發】高麗營附近の戰鬪において中央軍のため擊退された方振武軍は二十八日再び高麗營に逆襲したが午後三時敗走した

方吉軍行動監視

【北平二十八日發國通】第○○團佐枝部隊は二十七日朝牛欄山懷柔に進出、方吉聯合軍の行動監視中であるが今後の情況變化なければ直に○○に歸還の豫定

對日方針 重要會談
蔣公使、黃宋と

【上海二十九日發國通】蔣作賓公使は二十八日朝黃郛を訪問し中日問題に關し二時間餘會談し次いで宋子文を訪問中日問題につき一時間餘會談し辭去した、なほ蔣の談によれば黃郛は近い內に北上する筈である

方吉聯合軍遁走
長城を越えて延慶へ

【北平特電二十九日發】何應欽は方吉聯合軍の逃げ路として平綏線北部から察哈爾への出口を開けたので昨日中聯合軍は湯山から西し長城を越えて延慶方面へ逃れつゝあり、今や聯合軍は停戰協定地區から影を沒し北支の事態は日本の公正なる態度により一段落を告げるにいたつた

【北平二十八日發國通】佐枝部隊將校斥候及び飛行機の偵察によれば、方、吉兩軍主力は漸次西北方に退却、その一部は北部の山中に、一部は延慶赤城方面に退却中であると

【北平二十八日發國通】方振武軍は佐枝部隊飛行隊の活動により何等爲す所なく全く戰意を失ひ目下西北方に退却中であるから事態は逐次平靜に歸す模樣である

陸軍整備緊急の理由
新狀勢と蘇聯の軍備充實が最大
わが陸軍當局發表

【東京二十九日發國通】陸軍當局は陸軍整備の急を要する所以につき左の如く發表した

現在陸軍で緊急を要するのは滿洲國の治安確定と、その外敵に對する共同防禦、施設充實及び作戰資材の完備にある、之は滿洲國の獨立承認及び極東に於ける國際關係の變化、列强陸軍裝備の進步、就中蘇聯邦の軍備充實が その最大の原因を成して居る、元來日本と蘇國との軍備關係は從來幾多の變遷を重ねて居るが蘇國は產業五ケ年計畫にも第一目標を赤軍の充實に置き專制政治の移植に基き國民の柔順性を利用してその日常生活を犧牲に供し軍備充實に努めた、從つて蘇國軍の裝備は步兵師團數七十五、騎兵師團數十三、平時總兵數百二十九萬、飛行機二千二百臺、戰車千五百輛その他多數の裝甲自動車及び科學戰部隊を有し、之を助成する重工業の發達と相俟つて質においても量においても帝政時代に比し遙に優越せる大陸軍を建設した、この情勢は我國をして從來の如き大陸方面の國防に關し晏如たる能はざるに至つた、殊に最近極東に重爆擊機數十臺を配置し我國の帝都の上空を空襲し得るの偉力を完備した事等は陸軍として滿洲國及び皇國防禦の遺憾無き處置を講ずるの已むを得ざるに至らしめたものである

黑龍江上流を觀る
スンガリーよりアムールへ（上）
駐滿海軍部司令部 海軍一等水兵 板津芳一手記

八月二日午前八時四十分私達は第三種軍裝に武裝をして小林駐滿海軍部司令官並びに幕僚一行に隨行して北滿鐵道に乘り込み新京驛を出發した、北滿洲の茫漠たる大平原を橫切り午後二時十五分滿洲第一の國際都市であるハルビンに着いた。

ハルビンは新京とは全く異り建物も道路も皆ロシア式である、市內電車、乘合自動車內、何處へ行つてもロシア人がウヨ〳〵多く一見ロシアの國の町の樣な氣がする

ハルビン驛より日本海軍防備隊の迎への自動車に乘り車窓より市中を眺めつゝ海軍宿舍に着いた。

今年春吳軍港を後にして同時に滿洲に出征した懷しい戰友に久し振りで會ひ、母港の話や或は其の後各自の生活の情況、勤務の物語の中に夕食を了へ私達は全員に送られて薄暗い道を急いで松花江岸に在る臨時海軍防備隊本部に着いた、直ぐ前に碇泊して居る砲艦廣瀬に乘艦した。

先づ驚いたのは艦の響である、橫腹に大きな水車が二つ有つて其の廻轉によつて、バチヤバチヤと音を立て前進し又後退する、商船などは船尾に水車が附いて居る他では一寸見られぬ珍しい響である

……◇……

二日午前五時檣頭高く揭げられたる少將旗、燃ゆる樣に勇ましい艦尾の軍艦旗を飜へして、僚艦廣瀬の登舷禮式を受けて濁流滔々たる松花江航行の途に就いた。

航行中は廣瀬戰友から寄港地の珍しい話や匪賊討伐の武功談を聞いたり艦橋に登つて一望千里の大平野を眺めながら一路江を下つた夕方近くに通河と云ふ町に着いた、既に通知で知つて居たのか、波止場附近一帶は陸軍部隊で警戒して居た、其の中を鐵兜をしつかり冠つて司令官一行に隨從警戒に當りつゝ日本軍警備本部に行つた此の通河一帶は昨年の馬占山討伐の際、反滿軍及土匪の兵火にかゝつて燒けた所で、今も尙家屋や道路側の電柱等が半燒の儘立つて居て當時の慘狀の面影が殘つて居る此の邊りは未だ匪賊が相當居り私達の行つた時なども衞兵所に怪しい男が二名捕へられて居た、松花江を通航する商船には皆防備隊から派遣した警戒兵が○○名乘つて居る。

……◇……

其の次の日着いた三姓と云ふ所は餘り大きな町ではないが、此の邊では可成の町である、此處には護路軍總司令于琛徵中將が居られる同司令部に前日の如く隨行した于中將は大なる親日派であるが今度の訪問にも至れりつくせりの大歡迎を受けた。

小林司令官一行は于中將自用の內火艇で松花江支流牡丹江を見物された、滿洲國の軍人は陸海軍を問はず外國の軍人であると云ふ樣な隔たりのある感じは少しも起らない、友達の樣な親み深い軍人である、若し自分が煙草を吸ふ時には必ず私達へ先に奬め其後自分に吸うて居た、自分獨り喫する樣な事は決してやらない。

私達は同司令部で晝食に支那料理を御馳走になつた、內地の食堂や料理屋で食べる支那料理の味とは全く異つて居る、ニンニク等の滿洲人の嗜好物が混合して居るから私達には少し食べ難い。

御馳走の上に蠅が眞黑になる程澤山とまつて居る、見たゞけで私達は不快な感じがするが、滿洲人は平氣で美味さうに食べて居る。

物價高い北滿
地方的開發が必要
八田副總裁の視察談

十日間に亙つて新京を振出しに吉林、敦化、鏡泊湖、ハルビン、富錦、呼海、海克、齊克各線および海拉爾の各地を飛行機で視察した滿鐵八田副總裁、根橋計畫部長、田邊建設局次長の一行は二十九日朝大連着急行で歸連したが、八田副總裁は語る

今度の目的は北滿狀況視察を兼ねて滿鐵のやつてゐる工事の實際を見、現業員諸君の勞苦を慰問するのにあつた、今度自分が始めて北滿方面を廻つて感じたことは黑龍江省の

治安維持 が完全に保たれてゐることで、軍隊の御苦勞には感謝のほかはない、滿鐵の派遣員諸君も不自由をしのんで、しかし達者に良く職責を完うしてゐてくれることは何よりだつた富錦など飛行機で降りられない處は機上から通信筒で挨拶文を投下したが、下の方では旗を振つたり非常に喜んでくれた、何分飛行機上からのことで詳しいことは解らないが、北滿の鐵道沿線にはまだ〳〵未開墾地が多くこれが開墾の曉には北滿の開發は實に素晴らしいものとならう、なほ各土地では居留日本人の人々から色々なことを聞いたが奥地に行けば行く程

物資の高 いのに閉口してゐる、これは物資の輸送距離が長くなる關係上或程度まで仕方ないとしても滿鐵でも滿鐵に關係のある限りでは充分に考慮して出來るだけ物資を安く供給するやうに考へればならぬ、然し自分はこの問題にはもつと根本的な解決方法を考へてゐる、日常物資を遠い處から運ぶのは不利なのが道理でこれはなんとしても先づ地方的開發を圖ることが第一だ、卽ちそれ〴〵の地方的開發によつてこれ等の物資を供給するやうにすれば物資は完全に安價に供給出來るのだしその餘地も充分にあるのだ、大きく滿洲全體の開發といふことも肝要であるが、それに伴つて部分的な地方的開發も目下の急務で滿鐵がこれをしても好いものならこれに相當の努力を拂つて好いと思つてゐる、もう奥地は

大分寒い 興安嶺を越えると一面の雪だつた、とに角北滿の今後は相當急激な變化を來さうから自分は一年に一度とか言はず今後も出來るだけ機會を見出して視察を遂げたいと思つてゐる、大淵理事は豫算會議、增資拂込問題や、シンヂケート銀行團の來滿に伴つて本社に來たので理事の擔當變更などは何も考へてゐない、歸れば早速豫算會議だ

その後の熱河（7）
山口特派員撮影　島田特派員記

喇嘛普陀羅廟

◇…ラマ教の盛時を傳へ語るラマの寺院普陀羅廟の偉觀を見よ！承德北方獅子溝に建立された八大伽藍、當時は一廟に四百餘名の僧がゐてその威盛天下を壓したと云はれる。

◇…今や廟の威容のみを止めて僧侶は減少し、財物の不如意に寺院の寶物を賣立て、法燈の光り全く失ふといふ悲慘な狀態にある、五座のラマ塔に風蕭々として淋し……

經濟會議全權
十月五日神戶着

【東京二十九日發國通】世界經濟會議帝國全權石井菊次郞、深井英五兩氏は會議終了とともに歐洲各國を旅行し九月上旬マルセイユより箱根丸で出發したが來る十月五日神戶着の豫定なる旨外務省に入電があつた

ほんこん丸船客

【門司特電二十九日發】一日大連入港の香港丸主なる船客諸氏
ハイラル領事內山康一、東亞印刷取締役山田浩通、著述業頭本元貞、三菱顧問牧野豐助、大連五品取引所理事長櫻內辰郎、海軍々人安藤榮城、セルブラザース工業會社重役橋詰克爾、三井物產鈴木勝次郎、松尾大尉、小工學校生徒視察團一行百二名

たこま丸 三十日午前十時二十分大連港外着の豫定

人事

▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）二十九日朝八時大連着列車で歸任
▲根橋禎二氏（滿鐵計畫部長）同
▲田邊利男氏（滿鐵建設局次長）同
▲野村正雄氏（滿鐵秘書係員）同
▲太田久作氏（鐵路總局次長）同
▲石村長七氏（滿鐵ハルビン建設事務所長）同上
▲酒井清兵衛氏（吉長吉敦鐵路局代表）同上
▲田所耕耘氏（滿鐵經調副委員長）同上
▲奥村愼次氏（滿鐵計畫部業務課長）同上
▲兒玉常雄氏（滿洲航空會社專務）同上
▲上野精一氏（大朝專務）二十九日入港はるびん丸にて來連
▲辰井梅吉氏（同營業局長）同上
▲忠田兵造氏（同販賣部長）同上
▲內田眞吾氏（同通信部長）同上
▲高良淳氏（黑崎窯業會社重役）同上
▲渡左近氏（陸軍步兵少佐）同上
▲稻葉逸好氏（滿洲醫大學長）同

▲鹿子木員信氏（文學博士）二十九日出帆うらる丸にて內地へ
▲佐伯文郎氏（陸軍步兵中佐）同
▲原田光次郎氏（實業家）同上
▲栃木縣軍隊慰問團一行十七名同
▲東京府立園藝學校視察團一行五十一名同上
▲福岡縣筑紫中學一行百七十一名同上
▲兒玉國雄氏（滿洲航空會社副社長）二十九日午後八時着列車にて新京より歸連
▲萬澤正敏氏（滿洲國交通部庶務課長）同上
▲松岡三雄氏（同交通部事務官）同

蛇舌

◇秋風に吹かれて舞ひ歩いた蝴蝶二羽、高野山でポトリと落つ。
◇曝らした生恥、天國ならぬ地獄で結ぶ戀の結末、いと哀れ。
◇彩られた血潮の謎、發見された鍵はこれをどう解いて行く。
◇こちらは小平島の蝴蝶一羽、さ思ひきやこれまた一羽。
◇淫獸猥蟲群舞の圖、どこまで續く戀の繪卷物。

東天紅（213）
田中純　林一三 畫

貞操の危機（一）

相良俊司は、その頃、虎ノ門の丹平アパートに住んでゐた。彼は箱根で靜養した後、鎌倉に歸つて來て、三日ばかり神田家の厄介になつてゐたが、そのうちに急に撮影が始まることになつたので、文子たちとも相談の結果、東京にアパート住ひを始めることになつたのである。

東京に來てからの彼の生活は、相當に忙がしかつた。彼は、會社の撮影團と一緒に、あちこちと旅行しなければならなかつたし、たまに東京に歸つて來ると、その日から鮎子に呼出されて、活動見物だの、郊外へのドライブだの、銀座の散歩だのと、戀人らしい生活に沒頭しなければならなかつた。

彼は、そのために、もうしばらく神田家さへ訪れないで居ることを、心苦しく思つてゐた。

すると或る日の午近く、相良が近頃勉强し始めた西洋の映畫の專門雜誌を讀んで居ると、コツ〳〵と、扉を叩く音がした。相良はすぐに鮎子が來たのだと思つたので「どうぞ」と大きくいつて、扉を開けて見ると、珍しくも、そこに大貫晶子が立つてゐた。

「ヤア、ゐらつしやい」

相良が迎へると、彼女もにこにこして入つて來て、

「珍しいわれ、あんたが、こんな時間に一人で家にゐるなんて…」

「どうしてです」

「どうしてつて、この頃、大變だつて言ふぢやないの。毎日毎日、お二人づれか何かで……」

鮎子のことを冷かして居るのだと思つたので、

「いや、大したことはないです。お嬢さんの案內で、東京見物をさせて貰つてるだけです」

「結構な案內ぢやありませんか。まア、せい〴〵、樂しんで置くんだわれ」

晶子はさう言つて、意味ありげに笑つたが、ふと氣附いたやうに

「時に、あんた、この頃、鎌倉に行つたことがある？」

「鎌倉つて、神田さんのお宅ですか？」と相良は訊き返した。

「ええ、さう」

「いや、あれからまだ一度も伺はないので、實は少し心苦しく思つてるところなんですが……」

「何だか、大變困つてゐらつしやるらしいわれ」

晶子は、何氣なささうに言つた。

「困つてゐらつしやるとは？」と相良が問ひ返した。

「ぢやアあんた、何んにも聞いてゐないの？神田さんの會社がつぶれかかつて居ると言ふ話し……」

「ああ、その話しならば、僕も多少知つてますけども、しかし、そんなに困つて居られるんですか？會社の方は大丈夫だつて噂を、僕聞いてたんですが……」

「ところが、ちつとも大丈夫でないらしいのよ。わたし、實は二、三日前に文子さんにちよつと會つたのだけど、あの人つたらまるで病人のやうな顏をしてゐるんだもの」

「へえ、奥さんがですか？それはまた、どうしたつて言ふんです？」

「どうしたつて、要するに、心配のためよ。文子さんでも少し奔走しなければ、あの會社はもう、この暮が越せないと言ふ狀態になつてるんださうだから」

秋冷の僧房で服毒し 不倫の戀高野の結願
情死を圖つた兩名留置

【大阪特電二十九日發至急報】爛れ切つた情痴の世界に描き出された兒玉博士邸における怪殺人事件は遂に來るべきところに到達し事件は急轉直下、高野山の情死場面に展開した――博士夫人勝美が慘劇後夫博士を聾の邸宅に殘し情人中薗秀雄と內地へ逃亡してから十六日間、二人は伸びる追手と世間の眼を脫れて戰慄と悔恨におのゝきつゝ各地を轉々、迷路を彷徨したが獵奇の眼と耳とは二人の身邊に注がれて心安らかな日とて一日もなく奔命に疲れ切つた二人の前には「鐵窓」と「死」の運命が待つばかりだつた、かくて**紀州高野山北室院に落ち延びた二人は二十九日拂曉服毒情死を企てたが、中薗は少量で生命に別條なく高野警察署に留置され、夫人は今なほ昏睡狀態を續けてゐる、**全國的に大センセイションを捲き起した死體詰トランク事件はこれを轉機として果してどんな獵奇と怪奇に富む新事實を白日の下に曝け出すか?……

アダリンを多量嚥下

【大阪特電二十九日發】和歌山高野署に連行された勝美夫人と中薗は二十八日夜宿泊した同山北室院で心中を企てアダリンを多量嚥下し男は意識を恢復したが勝美夫人は今なほ昏睡狀態を續けてなり隔離留置してゐる

勝美夫人の遺書文面

【長野廿九日發國通】兒玉勝美の遺書は二十八日午前十時頃長野縣南安曇郡豐科町の實兄藤森俊一郎氏方に配達された文面は

先立つ不孝をお許し下さい、今回の事で當然 生きて居られないので覺悟しました 詳しい事は大連に書いて送りました 死體はお引取下さるやう、二十六日午前六時認む 勝美

とあり、用紙は郵便箋を使用してありこれを角封筒に入れ郵送したものだが發信局の消印は二十七日午前八時から十二時の間で肝腎の局名は最初の和歌山〇〇は讀めるがあとの二字は不明で目下死場所の判明するのを待つて居る有樣である

遺書で和歌山へ手配
高野山に急行取調 和歌山縣警察部活動

【大阪二十九日發國通】大阪に潛入した兒玉博士邸の怪殺人事件の博士夫人勝美及び中薗の行方に就き府警察部では必死となつてその足どり搜査を續けて居る矢先、二十八日夜に至り勝美夫人の實家たる長野縣南安曇郡豐科村藤森俊一郎方へ「わたくし達は出發します 先立つ不孝をお許し下さい 事件の內容は兒玉が一番よく知つてゐます」との手紙が到着したので驚いて長野縣刑事課に急報したが發信日附は二十六日となつてなり郵便局の消印が一部不明ながらも和歌山の「和」のみ認められるところから二人は去る二十六日中薗の實兄港區八條通り中薗源之助方を立去り南海電車で和歌山方面へ心中行した形跡が明らかとなつたので、この通報により府刑事課では直に和歌山縣警察部に向け搜査方手配すると共に刑事隊の一隊を和歌山に急派した

【和歌山二十九日發國通】情死する旨の書き置きを長野縣の實家に送つて行方を晦ましてゐた大連怪殺人事件のヒロイン勝美夫人及び情夫中薗の兩名が和歌山縣下に入り込んだとの情報に縣警察部では二十九日朝來山田刑事課長總指揮となつて縣下各地の遊覽地を虱潰しにした結果午前十一時三十分に至り右兩名に酷似せる男女が高野山で情死してゐるとの報に搜査本部は俄然色めき立ち山田刑事課長は直に刑事を伴ひ高野山に急行取調べたところ右兩名は全く勝美夫人と中薗に相違なきこと判明した、女は未だ昏睡を續けてゐるが生命には別狀なき模樣である、なほ男は高野署に留置された

他人の經歷を詐稱する中薗

【東京特電二十八日發】中薗秀雄と兒玉勝美夫人が東京又は湘南方面に潛入するとの見込から警視廳では鎌倉署と連絡して警戒してゐるが中薗が鎌倉の本屋の息子で勝美夫人が青山學院通學時代から交際したとの話に、鎌倉の本屋を取調べたところ意外にも本屋の息子は中薗ではなく目下麻布六本木署の川崎巡査であり、從つて中薗は川崎巡査の經歷をそのまゝ僞つてゐるといふ新事實が發見された、なほ川崎氏の談に依れば、大正十二年ごろ鎌倉で本屋をしてゐた川崎の斡旋で勝美夫人が母と共に海岸に避暑して川崎と知り合ひになつたもので、勝美は兒玉博士に中薗を紹介するとき川崎を思ひ出してその經歷を詐つたものらしい

祝盃をあげる沙河口署捜査本部

中薗だけでも早く大連に連行したい
牧田沙河口署長語る

怪奇を極める博士邸殺人事件發覺以來徹宵署員を督勵し犯罪事實の摘發に努めてゐた沙河口署牧田署長は往訪の記者に語る

唯今ほかの方面からも中薗と勝美夫人の逮捕されたといふ情報が來たが御社のニュースによつて益々確實となつた、しかし署としてはなほ一應高野署に電報照會してその事實を確かめ返電を待つて祝杯をあげたいと思ふ何れにせよこの犯人が逮捕されたといふことは社會を安心せしめる上に非常に結構なことゝ思ふ、永らく御心配をかけてすまなかつた、但し勝美夫人が昏睡狀態に陷つてゐるといふから從來の毒藥自殺の場合の例によつても危いと思ふ、中薗だけでも早く大連に連れて歸り博士とともに充分取調べを行ひ事件の眞相を早く發表したいと思ふ

滿日のニュースなら確實だと大騷ぎ!
吉報を司法室に齎す

中薗逮捕の吉報を持つて沙河口署司法室に飛び込むと
しめたツ!君とこのニュースなれば確實だ、すぐ高野山に照會しろツ
と忽ち大騷ぎ、谷川司法主任の命に提訊問係が電報頼信紙を持つて飛び廻る、事件發覺以來六日間連日徹宵しての活躍に血走つてゐる署員の眼に萬歲の色が光つてゐる、まだ〳〵和歌山縣からの公電に接する迄は笑顏は出來ないよと云ひつゝも牧田署長は嬉し氣に本社寫眞班のレンズの前に立つ、警察署にのみ見られる風景だ、旣に事件は一段落、ホツと落着いた氣分が漂つてゐる、なほ沙河口署安部刑事部長が刑事課上郡山部長と廿九日出帆のうらる丸で內地へ派遣されたが、沙河口署では直に無電を以て和歌山へ直行すべく命令した

保養院に身を潛めて 若き燕の病床に
戀に狂ふ御幡三輪子

二十七日沙河口署より署のオートバイで闇に消えたまゝ行方をくらました御幡三輪子は何處に隱れて居るか、沙河口署でも谷川司法主任の外一名しか知る者なく谷川主任もこれだけは絕對に新聞記者に搜しあてることは出來ぬと斷言してゐたが、何といつても本事件の重大な鍵を握るものは三輪子であり殊に兒玉勝美の遺書が送られてゐるやも知れぬので引續き內探中のところ偶然にも同女が最後の憧れの人であり若き燕である大倉土木社員田村元雄(二七)の看護人として小平島の南滿洲保養院に人目を忍んでゐることが判つた

田村の室は同病院の一階、愛光舍の二號室で今年一月十三日に入院して以來病狀捗々しくないとあつて一人室であり、半開きとなつたドアの隙から覗くと秋の陽ざしが一杯に差し込む室にガーゼを眼にあてゝ靜臥してゐる同人の姿は人妻と通じたといふ過去の所業は第二として淺ろに氣の毒な感じを誘ふ

しかし肝腎な三輪子は新聞記者が來たと聞いて忽ち身をかくしたものか室の內には姿がない、同舍付きの看護婦に尋ねると

佐藤さん(三輪子の稱姓)は今朝は居られたのですが、何處へか外出されるかも知れぬといつて居られたから大連へ行かれたかも知れません

といふ、色々問ひ詰めると辻褄の合はぬ點が色々あるので匿してゐるなと直覺して看護婦室の隣の附添婦室を一寸覗くと床の上に寢臺なしで雜誌を讀んでゐる若い女が居る、油氣のない蓬髮を引つ詰めに結んでゐる恰好はとても三輪子と思へぬので人違ひかと思つてドアを閉めたが、若しやと思つて今一度戾つてドアを開けて見ると今まで居つた女がもう姿も見えぬ、さては三輪子だつたとよく〳〵室を見廻すと片隅の寢臺の陰にうづくまつてゐる三輪子を發見した

三輪子さんかくれなくつてもいゝぢやないですか

と聲をかけるとガバと起き上つて

知りません、私は何も知りませんさあれ程いふたではありませんか

と血相變へて記者に飛びついて來た、寫眞班がレンズを向けると今度はその方に突喊して寫眞機を鷲掴みにしてしまふ、水色のモスの着物の上にポプリンのクローバ模樣の上つ張りを着込み、薄化粧した顏に殺氣を湛へて立ち廻るこの中年女は、それが大連の情史に一ページを彩つたといはれる女だけに、エロツぽくも又凄慘の極みだが

記者●● そんなに興奮しなくてもいゝよ、たゞあんたの所へ兒玉夫人から遺書が來てゐるといふ話だが

三輪子●● そんなもの來ません、兒玉さんの奧さんも內地へ行かれてから全く便りがありません

記者●● 田村君の病狀はどうですか

三輪子●● 知りません、お話しするならば沙河口署へ行つて谷川さんの前でしませう、さあ行きませう

と記者の手を引張つて自分から先きに自動車に飛び乘つたが、記者がまづ新聞社へ行くといふと仕方なしに自動車を降りた(寫眞は保養院の廊下に立つて記者と語る三輪子)

佐伯中佐が凱旋東上
けさ榮轉して

事變勃發前より滿鐵囑託將校として活躍、事變と共に新京線區司令官として功績を現した佐伯文郎中佐は今回陸軍運輸本部輸送課長の重職に榮轉する事となり二十九日出帆うらる丸で離滿したが、出發にさきだち

慌しい二年間であつた、たゞ大過なく職責を果し得た事を全く皆樣の御同情によるものと感謝してゐる、四月から五ケ月に亘つてアメリカを一廻りして來たが歸ると共に轉出を命ぜられたのは名殘惜しいが將來も滿洲とは關係のある仕事をやるのだ、何分今後ともよろしく頼む貴紙を通じ皆樣によろしく

滿鐵より八田副總裁、山西、山崎兩理事、中西地方部長、林庶務課長、清水鐵道部次長等滿鐵軍部關係者多數の見送りあつた

不良ダンサー免許取消し
妻子ある男と戀愛行

ダンスより胚胎する風紀問題が兒玉博士夫人の行狀暴露によつて社會へ大きい宿題を投げかけてゐる矢先、市內信濃町ダンスホール大連會館のダンサー山岸ユキ(二四)が妻子ある男と三角戀愛に耽り一家を悲運に落し入れた事實が判明し二十八日附で遂に大連署保安係からダンス界最初の舞踏手免許の取消處分を受けた

同女は去る八月一日元藝妓である前身を秘めて東京明治技藝女學校卒業といふ虛僞の履歷書を作成し警察の眼を誤魔化して舞踏手の許可を受け大連會館に働くやうになつたが間もなく元關東廳巡査で妻子ある男とたゞれた戀に落ち、これが爲め男の一家は悲慘のドン底に突き落されて夫婦の間に離緣話まで持ち上つてゐる事實を大連署で探知し遂に他の見せしめもあり斷然免許取消が行はれたもので不良ダンサーの間にセンセイションを投げてゐる

戰跡リレー代表推戴式

來る十月十七日旅順戰跡において擧行する關東廳體育研究所ならびに旅順市役所共同主催になる第九回旅順戰跡リレー大會の都市對抗リレーに出場する監督山田、選手八重樫、濱田、大藪、樋口、金光、關戶、中江七選手の大連市代表推戴式は二十九日午後零時三十分より大連市役所市會議場において小川市長、岡野助役その他關係者多數集合の上擧行定刻市長より推薦狀並に代表市旗を授與して激勵の辭を述べこれに對して八重樫主將の答辭あり後別席に於いて乾盃をなし午後一時閉會した

陸軍側被告を豐多摩に收容

【東京二十九日發國通】陸軍側被告後藤映範以下十一名は二十九日早朝東京衞戍刑務所豐多摩に移された、この日各被告は五時起床冷水摩擦後勅諭を拜誦して朝食を攝り又新しき軍服に着替へ、三臺の自動車に分乘して塚本所長自ら附添ふた、カーテンを上げた車窓に見ゆる被告の顏も朗かであるが沿道の建物に見入る眼には思ひなしか一抹の感慨がある、斯くて六時十五分豐多摩刑務所に入つたが、その後姿を見送つて正門の鐵扉は固く閉された

洮南侵入の徑路不明
ペストの調査

洮南城內發生のペストに就いては當局が全力を盡して發生徑路を調査中であるが外部より侵入せる形跡を認めず防疫當局では發生徑路の不明に不審を抱いてゐる、なほ洮南城內では死亡せる滿人女張氏一名のほか續發する者はない

旅客列車運休

洮南にペスト發生のため滿鐵では鐵路總局と協議の結果十月一日から同線との直通旅客列車の運轉を中止することになつた

天氣予報 三十日
北西の風晴一時曇
滿潮(午前七時二十五分 午後七時四十五分)
干潮(午前〇時十分 午後一時三十五分)

各地溫度(二十九日午前十一時)
大連 二三 奉天 一九
旅順 二三 新京 一八
營口 一九 新義州 一九

今日の小洋相場(十時) 百圓につき一一三圓三五錢

極東大會の選手豫選
第二回滿洲國體育大會

【新京電話】第二回滿洲國體育大會は二十九日午前九時より新京西公園競技場において開催、本大會は特に明年度極東オリムピック派遣選手を選ぶ競技會であるので興味を惹き觀衆數千競技場の周圍を埋めた、午前九時奏樂裡に前年度優勝吉林軍を先頭に關東州、興安省、黑龍江省、北滿特別區、奉天省、新京特別市の順に入場、トラックを一周の上南面に整列先づ吉林軍主將の手で滿洲國旗及び大會旗を高く揭揚、一同默禱を行ひ次いで鄭國務總理の訓示、金市長始め各代表の祝辭あり、終つて吉林軍選手傅振基君全選手を代表して宣誓を行ひ昨年度獲得した優勝旗、優勝カツプ、優勝盾等を返還、午前十時よりいよ〳〵千五百メートルの決勝戰に大會の火蓋を切つた

英艦答禮訪問

目下入港中の英國軍艦カンバーランド號に答禮のため滿鐵總裁代理として關根埠頭事務所長が二十九日午前十時半同艦を訪問挨拶を交すところあつた

質屋の主人經過不良
手術の結果

二十八日夜西公園町の自宅において強盜のため拳銃にて狙擊され右脾腹に盲貫銃創を負うた質業加戶安治(五〇)は妻安市代さん附添ひの下に唐澤病院に收容され手當中であつたが二十九日正午手術を終つたが經過面白からず頗る憂慮されてゐる

善鬼惡鬼 (213)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

二つの骸（三）

善の始末をして了ふと、長吉は舟を下りた。金太郎も一緒に下りた。で、二人は、前の場所に戻つて腰をかけながら話をつゞける。

いつもの長吉とちがつて、何となく、しんみりしたものいひであつた。

「お前も、噂に聞いて知つてゐるだらうが、小梅の屋敷は、お上だつて手のつけられねえ妙なお邸だ。力づくでかゝれば、何十人何百人かゝつたつて、敵はねえもんだから、お奉行所でも手をつけかねておいでなさる。捕方衆だつて命が惜しいから、いくらお上の御命令でも、本氣になつて、捕方に向ふ人はねえ。とても力づくでは敵はねえから、何とか誤魔化してだまし討ちにかけやうとしておいでのところを、吉祥寺様のお働きで、先手を打つて了つたんだ。それからあとは、あの通りお旗本衆は劍術を會得する算段、お大名衆はエレキの術をおぼえ込んで了はうといふ計略、あの御兄弟二人の怖ろしい技を、一通り受取つて了つたあとは、どんな事になるものか、そこんところのからくりはおいら風情にや判らねえが、まづ、何にしても、今のところ、外から手を出して、あの御兄弟に仇をする奴はねえ。只、怖ろしいのは、御兄弟同士のもつれ合ひだ」

金太郎は熱心に聞いてゐたが

「御兄弟同士のもつれ合ひと云つたつて、五郎兵衛先生の事は、千住においでの時よく知つてゐる。少しもわだかまりのない、生れたまんまのお方だ。あんな立派なお方は滅多にゐねえと思ふんだが」

「さうよ、五郎兵衛先生と來た日にや、まるで竹を割つた氣象といはうか、まるで神様のやうなお方だが、只、なさる事が荒つぽすぎる、是非善悪の奥底まで考へないで、いやな奴は打つた斬つて了ふ好いと思つたら、飽くまで味方するといふ性分が、いつも／＼形ちの上ぢや、無茶苦茶な亂暴狼藉のやうになつてあらはれるので、世間ぢや鬼のやうに云つてゐるが、心底はまるで佛様だ。それに引かへ、兄御様と來た日にや、只むつつりと考へこんでばかりゐなすつて、二言目にや、切支丹伴天連か何かで、ハライソ／＼とやつておいでなさるが、一日間違ふと、こんなむごたらしい事をなさるんだ。おいらにいはせると、兄御の方は佛のやうに見えて實は鬼だな」

「なるほど、片つ方が善い鬼で片つ方が惡い鬼か」

「その通り／＼、同じ鬼でもかうなると、萬事腕白でおし切つてゐる五郎兵衛先生の方が、よつぽど始末が好い。こゝまで打明ける段になると、まだこのあとへどんなむごたらしい事が、起るか、お前にや見當がつく筈だが」

「うむ、よくは判らねえが、怖ろしいやうにも思はれるね」

「あの樂齋といふ先生はな、年中獨りぼつちでゐたいんだ。そのくせ、獨りぼつちが淋しくつてたまらねえんだ」

「さいふと」

「手短に云へば、眞底、自分に惚れてくれる女房がほしいんだ。ところが、御自分の女房と來た日にや、お前も知つてゐる通りのお濱さんだ。どこからどこまで、女房でゐてくれるんだか、とんと、見當がつかねえ。それもその筈よ、あそこに眞黒になつて伸びてゐる人たちは、二人とも、おはまさんのお手つきなんだからなア」

「全くだ、あの人のなさる事を見るにつけ、おらあ、女房といふものを持つのが、いやになつてゐるくらゐだ」

「尤もだ、おいらだつて、そろ／＼女房でも持つてと、安心の出來た矢先に、おはまさんを見せつけられたんで、近頃はぷつつり思ひ切つてゐるのさ」

「それに引かへ、五郎兵衛先生の奥様は立派なお方だねえ」

「さう思ふだらう。おれもさう思ふ。おれたちやお前が、さう思つてゐるだけならまだ好いんだが、實は、あの惡鬼どのが、おぎん様を羨ましがりはじめてゐるんで、これが餘ち、二つの死骸をわざ／＼こゝへ持ちこんで來たいはれなんだ」

頼を寄すれば

松竹蒲田トーキー作品　中央映畫館上映

松竹のオールトーキーとして期待された北村小松原作脚色島津保次郎監督作品で及川道子がトーキーに初主演してゐる、その他のスタッフは桑原昂のカメラで岡讓二、志賀靖郎、高峰秀子、齋藤達雄、大日方傳、飯田蝶子等

ストオリイは高杉家のお抱へ運轉手良助（岡）は愛妻に先立たれて娘美也子（高峰）と二人で淋しく暮してゐる、高杉家の令孃弓子（及川）は良助を庇つて美也子を可愛がる、そして美也子が餘り慕ふのでお母さんになつてあげると娘を慰めつゝ戀人の光一（大日方）に嫁いで行く

このしんみりとした母を失つた少女の氣持を中心に妻を亡くして娘と共に世のはかなさを運轉手の身にかこつ父子の姿を描き、娘を可愛がる令孃を配して女のデリケートな氣持を扱つた佳作品である

たゞしんみりした味と併行して大衆的に面白く見せるために飯田蝶子の洋服學校長を始め出演者の大半を喜劇的に扱つたのは全篇の氣分統一を缺いた嫌ひがある

しかし最後の場面の扱ひ方が素晴らしく教會内から流れて來る結婚式の讃美歌を聞き乍ら父子が交す會話に觀衆はホロリとさせられるだらう【寫眞は及川と大日方】

タマキ舞踊團　明夜協和會館

月刊婦人雜誌日滿女性社では滿鐵社會係滿洲國協和會の後援で東京タマキ舞踊團を招聘し三十日午後六時半から協和會館で歌劇舞踊と獨唱の夕を催すが會費は大人一圓學生子供五十錢である

なほタマキ舞踊團主宰藤玲三氏は有名な花柳章太郎氏の實弟で多年寶塚少女歌劇團教師として令名あり岩村和雄氏に師事し專ら舞踊藝術の研究を續け其後自からタマキ舞踊研究所を創設し佐藤富房氏は高田舞踊團のかつてバンドマスターとして名聲あり、タマキ舞踊團の設立と共にその專屬となり伊藤清壽氏は東京ムーランルージュ專屬照明家伊藤達二氏の實弟今般特に一行に加はり照明を擔當してゐる

本邦品の海外躍進
洋灰人絹等注文殺到
特に人絹の米國進出が注目

【大阪二十九日發國通】世界的排撃の嵐を衝いて産業日本を誇る邦品の海外躍進は依然凄い勢ひを示してゐる、即ち曩にアイルランドから淺野セメントに對し二千噸のセメント注文があつたが、歐洲行の船は最近滿腹つゞきで殘念ながらこれに應ずることが出來なかつた、ところが今度イギリスから又淺野セメントにロンドン、リバプール行き一千噸の注文が入つた、淺野では今度の分は値段よく充分引合ふので、期日中に適當な船を見付けて品物を積出すことになつた、今一つ世界一の人絹國たるニューヨークの米國人輸入商より三井物産に人絹縮緬の注文があつた白地だけならまだしも色物の注文が來たことはおよそ我國人絹が世界に誇つてよい事で、三井物産では取敢ず二十八日神戸出帆の船で見本を積出すが、これを機會に米國へ進出の途が開かれるものと期待されてゐる

撫順炭礦が製油に一大進展
驚異的發明に成功

【撫順電話】最近のわが國石油界は露油の大量輸入を一劃期として六社對露油間の激烈なる競爭を惹起し、今や熾烈な爭覇戰が行はれて居るが、本來外油のみによつて大部分の需要を充たして居る我日本では何れは根本的の石油國策を樹立せねばならぬ羽目に立つてゐるが、今回撫順炭礦ではこの非常時對策として石油の大量生産を計畫し目下着々その準備を進めて居る、しかして右計畫實現の曉には全滿洲の需要を充たし得ると共に、進んで日本內地へも

補給 し得る程の生産高を擧げ得べく、素ばらしい規模を持つものであるといはれてゐる、現在撫順炭礦に於ては一千萬圓の施設費を以て重油、ガソリン等を製産してゐるが、數量は重油年額四萬三千噸、粗蠟一萬三千噸、コークス五千噸、ガソリン一萬五千噸に及び原料たる油母頁岩は日々四萬噸から採掘されるが、製油工場の製産能力關係からこの中實際上の消化は僅かに一日平均四千噸內外に過ぎない、他は全くこれを捨てゝ居る、然るに滿鐵當局では最近の情勢に鑑み、この製油工場に更に一千萬圓を投下し現在の二倍大に規模を擴張しこれによつて放棄されてる餘剩油母頁岩の消化を計畫するに至り、近く實行に着手する段取りとなつてゐた處、圖らずも大橋製油工場長並に炭礦研究所員の苦心研究の結果、現在の規模で前記豫定資本の五分一即ち二百萬圓を以て二倍の製産能力を發揮し得る驚異的發明が完成され、關係方面に多大なセンセイションを捲起して居る、ついてこの劃期的發明に對し新京の海軍特務機關は技術員を派し、目下成績を試驗中であるが、機關長德田大佐も一兩日中に來撫

最後 的試驗を行つて後直に十月より工事に着手さるゝ模樣である、然も之に依つて增大する製産原油に更に、化學的精製を加へ現在副産物的に採集されてゐるガソリンを一段多量に採集する方法を講じ、これによつて全滿洲の需要を充たす計畫をたてゝ居る、右についてこれが資料を得る爲め製産原油と技術員をシカゴのダブス製油會社に派遣、試驗中であつたが、これも大體成功の見込を得るに至つたので、近く本社の重役會議を經、本格的の活動を開始すれば軍用重油に乃至工業用ガソリンに革命的貢獻がもたらされるものとその將來に深甚な期待をかけられてる

第二回滿洲市場紹介展覽會を計畫
東亞産業協會主催で

【新京電話】東亞産業協會は日滿貿易振興方策の具體的緊要手段の一つとして滿洲では如何なる商品がよく賣れるか、又如何なる商品が生産されるかを深く日本に認識せしむべく、關東軍、滿洲國政府、滿鐵、滿洲國協和會などの後援下に第二回滿洲市場紹介展覽會を北陸並に名古屋以東の關東方面各主要都市で開催することゝなつた、右展覽會開催要領は

一、商品展示會
滿洲主要市場に於て左記商品を蒐集し、日本主要地に於て展示會を開催し、日本の對滿輸出業者の參考に供すること
イ、滿洲において最も多く滿人に歡迎される日本商品
ロ、滿洲における日本商品と競爭狀態にある外國品
ハ、滿洲にて生産されつゝある商品
ニ、滿人の好む意匠見本
ホ、滿人に對するポスター看板廣告宣傳材料
ヘ、日滿貿易に關する統計並に調査資料

二、輸出品批判會
同展示場に於てその他の生産品にて滿人向きとして輸出希望の商品を陳列し、派遣員の批判を求め意見の交換をなすこと

三、日滿貿易懇談會
前項の展示會と共にその他に於ける對滿輸出業者と懇談會を開催し、日滿貿易に關する左記各項に就て實際的意見の交換をなし、滿洲事情を説明すること
イ、日滿貿易狀況
ロ、商品の嗜好、品質の色彩、商標値段
ハ、取引方法
ニ、運送方法
ホ、關税

などであつて開催地は福井、金澤、富山、新潟、東京、横濱、靜岡、名古屋、大阪の各市で懇談會は京都、奈良、和歌山、神戸、岡山、廣島、下關、福岡、京城の各地で開催と決定してゐるが滿洲國政府、滿鐵、協和會、滿洲輸入組合、聯合會、國際運輸、實業家、東亞産業協會よりの二十名の派遣員一行は先づ新京に集合し座談會を開催し、十月二十五日新京發京圖線にて雄基に出で、海路敦賀に上陸、福井市の懇談會より展覽會を順次開催し京都市の懇談會より一行を二班に分ち、短期日に目的を達成せんとするもので、往復四十日の豫定であるが、昨年の奉天日滿經濟機關の合同主催による第一回展覽會の成績に顧み、多大の效果を齎すものとして大いに期待されてゐる

滿洲國商標法の一瞥 (三)
中村如峰

三、當局宣明の批判 (承前)

大體叙上の如くであるが、滿洲建國前に施行されて居つた現行支那商標法が不完全な法規であることは、前に述べた如くである。次にこの不完全極まる商標法に愼重檢討を加へ、根本的に修正審議した結果に成つた滿洲國商標法が有つ所謂三點の特異性に就て見やう

一、滿洲國商標法は登録方針として先使用主義を採用し(第四條第一項)之に先願主義を加味させて居る(第四條第二項)滿洲國が新建設國家としての特殊事情に鑑みて、先使用主義を採用し、之に先願主義を加味せしめたことは首肯し得るが、先願主義を以て徒らに紛議を惹起し正當なる商品に損害を與ふる虞あるとなすは當らない、何故ならば先使用主義と雖も、必ずしも理想的のものではなく、何れも一長一短を有つて居る。

▲先使用主義の缺點　先使用主義は理論上正當の如くであるが、この主義を採用する國に於ては商標が一旦登録せられた場合でも、他人が其の商標は自己が最先に使用したものであると主張し、其の事實を立證した場合には、登録權者の登録を無效とするが故に、斯かる國に於ては商標の登録は自己の商標たることの證據材料としての價値は有するが、之に依り確定的に權利を設定せられたものと云ふことは出來ない、即ち其の權利の保障が完全でない憾みがある。併し滿洲國は登録後三ケ年を經過すれば確定的效力を有す(第四十四條)ることになつて居る、英國は七年である。

▲先願主義の弊害　先願主義を採用する國においては、使用の有無及び時期を問はず最先の出願者に商標專用權を與へて居るから、多年の間、自己の商品の標章として使用した場合に於ても登録を受けなければ法律上保護せられない。外國において或る者により永年使用せられた商標でも、先願主義の國において他人の名義に依り登録せられた場合には、その商標先使用者はその國において同一の商標の登録を受くることが出來ないやうになる、英國等に於て往々日本商標に對し非難の聲あるは、全く日本の先願主義の有する缺點に基くのである。

◇

二、滿洲國は建國の主旨に基いて平等主義を實行して居る、平等主義とは門戸開放、機會均等のことである、而して滿洲國人の商標登録を認めた外國の人民の商標のみを取扱ふといふやうな主義は取らないといふて居るのである、世界に承認されて居ない滿洲國承認問題はまだ世界の懸案である、日本は昨年九月世界に率先して滿洲國の獨立を承認したが、滿洲國人の商標登録を許す國は、滿洲國を承認した日本より外には恐らくあるまい、然るに滿洲國は滿洲國を承認しない國の商標登録も、平等に取扱ふといふ平等主義なり、門戸開放、機會均等の方針からすれば當然であるが、然らば日滿通商關係の特殊事情は抹殺されるであらうか

吾等は日本人の商標だけといふが如き偏狹な意見を強調せんとするものではないが、日本人としての立場だけは考慮する必要がある、明治三十六年十月締結せられた追加日清通商航海條約第五條には次の條項がある

清國政府は清國臣民が日本國臣民の有する登録商標を侵害するを禁遏する爲め、必要なる規則を設け、且つ誠實に之を執行すべきことを約す

清國政府は登録局を設置し、商標及び版權保護の爲め、今後同國政府に於て制定すべき規則の定むる所に從ひ、其保護を受くること勿論たるべし

次に滿洲國が建國に間のない昨年三月十二日、堂々世界に發表した所謂對外通告及び同日外交總長謝介石氏が、日本その他十六ケ國の外相に發した對外通電の中には、次の項目がある

中華民國の各國に對して有する條約上の義務中、國際法及び國際慣例に照し、新國家において當然繼承すべきものは直にこれを繼承し誠意を以てこれを履行す。

また昨秋九月十五日締結せられた日滿議定書第一項には、次の如くしるされてある

滿洲國は將來日滿兩國に別段の約定を締結せざる限り、滿洲國領域內に於て日本國又は日本國臣民が、從來の日支間に條約、協定其他の取極及び公私の契約に依り有する一切の權利利益を確認尊重すべし

之等の對外通告、對外通電及び日滿議定書によつて、追加日清通商航海條約第五條の規約も滿洲國は誠意を以て尊重しなければならぬ義務がある、故に我が登録商標が唯に平等主義の美名の下に、決して輕視せらるべき性質の者ではない、吾等は滿洲國政府が商標法を施行するに當つて、我が登録商標を如何に取扱ふかは、深甚の注意を要するのである。後段更に滿洲國商標法と日本登録商標に就いて述べやう。

三、に至りては、果して滿洲國商標法の手續きが、日本商標法の規定より簡易なりや否やは、後に同法の內容を檢討する場合に於て述ぶることゝするが、たゞ日本商標法が三審主義を採用したに對し、滿洲國商標法は一審主義を採用して居る、併し一審主義と稱揚するも、審定、再審定、評定と區別せられ、果して之が日本三審主義よりも、簡明直截に行はれ得べきや否や、之も檢討した後でなければ、今直に首肯する譯には行かない。(未完)

米の海外放資
總額百五十二億弗

アメリカ商務省の金融及投資局の報告によると、一九三二年末に於けるアメリカの長期海外投資額は百五十二億五千萬ドルで、一九三〇年末よりも四億七千七百萬ドルの增加を示してゐる、この內ヨーロッパへは四十四億三千萬ドルを投資してゐるが、英、獨が大部分を占めてゐる、ヨーロッパに次いで投資の多いのはカナダ及ニューファンドランドで、約四十億ドル、次は南米の二十九億八千萬ドル、西インド諸島の十二億ドルであつて、アジア及び中米は約十億ドルに過ぎない、之等の資本放出は海外に於ける商業、工業の直接經營例へばアメリカ人が管理する製造、分配會社、鑛山、工場の經營、石油採掘等の直接投資の外に外國會社の證券保持による間接投資を包含してゐる

◇

アメリカの外國證券所有による收入は、昨年は約三億一千萬弗で前年より七千二百萬弗の減收となつてゐる、一方直接投資による收入を見るに、昨年は爲替の混亂と各國の不況により正確な見積りは困難であるが、大體九千萬弗乃至一億三千萬弗である、然しその企業設備の修繕、改良のために六千七百萬乃至一億弗が使用せられてゐるから大した收入はなかつた、これを大別すれば(單位百萬弗)

	直接投資による收入	同支出
カナダ	[illegible]	[illegible]
ヨーロッパ	[illegible]	[illegible]
中南米	[illegible]	[illegible]
アフリカ	[illegible]	[illegible]
アジア其他	[illegible]	[illegible]
合計	九〇〃一三〇	六七〃一〇〇

◇

アメリカ對ヨーロッパ直接投資の三分の一はイギリスで、大部分製造業に投下されてゐる、これ等のイギリスにあるアメリカの子會社は積立金は少なく、昨年度の收益配當も他のイギリス會社より低下してゐた、アメリカの對獨直接投資の大部分は工業に投下されてゐるが、昨年度は不況の爲めに收益は低下し、其一部は大缺損をさへ見るといふ不成績であつた、其他イタリー、スペイン、フランス等のヨーロッパ諸國への直接投資は公共事業に投下されてゐるが、其大部分は可成りの收益、配當を行つた、然しこれらの投資はヨーロッパ全體の直接投資に比べると少額である、結局昨年の對ヨーロッパ直接投資による收入は二千五百萬乃至三千五百萬ドル見當、之に對する支出は二千萬乃至三千萬ドルに上つたから差引受取勘定は少なかつた

◇

ラテン・アメリカへの直接投資は大部分原料及び食糧品製造に投下されてゐるが、これらの相場下落の爲に殆ど利益を見ず、主要投資産業たる砂糖、銅、石油等何れも不振を極めた、又昨年末に於けるアフリカ、アジア、大洋洲へのアメリカの直接投資は前年末より少增を示し、合計約七億一千八百萬ドルと見られてゐる、右の中ゴム栽培を主とするアジアの投資及びオーストラリアへの投資は殆ど收益はなかつた、一方アフリカへの直接投資は産銅の方は利益は少なかつたが、産金は可成り儲かつてゐる投資國別左の如し

アメリカの長期投資 (單位百萬ドル)

投資先	直接	證券	合計
カナダ及びニューファンドランド	二、〇四三	一、九五六	三、九九九
ヨーロッパ	一、五三三	二、八九九	四、四三二
中米	九三三	三三	九六六
南米	一、六四五	一、三三七	二、九八二
西インド	一、〇四五	一六四	一、二〇九
アフリカ	一一七	二	一一九
アジア	四四三	五七九	一、〇二二
太洋洲	一六八	二八〇	四四八
合計	七、九六七	七、一三〇	一五、一〇七
銀行及び保險投資	—	—	一二五
投資總計	—	—	一五、二三二

日印會商第三日
一日延期を承諾

【シムラ二十八日發國通】日印會商第三日は二十九日開かれる筈のところ、今夕刻印度側からボア商務長官の病氣未だよくないため明日の會議に出席出來ず、然し殘りの代表部會議は開いてもよいが如何と云つて來たので、我代表部は緊急協議した結果大國の態度を示して明日の會議を明後日に延期さして決定通告した

英の利己主義を攻撃
獨自的立場力説
印度棉花協會長が

【東京二十九日發國通】今回の英印會商で兩者の意見對立せる事判然するに至つたが、在シムラ三宅總領事よりの報告に依れば印度棉花協會會長は

日本に對する印度政府の措置は不當極るものである、印度經濟の不振は英政府の爲替管理政策に基くものだ、この點に關しては飽まで「ギブ・アンド・テーク」の方針でやるべきで印度は英國の只取り主義に利用されないやうに注意しなくてはならぬ

と聲明し、英本國の利己主義を攻撃し日印會商に獨自的立場を以て臨むべしと論じた

本邦産鉛筆
世界を風靡

【東京特電二十九日發】ドイツババリアの鉛筆は世界の市場に覇を稱へてゐたが、近年日本産の鉛筆のため脅威を受け、加速度的に業績不振に陷り、技術の點でも製産品の點でも日本品には到底對抗し難く、この狀態では全世界の市場は日本品のために征服されようと悲觀してゐる

滿洲輸入蜜柑に
鐵道省陸路輸送を宣傳

內地蜜柑の滿洲輸入は年々增加の傾向を示し殊に先年の税率改正に對し本年の全滿消化力は一躍百萬梱に達するのではないかと豫想され、出廻シーズンの切迫と共に內地柑橘組合聯合會邊りではこれが準備中だが、一方大阪商船に於ても奥地向の聯絡輸送に關して滿鐵税關當局と折衝して萬遺憾なきを期してゐる、然るに鐵道省鮮滿當局ではハルピン、チチハル等北滿仕向のものには特定税率を設定し事實上の運賃引下げを行ふことによつて陸路輸送とすべく、出荷主方面に躍起となつて宣傳してゐる事實があり、結局今シーズンにおいて約十五萬梱が陸路を經由するのではないかと豫期されてゐる

不安人氣緩和し
鈔票反撥

二十九日前場錢鈔市場の鈔票は海外情報、倫敦銀塊現物八分の一高、先物十六分の一高、紐育銀塊四分の三安、米日爲替六仙高、滙水百八圓毫、上海標金二、三元高と材料としては不引立であつたが、爲替管理法懸念で怯え切つてゐた人氣も同法もその運用によつて幾分緩和されるとの觀測行はれ、買人氣と化し寄附百十一圓十錢を安値として昂騰歩調を辿り一圓攫み高の百十二圓臺乘せと反騰した

混合飼料組合
定時總會開催

關東州混合飼料組合では來る十月五日午後二時より滿洲重要物産組合事務所會議室に定時總會を開催し昭和八年度收支豫算の承認を求め役員の改選を行ふ筈

特産一齊に崩落
豐作で先安見越
環境は依然悲觀人氣

二十九日前場の大連特産市場では大豆は豐作による先安見越で買氣不振の折柄、頃來賣急ぎの奥地筋が一齊に賣放つたので一氣に崩れ、九錢乃至十二錢方の暴落を演じた、豆粕は內地筋の引合で三井、三菱の買物七萬二千枚の大口買があつたが大豆の暴落に押されて低落商狀を示し豆油、高粱も人氣薄の折柄とて大豆安を移して暴落を呈した、環境は依然として不良であるから落潮を阻止する材料の出現は容易に期待されず悲觀人氣を濃くしてゐる

豆塵

◇…アメリカが太平洋岸に堆積してゐる小麥の百萬噸ダンピングを目論んで居る、日本に運んで來て優に採算がとれるといふのだから日本の當業者も買つけるだらうし、同時に支那にも輸入されるだらうが、さなきだに南支方面は豐作で相場がとかく下廻つてるこの頃この小麥洪水の報に市場は一しほ慘澹たる狀態を呈しやう。

◇…特産滔々として崩落、しかも四圍の環境なは樂觀を許さゞるものありといふに至つては、本年の奥地豐作も恨めしい材料の一つとなる、儘にならぬ世の中ではある。

鎭平銀受渡高

【安東】安東取引所の二十八日現在鎭平銀受渡高は三十四萬二千八百兩で前限に比し八萬一千八百兩の增加である(單位千)この金額四十九萬九千三百兩にして標金値段は二千四百九十六圓

	渡方	受方
儲蓄	五六	原田 二六
丸福	一七六	大森 二六
恒順隆	二七	丸福 二四
承順	二五	藤本 三八
長聚隆	四三	外 一四
外	一五	

鮮米收穫豫想
千八百廿五萬石

【京城】朝鮮總督府發表＝本年度朝鮮米の收穫豫想高は一千八百二十五萬四千八百五十八石にして前年實收高に比し百九十萬九千七十三石の增加である

鮮銀券發行高

【京城】九月十七日より二十三日に至る朝鮮銀行券發行高左の如し

總發行平均高	一一一、六九〇、八一二
內 正貨準備	六一、八二三、八一〇
保證準備	四九、八六七、〇〇二
週末發行高	一一六、八三八、三三八

大連の不渡手形

大連手形交換所に於ける昭和八年一月以降の不渡手形は左の如し

	人員	枚數	金額
一月	六	九	二、六六八、八〇
二月	四	五	一、〇九六、〇〇
三月	五	五	一、四四五、〇〇
四月	三	五	三、三五三、八五
五月	一	一	一〇〇、〇〇
六月	四	四	三、〇〇〇、〇〇
七月	—	—	—
八月	三	四	七〇五、〇〇

市況 (廿九日)

特産
賣物殺到し 大豆暴落

今朝の定期は大豆は賣物殺到して暴落を呈し豆粕豆油は大豆安に伴れて低落を辿り高粱は仕手薄の折柄大豆暴落を眺めて暴落した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(暴落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	四二一〇	四二一〇	四〇九〇	四一〇〇
十月末	四〇七〇	四〇七〇	四〇〇〇	四〇一〇
十一月末	四〇〇〇	四〇一〇	三九五〇	三九六〇
十二月末	四〇一〇	四〇一〇	三九六〇	三九七〇
一月末	四〇三〇	四〇三〇	三九七〇	三九八〇

出來高 四百一車

▲豆粕(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	一三一〇	一三一〇	一三〇五	一三〇五
十一月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇
十二月限	一三一五	一三一五	一三〇〇	一三〇〇
一月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇

出來高 七萬二千枚

▲豆油(低落)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一一八〇	一一八〇	一一八〇	一一八〇

出來高 五百箱

▲高粱(暴落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	一八三〇	一八三〇	一八〇〇	一八〇〇
十月末	一八五〇	一八五〇	一八一〇	一八一〇
十一月末	一八四〇	一八四〇	一八三〇	一八三〇
十二月末	一八二〇	一八二〇	一八〇〇	一八〇〇
一月末	一七九〇	一七九〇	一七八〇	一七八〇

出來高 六十八車

◇現物前場(銀建)

▲包米(出來不申)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	四一九〇	四一〇〇
大豆(裸物) 出來高 八十車		
普通大豆(袋込)	四一三〇	四一〇〇
大豆(裸物) 出來高 五車		
豆粕	一一二〇	一一〇五
出來高 二萬八千枚		
豆油	一一七〇	一一七〇
出來高 三千箱		
高粱(下物)	一七八〇	一七八〇
出來高 三車		
包米 出來不申		

豆粕生産高(二十九日) 四、〇〇〇枚 二軒

定期喰合高(廿八日帳入) 前日對比 △印減

大豆	二三一三車	一六車
高粱	七二七車	△一車
豆粕	四六九千枚	六千枚
豆油	六四五百箱	△二〇百箱

錢鈔
不安人氣緩和で 錢鈔買人氣

海外情報は倫敦銀塊現物八分の一高、先物十六分の一高、紐育銀塊四分の三安、孟買休會、米英クロス八分の三安、米支十二仙高、米日爲替六仙高、滙水百八圓毫、滙中九七元三七五、大洋九五元三〇、米日爲替第一回八分の一安、第二回八分の一高、上海標金二、三元高と材料としては平凡であつたが當市は管理法の運用緩和説を入れて買人氣となり漸騰歩調を辿り一圓攫み高の二圓臺の高値に止めた

◇定期前場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	一一一一〇	一一二一〇	一一一一〇	一一二〇五

出來高 期近四百三十萬圓

◇現物前場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一一一二五	一三九一〇	一二三三〇
十時	一一二一〇	一三九一〇	一二三三五
十一時	—	—	—
十二時	—	一三七二五	—

出來高(銀對金十五萬六千圓 銀對洋四萬圓)

銀

海外情報は倫敦銀塊現物八分の一高、紐育銀塊四分の三安、孟買休會、米英クロス、米支、米日爲替、滙水…が内地の引合があつたらしい、手合▲現粕は三菱一萬八千枚、三井一萬枚の買物があり現先共に三菱の買が目立つてゐる、大豆は三井二〇、三菱五、豐年一〇、油房四五で八十車の手合▲現物大豆は三井二〇、三菱五、豐年一〇…

瞞り乍ら紐育は暴落したが鈔票は買人氣となり二圓臺乘せとなつた▲管理法に怯えてゐた人氣が取引所長の聲明から法令も運用によつて幾分緩和されると解釋したためらしい▲實際條文によると大體において許可主義になつてゐるので運用次第にどうにでもなる譯である▲實際の取締りがどの程度であるかはいよ〳〵施行されてみないと判らない▲しかしいづれにせよ取引が窮屈になることは免れないから餘り樂觀することは考へものであらう

豆

けさ大豆は先安見越しに新規の買物なく奥地筋の賣物殺到したため九錢乃至十二錢方の暴落を演じ四百一車の手合を示した▲豆粕は三井、三菱の買七萬二千枚あつたが大豆の暴落に材料ならず低落商狀を示し豆油も相伴れて低落した▲高粱も人氣薄き折柄大豆安に一溜もなく崩れ暴落を辿つた▲現物大豆は三井二〇、三菱五、豐年一〇、油房四五で八十車の手合▲現粕は三菱一萬八千枚三井一萬枚の買物があり現先共に三菱の買が目立つてゐるが內地の引合があつたらしい

株

大阪の寄高と東新の小瞞りを入れて當市の五品は定期四十錢高、延二十錢高に寄つたが東新の引安と引際ボンヤリとなつた▲錢鈔は管理法悲觀の賣物で四、五圓方の暴落をみせてゐたがけさ管理法運用の緩和説を入れて一圓高と反撥した▲內地市場も未だ不透明の商狀ではあるが長い間の低迷でどうやら底値の鍛練は出來たらしい▲內外の情勢も不安定ではあるがこれも既に消化濟みであるし高値取組の當限が落ちて來月に入れば樣變りの相場となりさうな氣配である

株式
東新引軟弱 錢鈔反撥

北濱定期の前場寄は大株十錢高、大新は一圓十錢高、鐘紡一圓七十錢高、鐘新二圓二十錢高、引は大新不變、大株、鐘紡、鐘新共に保合を示し東京短期の東新は十錢高の五圓八十錢と寄りたるも五圓十錢と引けた、當市定期の五品は四十錢高と強く、延は二十錢高と寄り四十錢安に引け、錢鈔立直つて九圓五十錢を引け、東新は九圓五十錢と一圓方低落して引けた

前場

◇定期(單位十錢)

銘柄		當限	先限
新豆	寄	二〇二	二〇五
	引	二六九	二七三
五品	寄	[illegible]	[illegible]
	中	[illegible]	[illegible]
	引	二六九	二七三

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

滿鐵株(保合)

▲東短前場 滿鐵新株 六十七圓十錢
▲大阪短期 滿鐵舊株 六十七圓六十錢

◆糶取引

代行二六五、商取信一六二、滿洲興業二五八、大連精糧五〇、東拓新七七、金福鐵九〇、正隆舊二七一、正隆新一四一、正隆二新七九、滿銀舊二七〇、滿銀乙新一八五、滿銀丙新七三、鮮銀新一七五、郊外六八、周水土地四七、五〇、大連火災一二〇、土木企業五〇

○爲替及受渡日歩

	爲替	受渡	代引	代渡	日歩
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

株式出來高(廿八日)

定期	二、六〇〇枚
延期	二、八五〇枚
糶	五〇枚
合計	五、五〇〇枚
早渡	九八〇枚
金額	五七、八四〇圓

商品
綿糸不申
麻袋先物高

●麻袋　産地休會乍ら當地は地場鈔票昨日突込み過ぎ感ありて本日前場俄然引戻し氣味にて二圓臺乘りありて滿商筋の氣分を良くし氣配は現物、當限共三十五錢八厘、十月三十六錢、十一月三十六錢二厘、十二月三十六錢二厘、三厘見當に好調を呈した

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	九月限	三五七	二
同	十一月限	三六二	二〇

出來高 二萬二千枚

●綿糸　米棉現物十ポイント安、先限六ポイント安、印棉休會、米日爲替十三仙高、大阪三品は受渡休會にて當市は出來不申であつた

手形交換高(廿九日)

	枚數	金額
金	一、一〇三枚	[illegible]
銀	三〇九枚	[illegible]

爲替相場

鮮銀

倫敦向電賣(一圓)	[illegible]
紐育向電賣(金百圓)	[illegible]
同上海電賣(百弗)	[illegible]
同 賣(銀百圓)	[illegible]
日本向電賣(同)	[illegible]
同五日拂買(同)	[illegible]

奥地相場

錢鈔

金票對奉天票(現物)	[illegible]
國幣對金票(奉天)(現物)	[illegible]
金票對國幣(先物)	[illegible]
開原國幣對金(現物)	[illegible]
新京國幣對金(現物)	[illegible]
安東鎭平銀(當限)(先限)	[illegible]
哈爾濱國幣對金票(現物)	[illegible]

特産

▲大豆

哈爾濱	寄付	大引
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]

市場電報 (廿九日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一八片一六分七
同 先物	一八片一六分一
紐育銀塊	三八仙八分七
孟買銀塊	—
スチール	四七弗八分三
アナコンダ	一五弗八分三
英米爲替	四弗七〇仙〇分〇
米日爲替	二七弗六五仙
米支爲替	三〇弗六五仙

神戸日米

第一回	二七弗四分三
第二回	二七弗八分七
第三回	二七弗八分七

棉花

●米棉

現物	[illegible]
十月	[illegible]
十二月	[illegible]
一月	[illegible]
三月	[illegible]
五月	[illegible]
七月	[illegible]

●印棉

ベンコール	—
ブローチ	—
オームラ	—

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	—	—
東株	—	—
東新	[illegible]	[illegible]

(短期) 大新・東新・鐘新・滿鐵

	寄値	引値	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

(短期) 東新・滿鐵新

	寄値	引値	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株・東新・五品・豆新 (當・中・先) —

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

東京期米

	前場寄	前場引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
先限	[illegible]	[illegible]
九月	—	—
十月	—	—
十一月	—	—
十二月	—	—
一月	—	—
二月	—	—
三月	—	—

大阪棉花

	寄付	大引
當限	—	—
先限	—	—

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
九月	—	—
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

印度麻袋

鐵筋直積	—
青筋直積	—
爲替相場	—

滿洲日報
朝夕刊共十二頁

米の軍擴に底なし
超特大建艦案を計畫
四百隻の巨人艦隊を目指し
まづ英提言を一蹴

【東京特電二十九日發】某所着報英國の提議を一蹴せるアメリカ政府は一九六二年までの二十八年間に毎年約九千六百萬弗をもつて戰艦二十、航空母艦八、巡洋艦四十七、驅逐艦二百一、潛水艦九十九合計三百七十五隻の大建造を爲す計畫を樹てゝゐるといふこの情報に對し我が海軍省はこれは軍艦競爭な前提としての宣傳であらう一九三五年の會議の決裂を豫想することは我が軍縮精神を誤解するものであつて若し我が主張が容れられたならば各國間の競爭は解消するであらうといつてゐる

廣田外相、閣議席上
滿蘇紛糾問題を說明
滿洲國の司法事件に過ぎぬ
日本は全く無關係

【東京二十九日發國通】廣田外相は二十九日閣議席上最近北鐵ソ側職員逮捕事件に端を發して急速に惡化しつゝあるソ滿兩國紛糾に關聯しソ側はモスクワ並に東京に於て夫々日本政府に對し紛糾處理斡旋を依賴して來た經過を說明、北鐵紛爭はソ滿兩國間の司法的事件であり我國としてはこの際滿洲國に對し指圖がましい事は避くべきだ、又ソ側が滿洲國の處置を日本のさし金によるとなせるは甚だしき見當違ひで日本は何等關知しない、更に北鐵讓渡交涉は兩國間の折衝促進に關し折角努力中だと報告した

初顔合

日本製鐵株式會社設立委員會第一回會議は二十七日正午より日本工業クラブに於いて開催、商工省側より中島商相以下各委員出席民間側より串田萬藏、池田成彬、各務謙吉、松本丞治氏等の大實業家委員として出席午餐を共にして後委員長中島商相議長席につき議事に入り合同設立を目指して議案が進められた(寫眞は向つて右より六人目中島商相以下各委員)

廣田外相に俟つ
對蘇關係の調整
(一)
新村龍二

〃非常時はこれからだ〃、〃非常時は益々尖銳化する〃さいふ呼聲は、氣の弱い者を滅入らしめ、神經の緊張し易い者を昂奮させて我が國民の諸階層をロイド・ジョージの所謂神經恐怖狀態に陷らしめてゐたが、この〃非常時〃が、一體、如何なる動向過程を意味するものであるかに就ては正確な概念を有する者が鮮なかつた

だがこの非常時は、國際政治乃至對外經濟の方面に關する限り、日本が愈々孤立化し無援化して行くことを意味し、各國との相剋が益々激化して、との詰りは何れかの國と、或は何れかの國々と紛爭を交へざるを得ざるに至ることを豫かじめ信號するものであることは云ふまでもない

この自國の孤立化、この他國との對立激化に對して我が有識階級中の纖弱なる部分は著るしく神經恐怖狀態に閉ち籠められ、各方面から洩れる〃非常時〃の聲を雷鳴の威嚇と感じてゐたのである

かゝる時點に於て、わが外政指導の舵機は內田前外相の手を離れて廣田新外相の手に握られるやうになつた。ところが廣田外相は、その就任が報道されるや、未だ一語も發しないうちにわが國民の諸層より强い期待を懸けられた

これは何故であるか。それは第一に、前述の如く、國民の一部に〃非常時〃の威嚇下に迷へる羊の心理が橫溢してゐたからであり、第二に廣田外相がその閱歷と平常の言動により、〃必ず何かするだらう〃といふ印象を國民各層に與へてゐたからである

非常時の外相としては、既に試驗ずみの大家では駄目である。二年のち一年のちは言ふまでもなく二ケ月のち一ケ月のちの將來でさへ全く未知數である今日は現狀維持、ことなかれ主義、日和見外交の系統に屬する定價の知れた人物では駄目である、今日の荒浪が要求するわが巨艦の舵手は神經の太い、獨自の見解を押通す力を內に藏する者でなければならない、徒らに外見のみ勇壯な、然し本質に於てヒステリックな見榮を切るばかりの舵手では駄目である。不意打に出現するかも知れぬ怒濤、暗礁、颶風に處してビクともしない人物でなければ舵手の役目は勤まらない、廣田外相はこれらの要求を滿たすべく、時代によつて呼び出されたのだ

この期待を背負つて登場した新外相はその第一聲に於て何と言つたか。外相はその第一聲に於て現下の〃非常時〃に對して新たなる解釋を下したのだ。曰く

世人口を開けば直ちに現下日本の外交難局を唱へるが、我輩は外交が行詰れりとも、又さしたる難局であるとも思はぬ。苟くも一つの國家が異常なる力を以て躍進する場合、他の均衡を保ちつゝ普通の力で進む國家との間に勢力の不均衡を來し、これがため國際難局に立つは當然のことである

廣田外相は、かくの如く〃非常時〃を恐怖から眺めないで國力躍進の當然の結果であると評價したが、これはやゝもすれば萎縮せる有識階級一部の心臟によき注射を注いだものであつた、次いで廣田外相は

現在の日本は非常なる力を以て躍進しつゝある、從つて難關に遭遇する。然しこの難關或は非常時といふものは積極的非常時といふべきで、躍進する國家の難關を突破せんとする非常時である、國家が滅亡の方向を辿る場合の消極的非常時とは格段の違ひである

卽ち廣田外相は今日の非常時を日本の躍進に伴ふ危機であつて、滅亡の途上における危機ではないと性質づけた、從つて國際政局における孤立も、他國との相剋も迅速に生長しつゝある喬木に對する强風なのだ。これは大陸における世界市場における日本の政治的經濟的躍進を見れば一目瞭然である

而も廣田外相の右の斷定はその就任前の長い休養中に、なたまめ煙管を咬へつゝ、熟慮に熟慮を重ねた結果として到着せるもので、一時の思ひつきではなささうである。外相の言葉はかくて、對外關係の危機により神經恐怖狀態に陷つてゐた我が有識階級、就中ジャーナリズムの中に可なりの力を有するその自由主義分子に救命器を與へたかの觀があつた

恩給亡國の解消
準備工作大體完了
新恩給法十月一日施行

【東京二十九日發國通】第六十四議會を通過した改正恩給法は愈々十月一日から施行される事となつたので內閣恩給局では局員を全國各地に派遣して今回の恩給法改正の眼目並にその內容等の周知方に努力し準備工作を大體完了して今は實施の日を待つばかりとなつたが今回の改正は年々五百萬圓前後の恩給金額の自然增加を防止したもので恩給亡國と叫ばれて居る財政上の危機を救ひ他方社會的見地から現行恩給法の不合理を除去するものであつて公傷病者の恩給增額遺族扶助料の增額等に依つて一時的に恩給金額の增加を見る事があるとしても四年後には自然增加を防止し十年後には年々四五百萬圓の剩餘を生ずる豫定である

北鐵幹部代理と
蘇聯の不當處置
滿洲國側嚴重に抗議

【新京電話】北鐵ソ聯側幹部從業員の拘引によつて一般從業員は靜穩を保つてゐるが、二十七日に至り拘引幹部代理問題が生じ多少動搖を見るに至つた、從來幹部不在に對する代理者は次席者がこれに當る例なりしが、次席は多く滿人側從事員がこれを占めてゐるのでソ聯側では特に今回の滿洲國側の措置は全くこれによりソ聯側の北鐵內における勢力を減殺せんとする計畫的に出でたるの擧なりと曲解し、ソ聯側から代表者を出すに至つたので森田司長はその不法に對し廿七日嚴重抗議を發したが、ソ聯側も頑强に反駁して讓らず目下代理者問題を挾んで滿蘇兩國は對立の狀態となり各從業員はその成行きに對して不安を感じつゝあり

=定例閣議=

【東京二十九日發國通】二十九日の閣議は午前十時より開會小山法相より神兵隊事件に關し報告廣田外相よりシムラ會商は本日より本會議を開く筈で今日迄の會商は十月十日期限滿了となる日英通商條約の當面の善後措置に就き交渉したものであると報告次いで荒木陸相は方振武問題は解消したと述べ南遞相より郵貯利下げ以後本年四月には二十六億圓に減少したが九月に入り二十八億四千萬圓に增加した一口の預金高は少いが預金者數は增加してゐるのは良い傾向であるなほ增加の地方は炭坑木材養蠶地であると報告し正午散會した

關東州職員令改正

【東京二十九日發國通】關東州地方待遇職員令中改正の件は本日の定例閣議で決定した

通信收入增加

【東京二十九日發國通】昭和七年度遞信省通信事業と印紙收入決算は最近調査完了し大藏省に交附されたが、歲入決算三億千三十七萬二千圓で豫算額に比し千百六十三萬七千の增加だ、最近財界不況で通信收入は漸減し六年度など決算約二億九千五百萬で豫算額より二千萬圓の減少だつたのが財界好轉と滿洲事變後の日滿通信增加のため收入增加したものである

〃政黨〃主張のため
政友、立ち上る
津市東海大會で第一聲

【東京特電二十九日發】十月一日三重縣津市に開かれる政友會東海大會は久しく蟄伏せる政黨のマニエヴアとして各方面から注目されてゐるがその大會において鈴木總裁は大體齋藤首相に提示せる國策を敷衍し三大指導精神、十大國策を根幹とし外交、國防を先づ論じて國防費の財政との調和を說き滿洲國の獨立助成を說きつぎに政友會の產業經濟政策を論じ行政機構の改革に言及、最後に人心不安の一掃の急務を切論し我が國傳統の皇道精神に立還り君民一致の政治實現を期するためには立憲政治の大道に直進し議會政治を振肅してこれを擁護するために政黨自ら戒め相協力する必要を力說する

蔣介石、一日より
共匪討伐開始
果して成功を收むるか

【奉天電話】蔣介石は豫て計畫せる大規模の討匪作戰を來る十月一日より實行の豫定で盛んに兵力を移動せしめ四川省においても劉湘を討匪司令に任じ總攻擊を開始し一沔清英を監視のため四川に向はしめた、從來湖北西部共匪討伐は甚だ困難にして而もソ聯の勢力ます〳〵擴大してゐるが蔣は豫ての討匪第一主義に基き共匪徹底討伐を始めた模樣で最近共匪の勢力ます〳〵熾となりつゝある折柄その成功は危ぶまれてゐる

抗日團體その他の
海關事務干涉嚴禁
南京當局から命令

【上海特電廿八日發】從來日本品の支那輸入に對しては抗日會員が海關吏と結託して檢查をなし、また各地の市政府、公共團體がこれを指圖し日本品の輸入手續や運送上害を與へてゐたが、財政部及び行政院から二十七日附各地海關に對し今後公共團體(抗日會の如きもの)が海關事務に干涉することを嚴禁する旨命令を發した

坂本師團長
きのふ奉山線で歸隊

【奉天電話】熱河聖戰長城線確保に武勳赫々たる銀杏城下の戰士は所ど各部隊とともに名譽の凱旋をしたので坂本六師團長は新京に關東軍司令部を訪問し歸還の挨拶を爲し軍務打合せの後二十八日來奉瀋陽館に一泊各方面に挨拶を爲し二十九日奉山線で參謀長とゝもに特別列車で粟野地方事務所長その他の見送り裡に歸還し殘務を整理の上十月早々凱旋することになつた

非武裝地區內の
治安工作は良好
北平當局、李際春部に信頼

【天津二十九日發國通】唐山を本據に非武裝區內の治安維持に當つて居る李際春部はその後着々治安工作を進め相當の成績を擧げつゝあるが、最近では農民の收穫を援助するため各地の部下を督勵して一層の努力を拂ひ大いに人民に迎合されて居る有樣で、支那側一部に喧傳されて居る如き同部の土匪化等とは以つての外とされて居る李際春部に對する河北省政府の態度は最近漸く理解を持ち不拂ひとなつて居る八月分俸給の殘額三萬圓を交附する外非武裝區內の治安は李際春部に依る外なしとして近く武器彈藥をも供給する事となつた模樣である、なほ李際春代表は過日來津、于學忠と數次會見して非武裝區內治安に關し連絡打合せを遂げた

北鐵職員告發問題
滿洲側反駁
ソ側の抗議に對し

【ハルビン特電廿九日發】北鐵ソウエート側主席幹事マゴンは二十六日陳幹事長宛稽核局が單獨にて北鐵重要職員を告發したのは越權だとの抗議をしたが陳幹事長はこれに對し一、幹事は幹事會に議題を提出する權利はあるが對等の地位で幹事長に抗議し得る組織でない二、稽核局の告發は滿洲國刑事訴訟法二百二十一及二百二十二條に依るものであるとてソウエートの抗議文を拒否した

一段落

【新京電話】二十九日南下出動の噂ある湯玉麟及び劉桂堂軍が動かず孤立無援の形にあつた方振武軍は二十八日夜に至つて昌平北方の山嶽地帶に向け潰亂狀態で逃走した、かくて北支停戰協定線を中心とした支那軍と方振武軍の問題も近く一段落を見るであらうと觀測されてゐる

卑怯な宣傳戰

【奉天電話】二十六日朝方振武軍は何應欽軍と高麗營附近で戰鬪を開始し方軍は高麗營西方唐村に向け退却中である方軍は自治軍の協力してなる如く宣傳し又中央軍は日本軍が方軍を默認したと各々自分々々に有利な宣傳をなしてゐる

方振武の要求
十萬元欲しい

【奉天電話】方振武は二十六日何應欽氏に代表を派して十萬元を支給すれば直に敵對行動を解除し部下を宣撫解散すると妥協を申込んだが何氏はこれに對して武器を提供し公自ら天津北平に來らば妥協に應ずる旨を回答した

劉桂堂軍標識

【奉天電話】劉桂堂軍の腕章は上白下藍で白色の部分に『討賊驅軍』と書し幟は一尺五寸平方のもので上は赤白の布を用ひられてゐる

新銳驅逐艦
艤裝を完了

【橫須賀二十九日發國通】浦賀ドック會社で建造中だつた我海軍新銳驅逐艦千四百噸は艤裝愈々完了し三十日午前帝國海軍の手に引渡され橫須賀鎭守府艦籍に入る事となつた

社說

某夫人に關する不祥事件
享樂と自利とを追ふ人々

某博士夫人の周圍に渦卷く不祥事件は多く考察を要する點がある。而して斯くの如き不純戀愛に絡まる事件は、現在日本各地到る處に暴露されてゐる。尚他の方面にては、瀆職、背任、收賄贈賄等金錢に關する不快な事件の暴露さるゝこと も亦頗る多い。蓋し此等は何れも、社會國家に毫も關心する所なく、只管に個人的利益と享樂とより外に何等思ふ所がない現代思想に蝕まれた人達の釀成する所に外ならぬ。而して此等破倫不道事件の特色は、この關係人物が相當の教育を受け、相當の社會的地位にあるといふ點にある。

◇

思ふに、國家社會の利益に毫も關心を持たず、只管に個人的利益と享樂とより外には何等の考をも持たない國民が多ければ多い程、その國家その社會の堅實性に缺陷を增す。しかも社會の上層と認められる知識階級の人達が斯る狀態にあるならば殊に寒心すべきである。我邦は目下東洋平和の基礎を定めて世界の大平和を築くべき大事業に着手し、此れに全幅の努力を拂はねばならぬ時期にある。此際上記の如き個人の利益と享樂とより外に考へない一群を、社會の上層知識階級に發見するは、實に遺憾千萬といはねばならぬ。

◇

世情斯くの如きに至つた原因は何か。蓋し我邦多年の教育と政治との實際が、個人主義に傾き、物質的實利主義を鼓吹した結果に外ならぬ。明治維新以後社會人心の向ふ所は立身出世にあつた。教育の力點は立身出世にあり、あらゆる機會を捉へてこれを鼓吹するに怠らなかつた。道義的教育はその名あるのみ。實際は頗る消極的で甚だ力が弱い。而して社會に出て立身出世するには、物質萬能なモットーとして行動するにあらざれは、その目的を達し得ないやうな政治の執り方である。

◇

昔は學問ある人と云へば必ず道德高い人を意味した。今は教養と德義とは別個の問題となつた。高等教育を受けた男でも女でも人道に缺くるもの多きは屢々暴露さるゝ實例である。教育と政治との缺點から生じた舊道德破壞の思想はその形式と共にその精神をも破壞し盡し、新時勢に相應し發生すべき新道德の根柢を喪失せしめた。人心滔々として個人的利益と享樂との囚とならざるを得ぬ。唯僅に健全なる一部があつて、濵起してその匡救を圖らんとするに過ぎぬ現狀である。

◇

學界の世界的權威であつたとか、某獎學資金を受けた名士とか、拮据して築き上げた社會的地位等の語を聞きて、かゝる議餅が冠せらるゝ人物の道念が如何に薄弱低級であるかを暴露せられた時、綺羅を纏ひ寶玉を輝かして、ピアノを彈じ、ステップを踏む婦人が、その心情の如何に下劣卑汚であるかゞ暴露された時、吾人は實に苦笑の外は

(以下略)

…ない。誰れ彼れの個人を嘲笑する前に、斯くの如き人物を生むに至つた世相の墮落に浩歎を禁じ得ない。

◇

而して一方を見れば、營々として家業に勵み、國家の一員、社會の一分子としての勞務に服し、それに拘らず糊口をも凌びかね、陋屋にも住みかねて、一身の享樂など思ひも寄らぬ。しかも道念に於て必ずしも上層階……

……實に百慮すべきは今日の教育と政治とである。而して斯る時に直面する吾々は深く自ら省る所ありて、心行共にその實を失はざる修養と覺悟とを持すべきである

收入の飛躍的增加 支出は常年通り
滿鐵九年度營業豫算

滿鐵九年度營業收支豫算は九月二十日が提出締切日であつたが事業豫算が遲れたので順次に遷延し、就中營業收入の大部分を占むる鐵道部と商事部が未提出で大體の見當もつきかねてゐたところ二十九日まづ鐵道部が完成、同日經理部に提出された

金額は 例によつて嚴秘に附せられてゐるが大正八年度鐵道收入が九月二十九日現在において四千七百三十萬圓に達しこの調子では八年度實算の一億二千萬圓に達することは確實なので九年度豫算もこの前後なるべく、殊に北鮮に拔ける特産は明年度は極めて少量でありそれだけは豐作による南行增加で補ひ得るから結局鐵道部提出の金額も一億二千萬圓見當と見られてゐる、しかして八年度豫算における鐵道收支は

收入 九五、五三〇、〇七五圓
支出 三三、三四四、三一四圓

であつたから收入において實に二千五百萬圓の增加である

支出は 例年收入の三十七、八%を占むるを常とするから九年度豫算においては四千萬圓限度なるべく、即ち八年度豫算においては六千萬圓程度に見積られてゐた鐵道純益が九年度豫算では一躍八千萬圓に達するわけである、次に

商事部 關係は二十九日部內會議を開いて部議を纏めたので三十日中には經理部に提出さるべく、この方は明年度の賣炭數量と價格の見通し如何によつて左右されるので殊に嚴秘に附されてゐるが、四月より九月に至る今年度上半期の賣炭成績や炭界昨今の景況より推して明年度の賣炭數量は八百五十萬噸見當なるべく從つて金額は七千萬圓乃至八千萬圓見當とならう、即ち八年度營業收支豫算中鑛業收支は

收入 五三、九〇八、五三六圓
支出 五六、三九五、四〇一圓

であつたから九年度は收入のみの比較においては二千萬圓見當の增加を示すべく、損益においては八年度は二百五十萬圓見當の赤字だつたのが逆に二、三百萬圓の黑字となり、昨年度と比し五百萬圓位の純益增となるものと見られてゐる、更に

毎年の 營業豫算中に四五百萬圓の赤字を入れてゐた製鐵が今年度より豫算面より除かれるのでそれだけ赤字が減るわけである、これを要するに明年度營業豫算中においては收入方面では鐵道、鑛業、旅館、港灣、地方等が滿洲景氣や軍需工業の旺盛につれて未曾有の躍進をとげこれに對し支出は比較的增加せざるため收益率著るしく

好轉し 八分配當は極めて易々たることが明白となり毎年編成難に惱んだ滿鐵も今年は久しぶりに餘裕ある豫算を編成し得ることゝなつた

北鮮鐵道の委任 廿九日正式調印
村上理事京城で語る

【京城二十九日發國通】北鮮鐵道委任經營の正式調印をなすべく二十九日朝入城した村上滿鐵理事は本日中に吉田鐵道局長との間に右調印を了し、今夜中に清津に赴く豫定である、同理事は語る

もう總ての難かしい手續は濟んでゐるので、今となつては頗る簡單なものだけの調印を濟ました上、清津に行つて新設の北鮮鐵道事務をみる豫定である、經營が滿鐵に代つたといへ事務其他を始め今迄の局營と少しも變更なく進めるつもりだ

全勘察加漁業實績
ペトロ領事館の報告

在勘察加ペトロパウロフスク後藤領事代理よりこの程外務省に達した報告によると去月二十八日（終了期に近し）現在の調査として同地機關紙の報道ぜるソ側漁況は次の通りである

勘察加全域に對する今年の漁獲計畫の實施率は僅に四二、六%に過ぎず其の中國營機關の實施率七八、七%（主としてコルホーズ側よりの買付による）にしてソ側國營漁業機關中主要役割を演じてゐるアコ會社すらも八月十五日現在の漁獲高は豫定計畫の四九、二%に過ぎず、其の內譯は自社漁獲四六、八%、買付六〇、一%である、又昨年八月十日より同月十五日迄の五日間の盛漁期の漁獲高は五、五〇〇ツエントネルで同期までに年計畫の六六、二%の實績を舉げたのに比し今年度は同期間中の漁獲高一二、三五五ツエントネルに過ぎず

州內、附屬地の 七月中人口動態
自然增加千八百人

關東廳調査＝本年七月中の州內及滿鐵附屬地に於ける人口動態の概要を摘記すれば左の通りである

婚姻 內地人十五組、滿洲人百九十二組、總數二百七組でこれを前月に比すると二百九十組を激減し、又一月以降の累計三千七十六組を前年同期の總數に比較すると九十五組の減少である

離婚 內地人三組、滿洲人十七組、總數二十組、之を前月に比するとキ一組を、又一月以降の累計九十二組を前年同期の總數に比較すると十三組の孰れも增加である

出生 內地人五百四十四人、朝鮮人三十一人、滿洲人千七百十人、總數二千二百八十五人で人口千に付き一人七分である、之を前月に比較すると實數に於て二百四十六人を、比率に於て二分の孰れも增である、又一月以降の累計二萬百十五人を前年同期の總數に比すると百二十九人を增加した、而して本月の出生數を各人口千に付て觀るに內地人は二人一分、朝鮮人は一人一分、滿洲人は一人六分である、更に出生總數を男女別に觀ると即ち女百に付男百九人四分の割合である

死亡 內地人三百十九人、朝鮮人六十一人、滿洲人千三百二十人、外國人一人、總數千七百一人で人口千に付き一人二分であるこれを前月に比すると實數に於て三百三十六人を、比率に於て二分の孰れも增加を示し、又一月以降の累計一萬二千二百八十三人を前年同期の總數に比すると二千六百六十二人の激減である、而して本月の死亡數を各人口千に付て觀るに內地人は一人二分、朝鮮人は二人一分、滿洲人は一人二分、外國人は四分である、更に死亡總數を男女別に觀ると男八百五十人、女八百五十一人で本月は珍しく女の總死亡數は僅少と雖も男を凌駕して女百に付男九十九人九分を示した、又各性人口千に付て觀ると男一人一分、女一人五分の割合である

死產 死產は內地人二十二人、滿洲人十二人、總數三十四人であるこれを前月に比すると十一人を減少し又一月以降の累計三百三十五人前年同期の總數に比すると六十三人の增加であるついで出生の死亡を超過する人口の自然增加は內地人二百二十五人、滿洲人三百九十人（朝鮮人は三十人、外國人は一人を孰れも減少）總數五百八十四人である、之を前月に比すると九十人の減少で、又一月以降の累計七千八百三十二人を前年同期の總數に比較すると二千七百九十一人の增加である

國線聯絡に金票

【奉天電話】十月一日よりの時間改正に基き滿鐵國線の聯絡運行に對し奉天驛では國線への旅客貨物取扱に對して金票をもつてこれを處理することゝなりその前日本社より換算率の通告を受けこれを基準として一切の取扱ひを開始することゝなつた

日滿支の親善は 急テンポで展開
方振武問題解決影響

【北平二十八日發國通】反蔣抗日を叫び北平攻略を企圖した方振武は東北方よりする關東軍に壓迫され、南方よりは中央軍に擊退され退路を西北に求めて潰走しつゝあり、方軍潰滅の機は今や全く時間の問題と見られるに至つた、而して一時は方振武の背後に日本軍ありと誤解した當地支那官憲民衆は關東軍の公明にして正大、停戰協定に違反するものあらば其孰たるを問はず斷乎たる處置に出でたる行動は日本信賴するに足る、日本の援助と好意なくしては何事も成就せずとの感を深刻に諒解せしめた、その顯著なる現れとして紛糾に紛糾を重ねた公安局長も今朝余晉和（新任者）の就任により急轉直下圓滿解決し延期に延期を續けた當鄉の北上も近日中と決定するに至つたが、吾人の最も刮目すべきは滿洲事變以來排日記事を以て滿載されて居た北支の有力紙大公報が今日までの態度を俄然一變し約二ケ年半振りで始めて親日的の論說を堂々と揭げるに至つた事である、こゝにおいて昨日當地日支人の面上に見るものは和氣藹々の情で、日滿支親善の日は急テンポを以て來るものと好望視されるに至つた

林業突擊隊員
造材增進要求

八月下旬ハバロフスク市に於て開催された極東林業會議に於て全極東林業コルホーズ突擊隊員が提出せる議定書によれば本年第四四半期（十月—十二月）間の全極東造材高は三百五十萬米、來年度第一、四半期（一月—三月）千百二十萬石に達せしむべく絕對的努力をなし、極東方面に於ける各種建設に必要な用材を充分に供給し、建設事業の促進を計り、他方海外輸出增進に資すること……

顧みられぬ 日支問題
手持無沙汰の顧維鈞代表

【東京特電二十九日發】ジュネーヴ支那代表顧維鈞は日支問題で長廣舌を振ふつもりで瀨踏みをしてゐたが各方面とも相手にしないので遂に會議には持出さぬことになつたらしい

國分氏歡迎 詩筵開く
奉天鷗波詩社

【奉天電話】滿洲詩の行脚の途上に在る國分青崖氏を主賓として奉天の鷗波詩社では二十九日午後四時から鹿鳴春において日滿詩人の融和を計るため閻市長が斡旋し懇親詩宴を開催することになつた

英民間代表 聲明書發表

【シムラ二十八日發國通】英國民間代表クレアリー氏が二十八日夜發表した聲明書で其の來印の目的に就き始めて日本の事に觸れた點は注目に値する、即ち從來そのステートメントやインタービユーに於いて專ら英印通商關係のみに就き語つてゐた英國側が今回始めて「吾々は日英印の通商問題解決のためシムラに來たのだ」と述べてゐるのは頗る興味のあるところである

ソ聯發電計畫

情報によれば蘇聯邦政府は二十四日地方電力會社の創設計畫を決定した、之によれば本年末迄にタービン二十五臺、ボイラー五十三個を設備し、電力六十一萬五千キロワットの發電裝置を完成せんとするものである

爲替管理講演

愈々來月五日より施行される外國爲替管理法案に關する橫山課長の解說講演は大連商工會議所主催大連新聞社及本社後援にて二十九日午後四時より大連商工會議所に於て開催同五時半終了した、日本人聽衆は五百、滿洲國人側は二百名に達する盛會であつた

朝日新聞幹部

朝日新聞社では來る一日大連に於て通信會議、朝日會總會を開くがこれに出席の大朝專務上野精一氏、營業局長辰井梅吉氏、販賣部長忠田兵造氏通信部長內田眞吾氏が相携へて廿九日入港はるびん丸で來連した、この種會議を滿洲において開催するは初めてゞあるが滿洲事變後の時局の重要性に鑑み特に會議開催地を大連に選んだものである、滿洲における各地支社支局代表者も同會議に列席の筈

人事

▲山本德明氏（新任關東廳土木主事）廿九日挨拶のため本社來訪
▲秋山義隆中佐（關東軍第四課長）二十九日午前八時新京より着連、自動車にて旅順に赴き關東廳、要塞司令部其他を訪問の上歸連星ケ浦星乃家に投宿
▲駒澤辰明氏、江崎健三氏、溝口喜六氏、平野卯三郎氏、松井繁太郎氏、古森幹枝氏（以上辯護士）二十九日午後四時半發列車にて北行
▲羽生秀吉氏（慶大醫學部教授）同上
▲春日忠善氏（同）同上
▲安康清氏（同）同上
▲加藤清治氏（日本醫科專門校教授）（同上）

野戰軍器廠 落成式
きのふ奉天で

【奉天電話】關東軍野戰軍器廠第一次建築工事の落成式は二十九日午前十時より施行された先づ山內神官の修祓降神の儀あり祓式終省長の式辭朗讀工事報告來賓の祝辭朗讀あり祓式終省長の挨拶あり式を了つたが金井顧長粟野地方事務所長その他一般官民百五十餘名の出席あり斯くて式後餘興に入り柳房街美妓の松の家三ツ面舞踊に入りブロードウエーのダンサーの手踊あり盛會裡に終演した

日魯內紛
漁區統制に影響

露領沿岸漁業と沖取漁業の對立問題は北洋漁業の全面的不漁に激化され、露水組合側の東京、北海道合同派を代表してゐる日魯重役佐々木平次郎、坂本作平兩氏は自發的に辭表を提出することになり、兩氏とも沖取に突進する事に決したが、日魯の內紛は露水組合內部關係に延長され露領漁業組合合同後の邦人漁區取得が專ら同組の漁區統制委員會によつて統制されてゐる事實から見て延いては委員會の態度にも影響を及ぼさずにはいまいかと見られ成行き注目されてゐる

商船新線へ 近海郵船抗議
協定違反を理由とし

【東京特電二十九日發】大阪商船が營口、大連、北海道間の新航路を開設することに對して郵船及その直系たる近海郵船は協定違反なりとの見地から抗議を提起し双方相讓らず兩者の協定決裂を憂慮されてゐる

新京無電臺 明春竣工

現在滿洲には大連、奉天、ハルビンの三地に無線電信臺があるが何れも小規模にして充分の機能を發揮し得ないので豫て新京に總百萬圓を以て大無電臺を建設中であり、右は滿洲電信電話會社に繼承されて工事中であるが工事も進捗して明春四月ごろ竣工すべく、事業開始の上は新興滿洲國の耻しからぬ大無電臺として國交政治や經濟上大なる機能を發揮するであらう

徐實業廳長

【奉天電話】徐實業廳長は棉花栽培後の渤海灣及錦州の農事試驗場を視察のため二十七日奉山線で錦州に……

八相
全試驗制度に　五十行以內 中傷はさらず 投書歡迎

全試驗制度に　一 母親

◇來年中等學校へ入學する子を持つて今からなやみの種になつてゐます、無試驗制度は試驗地獄の弊から救ふためで御座いませうか、それでしたらそれは所謂優等兒?（無試驗組）のみの福音で有試驗組には何等恩典なく却て無試驗組があるため入學率が惡くなるのでは御座いますまいか。

◇一般に簡單な試驗が行はれますなら優等兒には無論のこと普通兒にもさほどの困難もない樣に思はれます、入學難の折柄たくさんの落伍者が泣いて居るのに自分は試驗すら受けないで大威張で入れた子供は何を思うでせうか。

◇神ならぬ人によつてなされる上申制度が純眞な子供の心を傷つけは致しますまいか、入らうと一生懸命になつてゐる子供がいぢらしくてなりません、經……不平な全試驗制度をお取り下さいませ、その上なら努力が足らなかつたとも運命だとも親も子も諦めはつきます。

花環全廢の提唱　新京 松子

◇九月二十一日發行本欄香奠全廢の花環全廢の提唱に對し全然同感である、大きな名札を附ろ花環、損料借りの花環葬儀に……する毎に嫌な感じを起させる……

◇少くてもよいから生花を供へいものである、花輪や香奠は……へ遺族の意思に依り小學校など社會事業に寄附した方が供養になると思はれる。

兒玉博士夫人を繞る
(B) 舞臺に躍る人々・批判

若し私だつたら妻を離別する
女は世界到るところにある

大連技藝女學校長 島田道隆氏

博士の事件を批判する前に私は私自身の人生觀を訂正しなければならないものかを再三考へてみました。

何故かならば博士の日常生活が家庭を冷たくしたとすれば、私も亦同じやうに家庭を冷たくして居ると言はれねばならない、教育といふ公職が私の唯一の仕事だ道樂だと思つてる私には、寮生達と寢食を共にする時間が多くして妻子と食事を共にする時間が少ない、本職のための生活であつて、家庭人としての生活なんて殆ど出來ない、それを冷たい家庭だとして批難せらるゝものならば私は私の人生觀に訂正を要する時期が來たやうに思ふ。

だが私は訂正することを止さうそれでよいと思ふ、だから博士への批判も自己の尺度に當てはめるに過ぎない、從つて他人から見ると正鵠を得たものとはなるまいと思ふ。

一體われ／＼は如何に生くべきか、それは我々の仕事――天職といつても使命といつてもよい――を全うするといふことで、娛樂だの家庭の暖かいの冷たいのといふことは、たゞこれを補助する材料に過ぎないと思ふ、その見地から見れば吾人は公人として生くべきで、家庭人といふことは第二義的であるべきだと思ふ。

而して夫婦といふ場合に、其の何れが主になるか、それは當然男子が――男子の使命が中軸になつてそれを守り立てゝ行くのが妻の務であるべきだと思ふ、だから博士の研究を直接助けずとも間接に力づけることが勝美夫人の任務であつた筈である、そこに自己の本務を認め、悅樂を認めればならぬ筈だつた。

男としての博士が取つた最後の手段――眞相は判然しないが、もし私だつたら、かくなつた上は妻にも周圍のものにも執着を持つ必要はないではないか、も少しアツサリと妻を離別すれば問題はないではないか、男子には男子としての本務がある――女は世界到るところにある――一女性のために終世の事業を棒に振つたのはイクラ考へて見ても惜しいことだつた。

何故不義の妻を許したか
羽衣高女校長 岡内半藏氏談

滿洲に於ける醫學界の一權威者と仰がれ、地位あり信用ある兒玉博士は一面尊敬すべき篤學の紳士であるが世事に疎く、家事の不取締から今回の如き一大悲慘事を惹起し可惜一身一家を亡ぼす樣な羽目に陷つたのは誠に氣の毒千萬であります、私は新聞記事以外には何等其眞相を穿ち得ないのであるから此際敢て批判がましきことは避けたいと存じますが唯博士の爲めに返す／＼も惜むべきは何故男らしくせなかつたかと云ふことです

(一)みだりに姦夫(?)を慘殺し剩へ其死屍を虐待しながら、一方に於て心の腐つた身の汚れた不義の妻を許したか(二)若し又博士が主犯者でなく共犯を強ひられたものであるならば、何が故に事件發生後十數日間も躊躇したりせず一刻も早く自首して潔く法のさばきを受くる態度に出でなかつたか

と云ふ點にあるのです、併し私は多く語るに忍びません。

（寫眞は岡内校長）

來るべき大問題
女學生の眞劍な叫び
◇ 彌生高女五年生 A

私達は事實を知らない、只新聞に出た記事だけに論據を置くから或は御本人には御氣の毒なことになり、また的はづれの批判になるかもしれないけれど、聲の大きかつた順に纏めてみませう。

1、博士は學究的な人でいつも御自分の仕事にばかり正面な顏をみせて夫人は横顏ばかりみてゐたから夫婦の愛情に乏しく人情味に缺けてゐた爲に家庭は空虛であつた、從つて夫人は夫の眞價を知らず世界的な博士の學識社會的な立場など理解してゐなかつたかも知れない

2、日本婦人の魂である貞操の何であるかをはつきり辨へてゐないのは高等敎育を受けた婦人として悲しいことだ、御自分の妻であるといふ自覺もなく浮草のやうに男から男へと移つてゐたなどは私達女性の名を極度にはづかしめたものである

3、肩書や地位、教育の程度などは人間の價値と大した關係のないものだと思つた、博士でもあんなことをすれば匹夫に劣ると思ふ

4、最初貞淑だつた夫人があゝした亂行の限りを盡すやうになつたのには博士にも五〇%の責任はあるが物質と時間に惠まれた勝美夫人が有閑婦人の陷りやすい三面道をひたばしりに走つた事は夫人の日常生活に生活理想や信念がなく感謝の念が足りなかつたからだと思ふ

5、青柳青年は實に意志の薄弱な人のやうに思へる、いやだ、いけないと思ひながらひきずられてゐたのは決斷力が乏しいからだ、男らしくない男、條理の前に整然と形を正すことの出來ない優柔な男と、妻としての自覺のない夫人との魂がフラ／＼と倚りかゝりあつてゐたやうに思へる、恐らく青柳青年と夫人との間にも燒きつくやうな愛はなかつたでせう――と思はれる

6、妻の不貞を知つてからの博士の態度や今度の犯行後の態度などご普通の常識があれば三分間考へたら判ることだのに……私共はむしろ不思議です

7、家庭を守るべき夫人が樂しみを外に求めたのがいけなかつた淋しい氣持ちを自ら慰めるために讀書、裁縫、手藝、園藝など家庭的なことに廣く趣味を持つて一日中忙しく暮らす工夫をすれば日も足りない位だのに暇だつたらもつと社會奉仕的な仕事に活動すればよかつた、何にしても自分の向上を圖り一家を樂園とするといふやうな點を考へず唯むやみに飛び歩るいて刹那的な享樂に日を送り惡友にひつかゝりそれに脅迫されてまた犯されるといふやうに亂行の幾重奏をやつて到頭ぬきさしならぬ立場になつて終つたのだらうと思ふ

わたしの結婚觀（十）
家族本位の人と……
何事も伯父さん任せですわ
森洋行の艶子さん

奉天女學校卒業後不幸兩親を失はれましたが伯父さんに當る連鎖街森洋行森捨三氏のもとでその温い愛情と深い理解のもとに樂しく朗かに生活してゐらつしやる艶子さん(二二)をお伺ひしました。

……◇……

應接室へやゝ俯向き加減にはいつていらつした艶子さんにお逢ひした記者はしとやかな美しさに胸をうたれました、來連以來いそがしい伯父さんのお店でキヤツシヤーとしてお手傳をされてゐた艶子さんは此頃では三十人からのお店の人達の食事の献立をしてゐらつしやるとのことで、お料理は仲々自信があるらしいです。

……◇……

艶ちやん（伯父さんはさう呼ばれます）も、これでもう一人前です、資産家の長女として何不自由なく暮してゐたのですが、父が家庭をかへりみない人だつた上に事業に失敗してなくなつてから私の家に來てゐるのですが、とても朗かな性質で伯父の家だからといふことでつまらぬ遠慮や義理立のために苦しんではといふ私の心配なぞも除かれるので喜んでゐます、結婚適齢期とでもいひますか、そろ／＼心掛てゐるのですが、たゞ私としては朗かな純眞な氣持で結婚してくれることを望むだけです

……◇……

「艶子さんはどんな方と」

「眞面目な家庭本位の人」

「お金持はきらひです、えゝ結婚する人は伯父さんにまかせます」

「でも艶ちやんは伯父さんがこの人と結婚しなさいといへばすぐる?」

「これは困つたなあ」

伯父さんは頤をなかゝへて笑つてゐられる、艶子さんも俯向いてく／＼笑つてゐる、何となし親み深い好ましい御樣子です、いゝ伯父さんだなあと記者は思ひました。

「でも當人同士が充分理解しておかないと兒玉夫妻のやうになりますよ」

「その際ははつきり主張なのべますか」

「えゝ」

「でも私としては何といつても艶ちやん本位です」

「これからはいゝ人と出來るだけ機會をみて交際させたいと思つてゐます」

東京離大出と聞くが伯父さん仲々ひらけてゐらつしやいます。

「家族本位を望んでゐるせゐか艶ちやんには不思議に子供がなつきます」

「はゝあそれだと結婚してうんと子供を作るんですなあ」

「まあ私……」

「いやこれは……」

そう／＼笑ひが爆發しました。

（寫眞はしとやかな艶子さん）

＝完＝

▲お斷り　昨日本欄の寫眞は右から内山すみ子、後藤敏子、岡外紀さんです

食堂車にニッポン娘
滿鐵々道部が九名採用

滿鐵々道部食堂車營業所では九月一日から列車に乘込ませてゐるキツシヤーガールの成績が極めて良好なので、いよ／＼書間運轉の急行列車食堂車に日本人サービスガールを乘込ませることとなり、數日前から數回に分つて試驗の結果希望者二十七名中から九名を選拔採用した、合格者は十七歲から二十歲までの處女、十月一日から正式の講習を受けて十一月匆々から列車に乘込む豫定である

× × ×

家庭顧問
冬になると鮫肌になります

【問】十九歲の男子です、每年冬になると手足及び腰の邊りが鮫肌となり搔けば白い皮が落ちます、併し夏になり、水泳等をしますと割合に綺麗になります適當な治療法を御教示下さい（惱める男）

サリチル酸アルコールを塗れば

【答】一%サリチル酸アルコールを一日數回塗布します、直に乾燥しますから其後にオレーフ油を薄く塗入れたら治ります（辻慶太郎）

ラヂオ

大連 JQAK　九月三十日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特産株式、各地相場）
▲午後零時十分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分　ジャズ（一）タンゴ「れたみ」（二）ブルース「百萬弗の女」（三）ワルツ「忘られぬ思」（四）パソドブル「スペインの姫」（五）ワルツ「外交團」第一ヴアイオリン（川口養之助）第二ヴアイオリン（高木益美）アッコールデオン（ワシリエフ）ギター（ミッチーヤ）ドラム（エゼノフ）
▲義太夫「心中天網島新地茶屋の段」淨瑠璃小林うろこ、三味線竹本旭勝
▲午後七時三十分（東京より）歌謠曲（一）いろはにほど（二）月は宵から（三）もつれ髪（四）ほんとにそうなら、唄小梅（伴奏）三味線喜美榮、三味線三代吉、コロンビヤオーケストラ
▲午後七時四十五分（東京より）落語「ろくろ首」古今亭今輔
▲午後八時五分（東京より）長唄「鷺娘」唄杵屋和歌延、同杵屋和歌花、同杵屋和歌麗、三味線杵屋和歌、同杵屋和歌敏、同杵屋和歌鈴、笛堅田喜三花、小鼓望月初子、同望月太美濱、大鼓望月せい子、太鼓堅田喜久技
▲午後八時卌一分　職業紹介事項
▲ニュース▲氣象通報

東京 JOAK　九月三十日

▲午後六時三十分歌謠曲（杵屋佐吉作曲）唄杵屋増子、三味線杵屋佐喜藤、同杵屋佐喜琴イ、里がへり（江崎香風作詞）ロ、渡り鳥（白木楓葉作詞）ハ、海は朝凪（放送文藝當選歌詞、裕本穫葉子作詞）唄杵屋佐登、三味線杵屋佐喜藤、三味線杵屋佐喜琴イ、蛇の目傘（遠藤黎風作詞）ロ、こほろぎ（白木楓葉作詞）ハ、村娘（下田昌司作詞）
▲午後六時四十五分俚謠「博多節」水茶家秀▲午後七時吹奏樂（一）行進曲「戴冠式の鐘」パートリッヂ作曲（二）ポルカ舞曲「ほとゝぎす」「こほろぎ」ヘルゾーグ作曲（三）樂劇「神々の黄昏より」「ジーグフリートの葬送行進曲」ヴアーグナー作曲（四）軍歌集（陸軍戸山學校軍樂隊作曲、陸軍戸山學校軍樂隊、指揮樂長伊藤隆一（以下大連放送局と同じ）

本社特選 新棋戰（其七）

平手　先四段△市川一郎　四段▲加藤富久

【圖は四五銀迄の局面】　△市川氏持駒角歩歩

▲	△
三三龍	四一飛成
六一桂	五一角
三二龍	同　龍
同　銀	四二飛
五二歩	三二飛成
八六歩	四四銀
四七と	同　銀
四九飛	五八銀打
一九飛成	五四桂
七二金寄	五二龍

迄合計百十五手にて市川氏の勝

土居八段總評

市川君は敵の四筋飛車に對する對策を屢々誤つた爲に敵の防備が整ひ、折角銀を戰線に繰り出したが、攻勢を執るに難く持久戰模樣となつた、加藤君は序盤に於て巧みに駒組みを整へたが、以下漸次攻勢の方法を誤り八筋よりの挑戰無謀の爲大いに形勢を損じた、然し敵の陣形も良好とは言へないから茲で九筋を狙へば面白い局形となるのを、四五歩以下左翼よりの仕掛けが甚だ不可のために活動困難な敵の飛車、銀に動かれ形勢惡變した、以下形勢恢復に努めたやうであるが依然その方法を誤つた爲め全滅したのは新進の加藤君としては甚だ不出來の作戰であつた。

萩原七段解說

加藤氏の三三龍は四五龍では四三飛と成られ、次に五四角又は九一銀と打たれる手が殘つて惡いので三三龍と指したのである、次に六一桂は敵の九一角を防ぐ意味である、加藤氏の五二歩は五二金が駒損になるが止むを得ない、市川氏の四四銀は敵に手駒が少ない故大丈夫と見てこま得を圖つたのである。

第廿九回 滿日特選碁戰

先々先先番　四段 中川新　三段 渡邊英夫

●	○
二一への十六	二二への十五
二三トの十六	二四ホの十三
二五ロの十四	二六ホの十八
二七ハの十八	二八ニの十七
二九への十八	三〇ロの十七
三一ロの十五	三二ロの十八
三三ホの十四	三四への十四
三五への十三	

—【2】—

感想　白曰く　黑二十一で（い）の方にノビられたら、二十八に押へて居るつもりでした、黑二十五の下りがうまい手でした

此手で若し二十八とハネ白（ろ）黑（は）ならば、二十五にハネツイて居ていゝつもりでした二十六が惡手でした（は）にトンで居るのでした

黑曰く　二十七が筋のやうです、三十五の切りまで黑惡くないつもりです

白曰く　御說の通り、十四、十六十八の趣向が無理なのでせう、そこへ二十六の惡手なのですから白のよい筈がありません

滿日各地版

强盗に怯えた奉天　不安から救はる
全市民を戰慄せしめた强盗團　一味五名逮捕さる

【奉天】既報、奉天附屬地城内の飯館店、雜貨店、宿舍等を殆ど連夜通り魔の如く襲ひ多額の金品を强奪し市民を脅かしてゐた大膽不敵な拳銃强盗團に關しては奉天署において滿洲國警務廳と連絡をなり不眠不休で嚴探中偶々その首魁を北市場で逮捕し彼の自白により兇暴なるこのギャング團も一網打盡に逮捕され强盗事件頻發で毎夜の如く惱まされてゐた不安も一掃されるに至つたが逮捕された五名の賊の姓名は

▲河北省豐潤縣生れ住所不定無職前科三犯顧顯榮（三三）▲山東省高唐縣生れ住所不定無職謝長有（二〇）▲山東省濟南生れ住所不定無職戴興泰（二五）▲山東省安邱縣生れ住所不定無職曹俊田（二五）▲山東省臨榆縣生れ住所不定無職李長清（二九）で左の如き恐るべき犯行を全部自白してゐる

▲附屬地内の分
△八月二十八日午前九時頃青葉町二番地黄玉堂妻王氏（三二）を襲ひ現金廿七圓その他金時計等を强奪
△同廿九日午後八時頃住吉町二番地滿鐵社員社宅大塚彦次郎方を襲ひその妻ちま（四〇）及居合はせた近所の妻女より現金八十五圓その他金側腕時計を强奪
△九月五日午後九時十分青葉町二番地兩替店張振聲（四二）方の不在中侵入衣類六點價格廿八圓を强奪
△同七日午後八時半頃霞町二番地牛肉販賣業馮朱氏（四二）方に侵入し小洋十七元、金票八圓を强奪
△同八日午後九時半頃八幡町八番地雜貨商毛德盛（五一）方に侵入し現金六十圓を奪ひ拳銃を發射して逃走
△同十一日午後八時五十分頃八番町十一番地雜貨商大山源三（五九）方に侵入し現金十五圓强奪
△同十二日午後八時四十分雪見町三番地路上にて彼等は嚴探中の奉天署警官隊と出會し猛烈な交戰後崔君揮（二八）巡査補に致命的重傷を負はせて逃走

▲附屬地外の分
△九月十五日午前零時半頃鷹軍屯居住徐勳先（三〇）方に侵入徐に重傷を負はせて現大洋百元を强奪
△同十九日午後十時頃鐵西毛織會社に通ずる道路上において洋車で通行中の毛織會社員古矢弘一（三六）を襲ひクロム時計上衣現金を强奪
△同夜十一時半頃鷹軍屯西方奉天窯業會社日本人宿舍を襲ひ六名の邦人より金側腕時計、洋服、現金、衣類等百二十圓を强奪
△同二十日午前十一時半の白晝城内小西關兩替店天興順方に自動車で乘りつけ千圓を强奪
△同二十一日午後九時半頃小西邊門外煙草商鈴木喜三次方に侵入し大洋金票取混ぜて三十圓强奪
△同二十二日午後六時半頃小西關天興順兩替店に侵入し現金四千百八十七元を强奪

努力の結晶
三浦司法主任語る

【奉天】八月二十八日を手始めに附屬地、城内等で十三件の强盗を働いた大膽極まるこれ等兇賊も奉天署の大活動で一網打盡に逮捕さるるに至つたが三浦奉天署司法主任は語る

自分が着任早々次から次へと起る强盗事件に是非この兇賊を逮捕し市民の不安を一掃させたいと奉天總領事館警察側の應援を求め且つ滿洲國警務廳と連絡をとり司法係一同を督勵し不眠不休で之が逮捕に全力を注いでゐたが、今回一日の大努力で强盗團全部を逮捕することが出來て何より喜ばしい、八月二十八日最初の强盗事件があつて一ケ月その間犯人逮捕のため活動せしめた巡査員の延人員は實に一千名で被害件數は十三件その金額七千五百圓の多きに達してゐる

現議長の出馬により　地方側は大動搖
滿鐵側地盤は牢固

【四平街】地委選擧戰は時期迫るにつれて益々熾烈を加へ來る折柄今回は隱退せるものと見られた現議長林寛一氏が二十七日に至り突如出馬を宣言せしより、地方側各候補の地盤に一大動搖を來し、畿は逆睹し難き狀勢にあるがこれに反し滿鐵側即ち驛、機關區、公學校は牢固たる地盤を有するだけに極めて平靜を續けてゐる

しかも公學校長稻川淺二郎氏の立候補の聲が地方に流るゝや同校長に子弟を託する日滿父兄會は渾然として同校長を推戴するものゝ如く從つて最高點を以て當選することゝ疑ふの餘地なしと觀測されてゐる

今立候補の顔觸れを擧げんに

伊藤新八（地方側）
添田澤三（同）
林　寛一（地方側）
田中佐重郎（同）
竹村石次郎（同）
木藤格之（同）
富田登二（同）
稻川淺二郎（滿鐵側）
田中幸英（同）
松尾廣美（同）
趙漢臣（滿人側）
徐曾沅（同）

規定十名の委員に對し十二名の立候補現れたることゝて二名の落選者は免れざるより今や混戰狀態にあるが何人が落選するや俄に豫斷を許さざる形勢にあり

新京の孔子祭　執政大成殿にて三跪九叩の禮

熱のない地委戰
定員にも足らぬ營口

【營口】地方委員の選擧はあます所一二日に過ぎないのに今日まで名乘りを上げたものは古川現地委議長、現委員松本眞男氏、同須崎平右衞門氏、安彦英三氏の四氏位で定員八名の半數で殘る四名の内野村營口驛長自ら立候補はせず自然驛準頭に相當纏まつた票があるから部内から無理押しに出すであらう小川滿新社長も之れ又自ら立候補せずされど地方有志が捨置かず乘り出しを要請すべく關現委員も同じく町内會又は市民有志が奔走することであらう爰に一人の不足を見るが乃美熊太郎氏も潜行的氣構へがあるのでないかと見られて居る、いつもながら營口の選擧戰の熱のないのにはあきれる

鞍山地委員選擧立會人決定

【鞍山】十月一日施行さるゝ地方委員選擧立會人は廿八日地方事務所より左記四氏に委囑決定した

△水津利輔（製鋼所）△小野忠則（滿鐵）△林清勝（市中）高如九（滿人）

奉天地委懇談會

【奉天】地方委員會は二十八日最後の懇談會を開催し記念撮影をなして散會

質札でヘロ密賣　コソ泥激增
鞍山に珍商賣、珍現象

【鞍山】元滿鐵守衞上山德重（二七）は本年六月錦州より鞍山に舞戻りモヒ患者にして同縣人たる高木惡治（二〇）を使ひ、當地郊外八卦溝に於てヘロインの密賣を專業とし現金は勿論質札等をとつてヘロと交換してゐたが、附近の中毒患者等は質札でヘロが求めらるゝといふので競うて附屬地に出て物品を窃取入質現金を得た上更にその質札でヘロを買ひ、これが爲め最近附屬地のコソ泥急激に增加して鞍山署でもほとく手を燒いてゐたが右密賣者兩名外鮮人密賣者三名の逮捕によりこの二三日間コソ泥がピタリと止んだ

安東の初霜

【安東】二十六日の冷雨で國境地方は氣溫が急低下し二十七日朝初霜を見た、昨年より十四日平年より四日早い

富田サーカス事件　關係者の處罰決定
李少尉以下三名極刑

【奉天】小河沿における奉天省警備軍の富田サーカス襲擊事件は近來にない不祥事件として在滿日本人に多大の衝動を與へこれが成行きを注目されてゐたが警備司令部では既報の如く本月一日以來軍法處において數回に亘り軍法會議を開き關係者李少尉外十數名に對し嚴重なる審理を行つてゐたが去る十九日判決言渡しがあつたので同司令部では二十七日午前十時より司令部内において滿良少將より小河沿事件判決について左の如き發表をなした

去る八月五日の奉天省警備軍に係る所謂小河沿邦人殺傷事件はその後日本憲兵隊支援下に奉天省警備司令部軍法處において關係者十數名に對し數回の嚴重なる取調べを續行し更に軍政部總長の任命せし軍法會議により審議中なりしが十九日審判長より陸海空軍刑法に照し李少尉以下三名は殺人罪を以て極刑に程連長以下三名は部下多衆暴行不彈壓罪を以て有期徒刑にそれぞれ處斷し關係軍官以下に對しては陸海空軍懲罰令により嚴重なる行政處分に附した、又于芷山上將は二十五日午後再び總領事館に蜂谷總領事を訪問し誠意を披瀝して遺憾の意を述べ且つ日本側より要求に係る損害賠償金並に慰藉料として六千五百十圓を提出したこれで日滿親善の不祥事件と目された該事件も日本側の同情ある取計らひと警備軍側の誠意ある處置とにより完全に圓滿解決を見たわけ警備軍では警備司令官以下死傷者遺族は勿論日本側に對し恐縮し陳謝の意を表すると共に部下全般に對し嚴重なる訓戒を與へ「禍を轉じて福となす」意味においてこれを機會に益々日滿人相互の理解に努め軍紀振肅に全力をつくし堅く將來を戒めた

慰藉料を繞り紛爭惹起か

【奉天】サーカス事件の圓滿解決により早くも慰藉料問題を繞つて一部遺族間にいまはしい分配爭奪を惹起せんとする傾向があるので總領事館に於いては愼重調査の上遺族に支拂ふべく目下原籍地其他に照會調査中である

警備軍全般的に軍紀肅淸に努む
滿良少將は語る

右發表後滿良少將は語る

滿洲國軍としてかゝる事件を發生せしめたことは誠に遺憾に堪へない次第で各方面の誠意ある取計ひにより今回圓滿に解決したが事件以來部下警備軍に對しては嚴重訓戒を與へ今後は過般警備軍内に設立された警備軍協和會を活動せしめることゝし先日も各地に派遣した監察員と共に駐屯地を訪問し部隊の慰問をなして日滿協和の實を計り親善に努めると共に今後もこの協和會により日滿双互の理解を圖る一方六月に新設された警備軍督察隊は未だ訓練も行き屆いて居らず憲兵事務が充實されてゐないからこの程古岳憲兵少佐を招聘し督察隊長に任命したので今後は督察隊の充實と共に警備軍全般の軍紀肅淸に努める

各地の祀孔
新王道國を象徴して　廿八日一齊に行はる

【本溪湖】未曾有の豐作を豫想され百姓太平の秋さやかに訪れた仲秋丁酉の日、滿洲國政治のテーゼたる王道の始祖孔子を祭つての「祀孔」は二十八日午前六時より縣衙大堡村女子師範校内の聖堂前に於て行はれた、縣長陳德懋氏祭主となり小島參事官、宮崎警官を始め吏員、教員、警察隊多數出席の上、數多家畜類のいけにえを前にして奏樂と共に行ふ九叩頭の禮は禮教の國滿洲を象徴して莊嚴を極めた

金州文廟祭典

【金州】文廟の祭典は午前十時三十分開始された長官一行の外伴旅順民政署長長尾高等法院外官島田博物館主事を始め遠く沿線各公學堂長其他參列者一同着席嚴かなる各儀式を執行して祭典を終り正午設けの公學堂に於ける宴會場に臨み席定まるや大和田民政署長一場の挨拶を述べ伴旅順民政署長來賓を代表して祝辭と謝辭を述べ日滿兩國人を代表して祝辭と謝辭を述べ盛會裡に午後二時散會した

遼陽の領事館登記事務廢止

【遼陽】遼陽領事館閉館後は奉天總領事館員臨時出張所といふことで遼陽警察署の一室で從來の如く登記事務を取扱つてゐたが司法領事減員のため毎月二回遼陽まで出張して來ることが不可能となつたので今後登記事務は奉天に於て取扱ふことになり時々連絡のため臨時出張所に館員が來るに止まることゝなつた

鐵嶺でも廢止

【鐵嶺】鐵嶺領事館閉鎖後當地では奉天總領事館出張所が新設され登記事務は從來同樣に執務され毎月二回出張を見てゐた司法領事が缺員となり未だ補充されぬため從來の如く定期出張執務不能を理由として今後登記事務書類は奉天總領事館に直接提出すべしとの公文が一般に通知された、右は鐵嶺の爲め少なからぬ不便と不利を與へるもので一日も早く司法領事出張復活を切望されてゐる

十周年を迎へる安東女學校
十月七日記念式を擧行

【安東】安東高等女學校は十月七日で創立十周年を迎ふるので同日午前十時から記念式を擧行するがこれと前後して次の如き記念行事を催すことになつた

運動會＝十月一日午前九時から午後三時まで、音樂會＝七日午後七時から九時まで、展覽會＝七、八兩日午後一時から四時まで、生徒製作品バザー＝八日午後一時から四時まで

將來の發展に備へて　和龍縣公署の龍井移轉運動

【吉林】吉林省和龍縣公署の現所在地は過去に於て舊軍閥の放任的暴政に政治經濟其の他一般周圍の刺激僅少にして餘り其の存在を重要視されざりしが、滿洲國の成立と之に順じて治安の維持が確保され且又敦圖線の開通その他交通の利便に刺激され附近の情勢著るしく變動し將來に對する縣の現所在地は餘りにも偏僻にして發展の見込なく財政困難、産業不振、交通不便等を主因として漸次縣政は頽廢する恐れあり、かくては縣政上に來す支障多く縣の維持及び南間島發展策に及ぼす影響大にして、早くもこの主點に着眼せし縣當局では愼重に考慮を重ね漸次詳細調査の上省公署にこれが詮議方を請願すべく準備中管下住民の悉くは既に縣公署所在地を龍井に移轉する意思を有して所々で鳩首會議をなし龍井市民と協力移轉策を立案し、八月二十四日午後四時より準備會を開催左の如き主旨を表明して愈々積極的運動に着手せし模樣である

滿洲國にては建國劈頭事業として行政及經濟機關を局子街に集中しつゝあるが近き將來に於て治外法權撤廢せられる曉には龍井は自然頽廢せざるを得ず故にこれが對策として一歩進めて龍井を中心とする南間島發展策として和龍縣廳を龍井に移轉せしめ縣の威容と農商民の前途萬全を期せんとするものである

以上の主旨に基づき附近相當廣範圍に亘る有力者を網羅し去る十七日龍井にて移轉運動の大會を擧行明細書を作成して各當局に歎願し愈々積極的運動を進めて來た

普蘭店小學校

【普蘭店】二十七日當地小學校五六年生は甘井子に同四年生は金州に何れも修學旅行をなしたが三年生以下幼稚園兒童は二十八日當内和尚屯の苹果園に遠足をなした

司法事務斡旋者取締を行ふ
館令で取締規則公布

【鞍山】奉天總領事館では近時邦人にして附屬地外において滿人及至日滿人間の司法事務斡旋又はこれに類似の調査探訪等をなす營業者が漸次多きを加へ來つた爲め、これが統制上今回館令を以て法律事務所取締規則を公布嚴重取締を行ふことゝしたが、右營業者は一ケ月以内に規則書式の屆出をなし許可を受くべく違反者は閉鎖を命ぜらるゝと

電報料引下に遼陽も起つ

【遼陽】遼陽實業會では滿洲電信電話會社の電報料が著るしく高率なつた事に付常に多くの電報取引をなす特産商側とも研究を進めて居たが高木、林兩商店の如き今回の改正で年額一千數百圓宛も多く支拂はねばならぬ事になり滿洲國側商人も相當打擊ある事が判明

積缺支拂示達

【奉天】舊政權時代の備務保證支拂は滿洲國中央政府において既にこれを決定し積缺委員會の手により日滿各商人の提出した金額を整理調査の結果第二次支拂を受ることになつたが奉天總領事館から二十六日奉天商工會議所にたいし右支拂は決定し公債は十月二十六日頃交付する由で利子は七月一日に遡及して之を附する旨示達された

石炭運搬料奉天で値上

【奉天】奉天石炭販賣事務所では昭和三年の銀が四十五圓臺に暴落した當時定めた石炭運搬費を本年十月一日から値上げすることになつた、これは現在銀が百圓以上となつたことゝ奉天市内が膨脹し遠距離の地點に運搬せねばならぬとの理由のもとに區間制を採用し一區を七十錢二區を八十錢三區を九十錢として運搬料を徵收することに決定した

民選になつて最初の　錦州民會選擧
目下の所無競爭か

【錦州】錦州日本人居留民會では來る十月一日午前十時より午後四時までの間錦州日本尋常小學校にて民會議員の選擧を行ふが定員三十名、從來の官選が民選になつて始めての選擧で市中に立候補者の立看板散見し選擧氣分を煽つてゐる、目下の處立候補者は左記三十名と云はれ無競爭狀態であるがなほ他に食指動いてゐる者も鮮からず、何れも油斷なく作戰を進めてゐる、因に有權者は約二百八十名平均一候補九票强の割に當つてゐるが棄權が何割に當るか興味を以つて見られてゐる

青山秀一、濱口英雄、寺島兒次郎、池田知賀良、細尾政雄、中山孫一、廣瀨德松、小早川正登、小野興太郎、矢島龜三郎、一之瀨道賢、中川平次、嶋瀨半治、道瀨毅、竹内無平、大坂源次郎

各地片々

◇普蘭店　普蘭店果樹組合支部にては來る十月三四兩日に亘り熊岳城及得利寺方面の果樹園視察を行ふべく目下團員勸誘中であるが組合員に對しては多少の補助をなす筈である

◇營口　營口稅關にては來る十月四日（仲秋節）は休廳の告示を稅關長松原梅太郎名を以て發表した

◇鞍山　輸入組合では二十八日午後七時から實業協會において這般政府より融通された低利資金の運用に關し座談會を催した

◇鞍山　廣島縣生れもと鞍山北三條通一丁目雜貨店平野商店々員田原嘉一（二〇）は最近鄕里竹原署に逮捕取調を受けてゐるが、右店に備はれ中本年六月五日集金二十五圓を横領費消したる外同月十五日賣上金百三十餘圓入り金庫の中より六十五圓を窃取せる旨自供してゐると

◇鞍山　大石橋遼陽間勤務滿鐵備員社員の雇員登格試驗は十月九日午前八時から鞍山小學校に於て行はるゝ筈であるが受驗希望者二十七名である

◇奉天　奉天郵便局長毛呂邦次氏は滿洲電信電話會社の奉天工務處長技術科長に岩本宗太郎氏は奉天中央電報局長に、市川薫氏は中央電話局長兼管理處長にいづれも就任し二十七日各關係方面を歷訪挨拶があつた

◇奉天　二十六日午後六時頃奉天鐵西貯炭場附近路上に於て數名の邦人ルンペンが車座となり本引と稱する賭博を開帳中王巡捕が發見、逮捕せんとするや逸早く逃走その中二名を逮捕すると共に證據物件を押收したが、この奴は奉天西塔花木洞文成玉といふ鮮人宅に同居してゐるルンペン廣瀨鐵夫（二六）及び岡田義直（三四）と稱し本署に送り目下取調中である

◇蘇家屯　當地在鄕軍人分會海軍出身（警察、滿鐵、市中側）代表者は多年の懸案なりし海軍部組織に再三會談を重ねたる結果愈々これが具體案を得三十日午後五時より當地小學校講堂にて各知名士臨席の上海國日本の第一線に活躍せる赤誠に燃ゆる海軍部の發會式を擧行する

◇蘇家屯　蘇家屯機關庫新設されて滿一ケ年に當る來る十月一日午前十時より同區構内にて開區記念式及び殉職者の慰靈祭を施行さるゝ由である

◇蘇家屯　蘇家屯警察署にては附屬地に接近せる滿洲街に於て疸瘡患者發生其後愈々該病蔓延の兆ありて何時附屬地に傳播するやも計り難き狀態にて之が豫防の爲め來る十月五日午後一時より小學校講堂にて臨時種痘を施行することゝなつた

◇鳳凰城　鳳凰城警察署保安衞生主任田坂千代一警部補は今回安東警察署に榮轉することゝなり三十日赴任の豫定であるが、氏は當署在勤中衞生施設、車馬整理、道路改修等々大なる功績を殘し又一方體育協會幹事として大に盡力するところあり今回の轉出は一般から非常に惜まれてゐる

龍首山宣傳
一般より懸賞募集

【鐵嶺】山上の新裝成れる龍首山は今後大いに宣傳の必要ありとして景勝維持會に於て龍首山宣傳用の繪葉書寫眞原版、ポスター、俚謠、民謠を募集中なるが入選者には左の如き賞金を贈るにつき鐵嶺在住者たると否とを問はず奮つて出品されたい

▲龍首山繪葉書寫眞原版、入選寫眞五種とす出品枚數に制限無し入選寫眞一枚につき十圓宛贈呈
▲宣傳ポスター圖案、二十圓贈呈
▲俚謠、民謠入選者に薄謝を呈す
▲締切期日、十月三十一日
▲出品送附先は鐵嶺商工會議所内景勝維持會

全滿青訓射擊會
鞍山守備隊射場で開催

【鞍山】全滿青訓射擊會は鞍山守備隊石家谷射場に於て廿八日井上守備隊司令官、山西理事、中西地方部長、有賀學務課長、羽山鞍山守備隊長、森地方事務所長等參列の下に各所十名、合計百三十名の選手に依つて競射が行はれたが左の如く團體では撫順青訓優勝滿鐵總裁旗及關東軍副賞、滿鐵副賞等を授與された

青年訓練所

△團體優勝　撫順青年訓練所、次等本溪湖訓練所

△個人入賞　一等四十點石井國治（大石橋）二等三十九點平橋信男（撫順）三等三十九點石田善太郎（新京）四等三十五點杉原孝（撫順）五等三十四點前川務（撫順）六等三十三點本田季美二（本溪湖）七等三十三點持田正二（本溪湖）八等三十二點川合境三九等三十一西村加夫（安東）十等三十一點上村一男（撫順）

高島惠美造、田中杉夫、自見梅治、西出甚太夫、筒井正義、西山捨吉、上松桑次郎、吉宮知孝、宮名村新三、陣川熊次、東巽、宮内晄八、鄭世胤、中島治作

安東商議
理事者下馬評

【安東】二十六日常議員選擧を終了した安東商議は卅日最初の常議員會を招集、理事者互選を行ふが會頭は瀨之口現會頭が再選重任すべきは動かぬところと觀られ副會頭二人のうち一人は現副會頭阿部享爾氏がこれまた重任を豫想され、他の一人は中島三代彥、中川憲義、近藤松五郎氏等が下馬評に上つてゐる

四平街輸組
低資貸出延期か

【四平街】當輸入組合は二十七日午後一時より同會會議室に於て第五十七回役員會を開催し業務報告に次で大連における理事協議會の經過、低資問題の經過、電報料金輕減に關する件、鮮工移民の根本對策に關する件につき協議を重ね同三時閉會したが、低資貸出しは一兩日中に開始する豫定であつたが滿鐵、鮮銀、輸入組合の協定纏まらざるためなほ一ケ月位は貸出し出來ぬ由である

遼陽片々

▲地方委員も顏八人に嫁八人競爭なしと云ふ事になつたので各選擧事務所も選擧運動員も氣樂に構へてゐる▲地委選擧は地方事務所會費の大掃除が目的の一つだと云ふものもあるが遼陽の今期は滯納者極めて少數、其の少數も略納入濟とは愈々結構▲圍碁同好者は今回勇退の岡本警部補外一名の送別碁會を廿九日正廼家で開催した▲廿八日は遼陽孔子廟祭り祭典が濟んでから城内第一民立學校で市民大會が開催され縣長や參事官の王道政治に就ての講演があつたと▲實業と滿鐵の野球も第四回戰に滿俱の奪權で實業の勝となつたが改めて全遼陽チームを編成練習を開始することになり近日鞍山及蘇家屯を迎ふる計畫であると▲奉天で開催の武專と州外軍の對抗試合に遼陽から諏訪三段と松原二段が出場すると▲承德衞戍病院長平野軍醫正から五日遼陽出發途中錦州、朝陽、凌源に各一泊八日午後六時無事承德着翌九日から開院一同元氣旺盛で勤務に從事して居ると安局に通信があつた

誰の身の上も 一寸先は闇

奇妙な三脈の靈感

危急災難を豫知する祕法

瀕死の病人も魂を返へす

ピストル爆彈短刀、强盜、暴漢、地震、洪水、火事、怪我、急病、交通事故等々今の今まで平氣で居た人が、不意にいろの災難に出遇ふので、思へば誰の身の上も一寸先きは闇である。……

も三脈に異常がなければ決して大事はない。此の三脈の祕傳は、古來兵法や醫術においても通神の極……

細菌學上の驚異と云はれて居る、蝮蛇の體内には如何に超强力なる抗毒素を充有するかを思ふにあま……

奇妙不思議な强精分

奇妙に性的に若返る

不思議に異狀を示すので

コレラが流行して

全部無料で發送中

小瓶一本

「三脈の祕傳」

信州伊那の谷 鹽澤家

三百年來家傳祕法

醫學博士五十名 御實驗・御推奬

淺海醫學博士 梅谷醫學博士 田嶋醫學博士 三浦醫學博士 横森醫學博士 洲崎醫學博士 上條醫學博士 愛川醫學博士 氣賀澤醫學博士 岩橋醫學博士 小川安醫學博士 細川醫學博士 渡邊醫學博士 坂井醫學博士 館醫學博士 石田醫學博士 杉浦醫學博士 中澤醫學博士 橘醫學博士 舟木醫學博士 菅野大醫學博士 浦上醫學博士 小川誠醫學博士 小原醫學博士 寺内醫學博士 奧田醫學博士 野崎醫學博士 倉矢醫學博士 藤森醫學博士 笠原醫學博士 山田重醫學博士 小林醫學博士 三上醫學博士 福江醫學博士 端山醫學博士 竹島醫學博士 菅野力醫學博士 有本醫學博士 菅野隼醫學博士 川勝醫學博士 村上醫學博士 寺田醫學博士 山田富醫學博士 小出醫學博士 山田恒醫學博士 吉田醫學博士 淺井醫學博士 安藤醫學博士 由茅醫學博士 森田醫學博士

各博覽會金牌受領

登録商標 慶長以來の目標

精力之基 赤まむし酒 ―專賣特許―

うまくてのみよいキ、メ第一の

養命酒

◆神經衰弱の人 ◆精力減退男女 ◆貧血冷性の人 ◆病身し易い人 ◆風邪を引く人 ◆便祕する人 ◆リウマチの人 ◆多病なる婦人

◆不眠症の人 ◆榮養不良の人 ◆虚弱病身の人 ◆肺肋膜の人 ◆慢性胃腸の人 ◆心臓息切の人 ◆神經痛の人 ◆ヒステリの人

◇全國到る所の藥店百貨店にあります

品切等の節は直接發賣元へ御註文下さい。

御注意! ニセモノあり

近頃養命酒の盛況を見て都會地で早造りしたマムシ酒を賣る店あるが、信州で古來有名な赤まむし酒を造る家は鹽澤家只一軒あるのみで、且つその製法の一部分が專賣特許となつてゐるから、鹽澤家製特許養命酒の文字に特に御注目の上御求めください。

小瓶代無進呈 (家傳由來說明書と實驗集並びに三脈の祕傳添附)

ハガキで發賣元へ御申込あれ ―全部無料で發送す―

發賣元 東京澁谷町上通四ノ二百卅八番地 養命酒本舖出張所 電話青山五三九八番 振替東京六八八五五番

田螺の黑燒で淋病が治るか

〔問〕近頃慢性淋疾が治るといふので種々の廣告が出てゐますがその内でも料理の友社代理部發賣の田螺の黑燒は信用出來さうに思ひますが如何でせうか。本當に効くものなら値段も安いので飮んで見やうかと存じますので、本當のところをお知らせ下さい(札幌市 上野新助)

〔答〕田螺は日本全國到る處にありますから誰でも黑燒を作ることが出來る筈ですが田螺はたゞ黑燒にしたゞけでは淋病に効くものではありません。料理の友社は食料研究のために田螺を科學的に處理してゐるうちに之が淋病に利く成分のあるのを發見したのですから、古來傳へられてゐる黑燒の研究に着手し、この藥効成分を失はないで黑燒を作る方法を發見したのですから、充分信用してよろしいと存じます。それに各地の實驗者が本當に喜んで禮狀をよこしてゐるのを見ますれば、如何に此の料理の友の田螺の黑燒がよく効くかゞわかります。

◆夢の樣です

(略)あれだけ苦しんで何とも方法のなかつた淋病も料理の友の田螺の黑燒をのんでから僅々二三日で膿は止まり、三週間のんでから酒を呑んで見ましたが何ともなく仕事に追はれ二晝夜一睡もせず酒の力をかりて仕事をし續けましたが何等異狀ありません。何だか餘りに簡單に治つてしまつたのでまるで夢の樣です。毎日愉快に暮して居ります。これも御社の御蔭と間病に苦しんでゐる人には極力これをすゝめて居ります。それから田螺は他の賣藥の樣に副作用もありませんでした(旭川市三條通十四丁目 元木眞〇郎)

◆全快の喜び

私はある遊廓に足を踏み入れ、娼婦の痴情に誘はれつひに呪はしき淋病に罹つてしまひました。早速淋病專門の醫師を尋ね治療を受けましたが、排膿は少しも止まらず、そこでいろ〳〵の民間藥を漁りましたが、だん〳〵病氣は亢進するばかりで全く絶望の深淵に投げ込まれてしまひました。

ある醫師に相談したところ根氣よく徹底的の療法を要するとの事で、約五ケ月程通院致しました。それでも根治の見込が立たず悲嘆にくれてゐると、知人が「淋病なら田螺の黑燒で治る」と簡單に云つてのけました。溺れるもの藁をもの心境で田螺の黑燒を三週間求め一日三回づゝ小さじに一杯づつ食後三十分に服用しましたが、六七日しますと不思議にも尿の濁りも痛みもとれて、うすれて來ましたのでその後念のために醫師に檢尿をうけますと淋菌は絶對にないといふ事でした。

長年死ぬほど苦しんだ淋病がたつた三週間で然も實に低廉で快癒したので、私の人生は全く光明にみち、今更乍ら田螺の黑燒の効めに驚きました。私は友人にもこの喜びを話し二三人の人に服用させましたが、皆三週間で綺麗に治つてしまひました(東京多端彌次郎)

黑燒製法最新發明 タニシの圖

料理の友社では多年研究の結果黑燒製法最新發明に成功して夫による黑燒を御頒ちする事にしました

料理の友特製 田螺の黑燒

一週間分 金一圓 三週間分 金二圓八十錢 徳用五週間分 金四圓五十錢 送料領十四十二錢

東京市小石川區カゴ町二三八 料理の友社代理部 振替東京二四三九八番

高陸號引揚作業後援會資金募集

高陸號積載 貨幣愈々確實

約百五拾萬円ノ貨幣

周到ナル調査ヲ完ヘ近ク愈々引揚作業ニ着手セントスル高陸號ハ明治廿七八年戰役ノ當初朝鮮仁川沖ニ於テ我艦ノ爲メ擊沈セラレシモノナリ。當時該船ニハ時價約百五拾萬円ノ貨幣ヲ積載シタル儘沈没セリ大正七年我海軍省ハ其ノ權利ヲ放棄シタルニ依リ同年八月以降完全ニ田中牢四郎ニ於テ船体引揚ノ權利ヲ獲得確保シテ今日ニ至ル。想フニ如斯巨財ヲ永ク海中ニ埋没セシメ置クノ不得策ナルヲ痛感シ近ク愈々引揚ヲ決行セントス

積載貨幣ノ確實ヲ立証

該件ハ當ノ一端ヲ發表スルヤ各方面ヨリ熱狂的賛成ヲ受ケツヽアリ 此秋ニ當リ支那政府ハ彼レ一流ノ抗議ヲ我外務省ニ提出シテ曰ク(高陸號ノ權利ハ支那ノ所屬デ日本人ニ依ル引揚ハ國際法上違反デアル)九月十三日大阪毎日新聞所載上海特電所報ノ如シ。如斯ハ採ルニタラザル囈語ニシテ默殺一笑ニ附シテ可也 然リ而シテ此ノ抗議ノ一事ニ依テ見ルモ積載貨幣ノ確實ナルコトヲ一層明確ニ立証スルトモノト謂フベシ

絶好ノ機會即時申込アレ

高陸號ハ既ニ戰役當時英國ノ抗議スラ理由ナシトシテ一蹴シテ完全ニ我ガ方ノ有ニ歸セリ故ニ國際法上高遺漏ナキコトヲ言明ス

作業部ハ目下出發準備ヲ急ギツヽアリ豫告ノ如ク二ケ月後ニハ引揚ヲ完了セシメ一大快報ヲ齎サン事ヲ期ス如斯本事業ハ國家的性質ヲ帶ベルヲ以テ吾人少數人ニ於テ利益ヲ壟斷スルコトノ妥當ナラザルヲ思ヒ左記要項ニ依リ利益配當金附出資會員ヲ廣ク募集スルコトニ致シマシタ大方諸賢ノ御賛助ヲ希フ

一、沈沒個所 朝鮮豐島沖前島地先一浬(水深十尋)

二、引揚完了 昭和八年十一月中旬(豫定)

三、積載貨幣 壹百五拾萬円(推定)

四、作業資金 金五萬円

五、出資一口 金五円(幾口ニテモ受付)

六、豫想配當 十倍(百圓ニ付壹千圓)

大阪市西區西道頓堀住友ビル八號室

高陸號引揚作業後援會 振替大阪七九一四六番

會長(大阪市會議員) 西野政右衛門

引揚權利者(田中商事大將社長) 田中牢四郎

作業担當者(成業株式會社専務) 市毛護郎

治淋劑の最高權威

泌尿科の權威 小島博士創製

淋疾治療の困難は餘りに多くの治療藥を簇出し徒に臨床醫家及患者を迷はすの結果は、各種藥劑獨特の眞價を疑はれ同病を不治と迄卿に至れり。然しながら專門家の結論は、現代醫學の限界に於て、淋疾の治療は直接局所に作用して、淋菌を殲滅する銀劑の局所療法と是に併せて鎭痛、利尿、消炎、殺菌等の作用ある内服藥の綜合効果に俟つを最善の方法とするは、確固不變の定說にして、何人も異議を挾むの余地なきものとす。然るに現存する治淋劑としては、局所或は内服の一方により革命的又は劃期的効果ある如く宣揚するものあるも名實共に伴はず雲烟霧消の憾みなしとせず。茲に皮膚泌尿科の權威小島延吉博士は特に此點に留意し專心特殊局所劑の研究と之に合致すべき内服藥の創成に沒頭し、貲を皇漢、洋藥に亘りて苦心研究し、遂に理想的局所用銀劑ネオ・イヒタルギンを發見し、之に相呼應し充分なる偉効を助長する内服錠劑オロサンを完成、二藥併用の綜合劑として、淋疾治療の簡易化、最高速度化を確立し、治淋界に徹底的療法を指示せらる。敢て本療法の忌憚なき批判と其の眞價を確認せられよ!

局所銀劑 内服錠劑

オロサン

◆局所銀劑、オロサンの特色及作用

◆内服錠劑

代理店 東京 大阪 名古屋

發賣元 合名會社 啓有社藥品部

古い疊が新らしくなる

タヽミの若返り ナカノ液

最新發明

◎全滿有名藥店販賣

◎好評沸くが如し ◎飛ぶやうに賣れる ◎經濟上衛生上なくてはならぬナカノ液 ◎ドシ〳〵御試用あれ(使用法店員出張懇切實試)

◎僅か四錢で古疊が新しくなる。 ◎日燒け變色を防ぐ ◎のみ、バイキン、南京虫の退治。 ◎轉宅の消毒

特約販賣店 大連市但馬町 小寺 電話六六 同西公園町 柏原 電話八五 同聖徳街四丁目 大黑屋 電話九八 同伊勢町四 脇川延 電話五二 同若狹町一四九 峰 商 電話四七 同監部通三三 田中天 電話三七 滿洲總發賣元 大丸 電話六四

洋家具の設計と製作

連鎖街 カンノ洋家具店

毛糸はスドウ專門店へ 三越前通

生大豆ノ精 滋養ノ大關

新發賣 專賣特許

豆腐之素……使用簡便

料理之素……即席應用

豆乳素……滋養豐富

市内各食料品店、雜貨店ニアリ

滿鮮特産興業株式會社

本社 撫順中央大街十一番地 電話二二三番

出張所 大連榮町四番地(連鎖街) 電話五九四番

チクオンキなら定評ある 田中へ

大連伊勢町

小粒で服みよい小兒保育藥

宇津救命丸

秋は嬉し

秋の日うれし 子供も ロバも 勇み立つ…… 元氣に遊ぶ 姿を見れば 弱かりし日と 想ひくらべて 宇津救命丸の 護りもうれしく

お母樣方に

御兒樣の保育と健康の爲に、定評ある本藥を御常備下さい。

(主効) 虫氣、百日咳、カン、胎毒、メマヒ、夜泣、チエ熱、ハシカ、ヒキツケ、消化不良による胃腸等の場合によく、一般虚弱小兒を强健化する効果があります。

(藥價) 廿錢 卅錢 五十錢 一圓 十圓以上まで

東京 玉置合名會社 大阪

肥つた人と痩せた人は斯うも壽命が違ふ

◇

かつて大隈伯は人壽百二十五歳説を旺んに稱へられたが事實は八十余歳で逝去された。人壽百二十五歳論の根據は人間は完全に成育するのが二十五歳で大体壽命はその五倍と見て百二十五歳説が稱へられてゐるのであるが、種々の疾病、體質、生活によつて人間の壽命は今やかなり短縮してゐると見て差支ない。民族の裡でも歐米ではゲルマン民族が最も長命で、次はローマ族、日本人はかなり短命の部に屬してゐる。

日本では五十歳以上のものが僅かに一八パーセントにすぎないので之を瑞典の二三、四パーセントに比するとかなり短命である。

◇

この壽命の相違は民族により各個人により著るしく相違してゐるのであるが、その原因は果して奈邊にあるか、體質だけで定るか、又生活環境によつて支配されるものであるか、現代科學を以て批判すれば結局天禀の體質と環境との相互關係によつて決定されると見るのが妥當であらう。

天禀の體質とは所謂遺傳の方則によるもので、環境とは社會衞生、個人の生活狀態、卽ち運動、榮養、職業、休養などの要素を綜合したものである。

◇

まづ體質について考へて見るとアメリカに於て數年の日子と巨萬の費用を投じて廿餘萬人について調査したものがあるが、それによると痩せた人と肥つた人と、又その程度によつて死亡率に夥しい差違のあることが發見された。例へば十五歳から二十歳頃までの所謂思春期に於て普通人より一割五分體重の少い痩せた人は二割增の死亡率を示し、三割も輕いものは死亡率が五割以上も普通人より高いことが判つた。

反對に肥滿症の人は若い間に二割五分位までの肥り方ならばまづ普通、それでも四十歳以上になると依然一般人より三割增しの死亡率を示して來る。

もつと肥つた人、たとへば普通より五割以上體重過剰の人は四十歳以上になると一般に比して倍以上の死亡率を示すことが發見された。

この研究でみると痩せた人は若い間、肺病などに罹る可能性が多いが、四十歳以上になると却つて普通よりも健康になり、反對に肥つた人は四十歳以上になると心臟病、腦溢血などで普通人より遙かに死亡率が高いことが判つた譯で、世のデブさん達に恐慌を來してゐる

◇

又この研究によつて生命と榮養の問題についても面白い事實が示されてゐるといふが、一般的に言ふと生命に最も關係の多いのはヴイタミンでヴイタミンの缺乏症は多くの場合、病菌に對する抵抗力を失つて早老早死を招くと見られてゐる。

日本人が文化人の裡最も短命なのもヴイタミンの攝取量が低いからではあるまいか。

特にヴイタミンA及びDの缺乏は體質的に低下することが甚だしく健康上憂ふべき狀態を示すことが認められてゐる。

◇

一般虛弱體質、腺病質、貧血等は主としてヴイタミンA及びDの不足に基因し、之を適當の方法によつて補給しなければ早晩その生活力は破壞せられ、天壽を縮めるに到るのであるから、吾々は日常食品以外にヴイタミンA及びDを適宜に補給して生命を護り健康保全に努めねばならないと思ふ、それには肝油の服用なども無意義ではないが、副作用や胃腸障害が甚だしく、虻蜂取らずに終る危險がある。理研ヴイタミンならば副作用胃腸障害絶無なるのみならず、ヴイタミンA及びDも遙かに豐富に含有し、小量にて足るから、國民體質向上の糧として申分のないものと云へるのである。

因に理研ヴイタミンは理化學研究所高橋克己博士の世界的發見の一つで、肝油千瓦中より一瓦のヴイタミンA及びDを至難なる工程操作によつて抽出することに成功した世界最初のものたるは知る人ぞ知る處である。

◇

思ふに理研ヴイタミンの出現が全人類の健康に寄與し、その天壽をも延長しうる時が來るならば、科學は茲に一つの偉大な足跡を造化の神の前に提供したとも言へるのではなからうか。否少くとも世界民族中日本人が短命であるといふ一つの汚辱をこの輝ける榮養素によつて拭ひ去ることは吾々に與へられた廿世紀の命題であらねばならない。

都會人の健康問題

太陽を浴びよ　しからずんばヴイタミンDを攝れ!

文明はその本質的使命に於て人類の幸福を目標としなければならない、勿論健康上に於てその文化の程度によつて當然寄與する處がなくてはならない、事實完全なる衞生智識の普及、疾病の豫防、及び治療、その他萬般の設備は着々としてなされてゐる。

病なき社會の理想へ一歩一歩その歩みを續けてゐることは誰しも首肯し得るであらう、しかし文化人は果して今、その生活に挑戰するだけの正しい健康と充分なる生命力を把握してゐるだらうか——この疑問に對して否と答へなければならぬ現實をどうすればよいか、識者の憂ふる處である。

光りを忘る

何等の衞生的設備なき蕃地に野獸の如く生息する原始人の方が、遙かに健康であり力と生命に溢れた生活を送つてはゐないだらうか——とすれば其の原因は、その依つて來る處は何かわれわれは、深く省みる點がなくてはならないと思ふ。

文化人は太陽を忘れてゐる! 最近一部の人々に強く叫ばれてゐるのはこの言葉である。卽ち吾々の文化が日一日と進歩するのと正比例して、吾々の生活が太陽から逃避してゐる。そしてその當に文化人の健康が次第に蝕まれつつある

宏壯なビルデイングの窓から僅かに洩れる陽光に、儚ない吐息を送る蒼白い人種! それが若し吾々であるなら、吾々の前には結局短命の無氣味な影が徒らに蠢動するばかりではないか!

野蠻人の健康

太陽は生物の母である、太陽なき世界に生物はない、太陽は紫外線を放射する、紫外線はヴイタミンDである、ヴイタミンDは抵抗力を增大し、細胞の活力を強め、新陳代謝作用を旺盛にする、野蠻人の健康は多く太陽の愛撫によるものである。

しかるに文化人は太陽から次第に遠ざからざるを得ない生活に追擲されてゐる、不健康になるのも當然な話ではないか、現在日本全國に百萬に近い結核患者及び保菌者がゐるが、それらの凡てがかうした光なき生活の犧牲者でないにしてもその幾パーセントかは必ずそれであることが考へられる。

太陽に親しめ

故に文化人は是非共生活様式を改めて、太陽と親しむべきである又それが不可能ならば太陽に代る榮養素ヴイタミンDを充分に補給すべきである、かくして失はれた原始の情熱と健康を奪還しなければならぬ。幸ひにして理化學研究所に於て發見された理研ヴイタミンは日光の瓶詰とも言ふべきヴイタミンDをAと共に豐富に含有した榮養素であるから、之を適當に攝取することによつて吾々は始めて太陽に浴すると同樣の健康を保持することが出來るのである。

體質の强健化

臨床實驗によれば理研ヴイタミンの榮養効果は抵抗力を强大にし疲勞衰弱を除き、新陳代謝機能を促進し細胞の活力を增大して、體力氣力精力を補强し、以て虛弱體質を强壯化し、發育成長を促し、病魔浸入の餘地を少からしめる作用を有してゐる。

虛弱體質者は勿論苟も健康と活力を欲する人は理研ヴイタミンを常用して、文化による健康の損耗を回復すべきである。

御紹介

榮養劑として世界的名聲を担ふ「理研ヴイタミン」は製造元財團法人理化學研究所、總代理店玉置合名會社、全國有名藥店百貨店藥部にあり。四十球、百球、五百球、千球の四種あり

健康讀本

人類健康の源泉である榮養に就て論述せる良書「健康讀本榮養の知識」が無代頒布されてゐる。ヴイタミンに就ての記述は特に詳しく有益だ(申込は東京日本橋區本町玉置合名會社へ)

颱風圏内（107）

畑耕一作　山田喜作畫

反逆者（十）

おゝ、それは、小宮要吉だった！

「いや、どうも、いろいろ手間あ取らせますので、やっぱりあなたに出て頂かなくちゃならなくなりました」

斯波はせゝら笑ひながら、迎へ入れた。

「——！」

織江は唇まで土色になった。無言のまゝよろよろと窓際によろめいた。やっと左の肱を窓枠に慿せてやっと身を支へた。

銀次もさすがにギョッとした。が、自分が今、乙彦や織江に對して、どうした位置にゐなければならないかを知った彼は、すぐ勇敢な構になって前へ飛び出した。

「…………」

「…………」

小宮と彼は鋭しい眼を交した。

「銀次。高栖が死んで喰ひ詰めさうになると、今度は天岸の番頭役か。貴様もなかなか賢いな。——で、天岸がやっつけられたら、お次ぎは誰の懐中へ転込むな？」

「おれは高栖さんの厄介になってゐた時から天岸さんを崇拜してゐたんだ。はじめっから天岸さんの部下で働きたかったんだ。高栖さんだって、それを知ってゐた。天岸さんがやっつけられるって？はゝゝゝ。天岸さんをやっつけるやうな人間が。——そんな偉え人間が、どこにゐるんだれ？」

「天岸あ小宮さんの手で、今夜いよいよ自滅したんだぞ。それを知らんのか！」

斯波は罵った。

「知られえよ。おれは先刻芝浦の埋立地で天岸さんと別れて歸った。が、天岸さんは大丈夫だってことこそ知ってゐても、やっつけられるなんて天岸さんは知られえ。自滅だって？はゝゝゝ。笑はせちゃあいけねえ。おれの照準がつかなくなるからよ」

銀次の手が内ポケットに觸れたかと思ふと、もう一挺のピストルが握られてゐた。

「おい銀次、六本指の小宮さんを知らんか！相手が一發撃つ間に、二發撃つことの出來るために指一本多いといはれてゐる小宮さんを知らんか！」

「はゝゝ。よく知らんかなかつて言ふ男だな。おれは今、天岸さんの大丈夫ってことゝ、おれがこの部屋を守らなきやあならねえってことゝ、この二つよりほかに、なんにも知る必要はれえんだよ」

小宮は斯波を眼で退けた。

「銀次、貴様あ高栖の下にゐた頃あ、剽輕な周章者だったが、大層度胸が出來たな」

「別に度胸も出來やあしれえ。たゞおれあ天岸さんの力を信じてゐる。おれにやあどんな場合だって天岸さんがついてゐることを信じてゐる。それだけだ。おれあ相變らずのちよろつかな男よ。だが、おれのうしろに天岸さんがゐるって思やあ、どんな事にぶつつかったって驚かれえのよ」

「銀次、天岸の部下は夙うにこの小宮に寝返りうってゐるんだぞ。今夜天岸は、奴の部下——いや、おれの部下によって御成敗を受けてゐるんだ。はゝゝゝ。観念しろ。無駄な怪我をせんうちに、こゝを出て行け。むかしの馴染甲斐に、貴様あそのまゝ許してやる」

「この部屋あ、天岸さんの命令によって、守ってゐるんだ」

「場所が場所だから、おれは騒ぎにしたくないのだ。だが、おれは目的の前にはなんの容赦もない男だぞ。面倒臭い問答は打切りだ。出て行くかどうか？」

凄い形相——小宮はグッとピストルの手をあげた。

「乙彦さん、織江さん、危い！床の上へ伏さって？」

さういったかと思ふと、ドン！——まさかと油断した銀次のピストルは火を吐いた。

「あっ！野郎っ？」

ドン？ドン！——小宮のピストルも恐ろしい煙をあげた。

滿日俳壇

殘暑　島田青峰選

唐津　鈴木曉星
流れ雲の北に流れて秋暑し
盆經の僧と語らふ殘暑かな
菊の鉢に病葉見えて秋暑し
秋暑し蟻に曳かるゝ赤蜻蛉
糸瓜棚覆ひかぶさりし殘暑かな
小平島　宮部翠秀
高粱にそよぐ風あり秋暑き
枝折って殘暑の山を下りけり
家鴨泳ぐ濁りし池や秋暑き
舟の上の暑さよ帆を上ぐる
影のびて西日傾く殘暑かな　撫順　安永正
すくすくと高粱のびし殘暑かな
避暑客の日毎去りゆく殘暑かな　大連　小田吉枝樓
韮臭き露天市場の殘暑かな
牡蠣の聲のかすれや秋暑し　營城子　安部寛子
砂濱の白く光れる殘暑かな
雨やみて又蒸しかへす殘暑かな　奉天　成瀬鮎波
花園に蜻蛉飛び交ふ殘暑かな　本溪湖　郡司島里柳
峰涼し瀧は殘る暑さかな　香川縣　高木宏影
白々と干瓢かわく殘暑かな　高松市　合田和樂
途端の草も枯れたる殘暑かな　大連　とき子
高粱の伸びも伸びたる殘暑かな　撫順　宮澤多禰子
夏帽子よごれはてたる殘暑かな

十月川柳課題

◇題「肥える」「音」「差引」
◇締　十月十五日（各題別紙）
◇句　一題五句限（住所氏名明記）
◇賞　佳吟薄賞を呈す
◇宛　本社編輯局川柳係まで

蟲　島田青峰選

大連　川上若枝女
草山の裾ひろがりに虫時雨
虫捕りの灯と見ゆれ草の中
歸り來て尚耳にあり虫の聲
寝靜まる天幕の外の虫時雨
松が枝の闇に虫籠うつしけり
厨の灯とゞかぬ闇や虫時雨
月の出て虫の音色の澄みにけり
虫の音に耳傾けぬ夕化粧
せゝらぎにまぎれぬ虫の遠音かな
虫捕る灯忽ち殖えて動きけり
兩岸の虫を聞きつゝ漕ぎにけり
草市の果てたる後や虫の聲
虫鳴くと籬に添うてたちにけり
鈴虫の一つ居て鳴く籬かな
月の出ていよいよ廣し虫の原　神戸　西田碧天樓
月の下冷たさありて虫の鳴く
更くる虫雨をかまはず鳴きにけり
人通りなきこの道の虫淋し
虫鳴くや庭の芝生にゆるゝ影
虫鳴くや早やこぼれつゝ草の露
鳴きしきる虫の星空歩きけり
ほそぼそと又聞ゆるよ虫の聲　大連　高木春蔭
虫高く鳴くや牧場の露をふむ
虫鳴くや枯に雲の去來して
落月の裏戸は虫の高音かな
虫の夜の明るき星の木立かな
庭に鳴く虫親しみて獨りかな
靜かさやかそけくも鳴く晝の虫
夕まけて濕る野徑や虫鳴ける
留守居してしみじみ虫を聽く夜哉
窓外は虫の諸音や一句成らず
野の闇や虫狩れる灯の見え隱れ
バス捨てゝ虫鳴く野面に降り立てり
虫鳴くや兵舍取り巻く草の原
國境の假の兵舍や虫時雨
虫時雨只あるばかり寝靜まる　大連　小田吉枝樓
虫籠を吊るす廊下や灯に遠し
窓外に虫の音溢き夜學かな
書き物に倦き疲れや虫の聲
覺め易き露營の夢や虫の聲　唐津　鈴木曉星
虫賣や水に流るゝ廓の灯
虫鳴いて風呂の戸口の薄明り　營城子　安部寛子
覺め易き露營の夢や虫の聲
どこやらに虫の音すなり晝の月
虫の聲ふと途絶えたる靜寂かな　甘井子　田中美津嶺
虫の聲聞きつゝ夢路迪りけり　奉天　成瀬鮎波
愛し子の寝息靜かや虫の聲　本溪湖　郡司島里柳
虫の聲聞きつゝ眠る露營かな　大連　豐田博國
虫の秋夕空高く暮れにけり　撫順　安永正
筆とめてしばし聞きけり虫の聲　香川縣　高木宏影
虫の聲はたと止みたり下駄の音　高松市　合田和樂
夜と共に廣がり行くや虫の聲　撫順　宮澤多禰子
虫鳴きて夕風出でし河原かな　安東　岩間溪雲
鈴虫の細々と鳴く垣根かな

婦人公論十月號

秋酣はの十月號は、讀書シーズンに相俟って雜誌週間のことゝて婦人雜誌は何れも特大號で、中にも最近目醒しい躍進をつゞけて、斯界に斷然光芒を放ってゐる、婦人公論十月號は、文字通り素晴らしい內容だ。第一に社會に大センセーションを捲起した荏原の殺人事件に絡む五味靜子の問題の遺書を入手したのはお手柄だ。ジャーナリズムの鷲手に純眞なる一女性が、姿と罵られて、悲憤やるかたなく、遂に自殺を決行するに至った心事は惨たる事實といふ他ない。自殺直前に世に自己の心情を率直に愬へたこの靜子さんの遺書こそ、世の總べての虐げられた女性の爲に投げられた血書だ。自然的大評判なのも無理はない。

十月號は「母となる女」の神秘號と銘打ってあるだけ、柳原燁子女史が久方振りに卷頭に「お母さんとなる友へ」をしみじみとした筆致で書いてゐるのを初め「母となる女」の神秘の實話を收錄してゐる。これは附錄の「姙娠の神秘」と共に併せ讀む可く、これから母となる人にとって見逃す可からざる讀物である。附錄の「姙娠の神秘」は颯爽として裝釘で、徒らにゴテゴテと飾り立てた附錄ときとかはり、內容第一主義なのが嬉しい。永井潜博士以下十五博士執筆の完全なる姙娠讀本だ。お産月だけに到る處で歡迎されよう。

主なる讀物を拾ひ上げると、映畫の「制服の處女」を地で行った熊原ひさえさんと齋藤光子さんの同性愛事件があり、藤村校長、熊原ひさえさんの手記を集めてこの事件の眞相を當事者に語らせてゐるのは、何時もながら念の屆いた遣り方である。それに「何故同性を戀するか？」の題目の下に、杉田直樹博士、高良富子女史の批判があって、斯かる事件の再び繰返されぬよう懇切に指導してゐる。また成城學園の學校騷動は益々深刻になりつゝあるが、下田次郎博士令息の流血事件を扱って、本人の學校への公開狀を始め、川村竹治市川源三兩氏の批判があり、若き子弟を持つ世の親達の必讀を俟ってゐる等、なかなか拔目がない。

近來、この雜誌の實用記事の改善發展も斷然拔群で、常に新らしき題目を捉へて、現代に最も適合する知識を供給してゐる點は偉なりといふべきだ。「秋をスマートに行く」「手足の美容」「思ひのまゝに痩せもし肥りもする法」等何れも血となり肉となるものばかりだ。最後に堂本印象氏の表装の益々異彩のあることを述べて擱筆しよう。

婦人倶樂部（十月號）

本誌記事「結婚大特輯」がまづ眼を驚かす、內容は「理想の夫、妻を語る座談會」「一寸したことから良緣を得る」「結婚費を自分で稼いだ話」「美しき日の手紙」それに「好きな人と添遂げた私」などご朗かだ、其の他美容、美髮、お料理と讀書シーズンを控へて殊に「雜誌週間」記念をも兼ねて超破格無軌道的大勉強振を見せてゐる